2019 年度研究年報

第 16 号

2020 年 12 月

東京都立大学　健康福祉学部

東京都立大学

東京都立大学
2019 年度　研究年報

第１６号

2020 年１２月

目次

学部長

教　授　渡辺　賢　……3

看護学科

学科長　西村　ユミ　……5
教　授　安達　久美子……8
教　授　織井　優貴子……10
教　授　河原　加代子……11
教　授　斉藤　恵美子……13
教　授　習田　明裕　……14
教　授　山本　美智代……15
准教授　飯塚　哲子　……16
准教授　石川　陽子　……17
准教授　岡本　有子　……18
准教授　木村　千里　……19
准教授　島田　恵　……20
准教授　園部　真美　……21
准教授　種吉　啓子　……22
准教授　菱沼　由梨　……23
准教授　福井　里美　……24
准教授　増谷　順子　……25
准教授　三浦　里織　……26
助　教　巖　千晶　……27
助　教　大庭　貴子　……28
助　教　川添　美花　……29
助　教　前田　耕助　……30
助　教　三輪　聖恵　……31
助　教　村上　優子　……32

理学療法学科

学科長　山田　拓実　……34
教　授　浅川　康吉　……36
教　授　網本　和　……37
教　授　池田　由美　……39
教　授　新田　収　……40
准教授　宇佐　英幸　……42
准教授　来間　弘展　……43
准教授　古川　順光　……44
准教授　信太　奈美　……45
助　教　神尾　博代　……46
助　教　田島　敬之　……47

作業療法学科

学科長　石井　良和　……49
教　授　大嶋　伸雄　……50
教　授　小林　法一　……53
教　授　小林　隆司　……56
教　授　塩路　理恵子……60
教　授　ボンジェ･ペイター　……61
准教授　石橋　裕　……63
准教授　伊藤　祐子　……64
准教授　井上　薫　……66
准教授　藺牟田　洋美……69
准教授　谷村　厚子　……71
准教授　橋本　美芽　……73
准教授　宮本　礼子　……74

放射線学科

学科長　古川　顕　……77
教　授　小倉　泉　……78
教　授　加藤　洋　……79
教　授　齊藤　秀敏　……80
教　授　白川　崇子　……81
教　授　妹尾　淳史　……83
教　授　福士　政広　……85
准教授　井上　一雅　……90
准教授　眞正　浄光　……96
准教授　関根　紀夫　……99
准教授　乳井　嘉之　……100
准教授　沼野　智一　……101
准教授　根岸　徹　……105
准教授　明上山　温　……108

注)所属･職位は 2020 年 4 月現在

《表記方法等》

1　研究活動の掲載期間は、2019 年 4 月から 2020 年 3 月までである。

2　論文には、査読付きの業績を記載している。

【記載対象】学術論文、国際会議プロシーディングス、大学・研究機関紀要、研究会・シンポジウム資料、その他学術会議資料、学位論文等

【読み方】氏名：タイトル．掲載媒体，掲載箇所，発表年月

3　著書は、著書、編書、訳書、共著、共編、共訳を含んでいる。

【記載対象】単行本、事典・辞書、地図、音楽資料、映像、画像等

【読み方】氏名：タイトル．担当範囲，出版社，出版年月

4　Misc（Miscellaneous, 種々雑多なもの）は、基本的に査読なしの業績を含んでいる。

【記載対象】研究論文、速報・短報・研究ノート等（学術雑誌、大学・研究機関紀要）、研究発表要旨（国際会議、全国大会、その他学術会議）、機関テクニカルレポート、プレプリント、総論・解説（学術雑誌、国際会議プロシーディングス、大学・研究所、商業誌・新聞・ウェブメディア等）、講義資料（セミナー、チュートリアル、講習、講義他）、書評、文献紹介、会議報告、その他記事

【読み方】氏名：タイトル．掲載媒体，掲載箇所，発表年月

5　講演・口頭発表等は、講演や国内会議、国際会議などにおいて発表された業績を含んでいる。

【記載対象】口頭発表（一般、招待・特別、基調講演）、ポスター発表、シンポジウム・ワークショップパネル（公募、指名）、公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義、メディア報道

【読み方】氏名：タイトル．発表の場，発表年月

6　競争的研究費の課題は、分担研究者となっている業績を含んでいる。

【読み方】氏名：研究費の種類「タイトル」，期間・年月

7　社会貢献活動は、イベント、番組、新聞雑誌など、社会的に貢献した業績を対象としている。

【読み方】氏名：活動内容・タイトル．主催・媒体名，期間・年月

8　外国語で発表された論文等は、原則としてそのまま表記している

健 康 福 祉 学 部 長

健康福祉学部　　学部長　　渡邉　賢

論文

1) Mihashi S, Ishida Y, Watanabe M. Accelerating effects of blebbistatin on relaxation process of cell membrane permeabilized trachea and taenia cecum from guinea pig. J. Smooth Muscle Res. 2020; 56: 19-28

講演･口頭発表等

1) 渡邉賢,石田行知,中原直哉,劉英明:細いフィラメント制御とスキンド盲腸紐収縮･弛緩.第 61 回日本平滑筋学会総会, 2019/8/3.
2) 渡邉賢,中原直哉,石田行知:消化管虚血による消化管平滑筋収縮機能と構造の変調. 第 29 回日本病態生理学会, 2019/8/4.
3) Watanabe M,Mihashi S: Natural products induced disruption of actin polymerization modulate mechanical responses of skinned smooth muscle through various pathways.. 第 97 回日本生理学会大会, 2020/3/17.
4) Watanabe M,Nakahara N,Ishida Y:Modulation of myosin II function causes thin filaments disarrangement through cross-bridge independent pathway in skinned smooth muscle. 第 97 回日本生理学会大会, 2020/3/19.

委員暦

1) 日本平滑筋学会　将来構想委員会委員(Aug-16-)
2) 日本平滑筋学会　規約委員会(Aug-16-)
3) 日本平滑筋学会　学術プログラム委員会委員(Aug-16-)
4) 日本生理学会　庶務担当副理事長(理事)(Mar-16-Mar-20)
5) 日本生理学会　将来計画員会　委員長(Mar-18-)
6) 日本平滑筋学会　広報委員会･委員長(Jul-15-)
7) 日本体力医学会　編集委員会委員(Oct-15-)
8) 日本平滑筋学会　理事(Aug-15-)
9) 日本平滑筋学会　評議員(Jul-09)
10) 日本生理学会　編集広報委員会委員(Mar-06-)
11) 日本生理学会　評議員(Mar-94-)

看　護　学　科

看護学科　　学科長　　西村　ユミ

論文

1) 西村ユミ:認知症をともに生きる人々の経験と課題――前提を問いなおす方法. 家族研究年報, (44): 5-22, 2019/7/1.

著書

1) 西村ユミ:「解説　ケアを生み出す,現象学の実践」,坂井志織(著)『しびれている身体で生きる』(pp.256-259)日本看護協会出版会,2019/6/21.
2) 西村ユミ:解釈的現象学(interpretive phenomenology),サトウタツヤ・春日秀朗・神崎真実(編):ワードマップ　質的研究法マッピング――特徴をつかみ,活用するために(pp.189-196),新曜社,2019/9/17.
3) 西村ユミ:介護がコミュニティを拓く,岩波書店編集部(編)『私にとっての介護――生きることの一部として』(pp.110-113,)岩波書店,2020/1/24.

Misc

1) 西村ユミ:＜書評＞「ケアを提供する」から「まちがケアする」へ　山崎亮著『ケアするまちのデザイン――対話で探る超長寿時代のまちづくり』. 看護教育, 60(11):951, 2019.
2) 西村ユミ:現象学的視点から患者の「死の選択」について考える. 看護展望, 44(11):21-26, 2019.
3) 西村ユミ,長谷川直人,丸尾智実,後藤大地,山本則子,Grady PA,鎌倉やよい,真田弘美:若手研究者のさらなる成長をめざして. 看護研究, 52(3):202-210, 2019/6/1.
4) 西村ユミ:現象学からみた「対話」. プライマリケア, 101(7):808-811, 2019/7/1.
5) 平田オリザ,西村ユミ:演劇と看護から考える,身体を介したコミュニケーション. 看護, 71(9):8-9, 2019/7/1.
6) 西村ユミ:＜書評＞自分が大事にしている看護とは何か？　陣田康子著『看護現場学への招待　エキスパートナースは現場で育つ』. 週刊医学会新聞 for Nurses, (3348):6, 2019/11/1.
7) 西村ユミ:現象学的研究における「根幹」と未来. 看護研究, 52(7):521-529, 2019/12/1.
8) 村上優子,西村ユミ:現象学的看護研究の導入と新たな展開. 看護研究, 52(7):530-535, 2019/12/1.
9) 西村ユミ:＜書評＞臨床に居続ける医師による本源的医学概論,徳永進著・高草喜光一(編)『「いのち」の現場でとまどう――臨床医学概論講義』. 看護実践の科学, 44(12):94-95, 2019/12/1.
10) 西村ユミ:＜書評＞植物状態患者と看護師との〈身体〉を介した交流,西村ユミ(著)『語りかける身体――看護ケアの現象学』講談社,《書評特集》身体にかかわる著書について著者本人が語る. 質的心理学研究, 19: 236-238, 2020/3/1.

講演・口頭発表等

5) 重光洋亮, 福井里美, 坂井志織, 小林隆司, 池田由美, 新井清美, 眞正浄光, 飯塚哲子, 三浦里美, 西村ユミ: 実践経験者をファシリテーターとした急性期医療場面の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加した学生の経験. 第 29 回日本保健科学学会学術集会. 2019/10/5.
6) 三浦里美, 飯塚哲子, 西村ユミ, 福井里美, 坂井志織, 新井清美, 小林隆司,,池田由美, 眞正浄光, 重光洋亮: 実践経験者をファシリテーターとした急性期医療場面の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加したファシリテーターの経験. 第 29 回日本保健科学学会学術集会. 2019/10/5.

7) 前田泰樹, 西村ユミ, 溝口満子, 西垣昌和, 程内栄子, 松本千香子, 山地幸雄, 武藤智, 望月俊雄:常染色体優性多発性嚢胞腎患者の病いの伝え方についての基礎的研究. 第 27 回嚢胞性腎疾患研究会, 2019/10/5.

8) 西村ユミ, 前田泰樹, 溝口満子, 西垣昌和, 程内栄子, 松本千香子, 山地幸雄, 武藤智, 望月俊雄:常染色体優性多発性嚢胞腎患者の生活に関する工夫の基礎的研究. 第 27 回嚢胞性腎疾患研究会, 2019/10/5.

9) 西垣昌和, 西村ユミ, 前田泰樹, 溝口満子, 程内栄子, 松本千香子, 山地幸雄, 武藤智, 望月俊雄:トルバプタンと常染色体優性多発性嚢胞腎患者の Quality of life:横断研究. 第 27 回嚢胞性腎疾患研究会, 2019/10/5.

10) 平田オリザ, 西村ユミ(対談):人間を理解することの限界と挑戦. 第 39 回日本看護科学学会学術集会, 2019/12/1.

11) 西村ユミ(指定討論):大会企画シンポジウム 質的心理学の境界, そして越境――『質的心理学辞典』を質的研究の学びにどう生かしていくか. 日本質的心理学会第 16 回, 2019/9/21.

12) 西村ユミ(指定討論):会員企画シンポジウム 「家族」の捉え方と支援の類似性および相違性―専門分野それぞれの立場から. 日本質的心理学会第 16 回大会, 2019/9/21.

13) 長谷川直人, 大久保暢子, 綿貫成明, 坂井志織, 坂梨左織, 丸尾智実, 水野恵理子, 水田明子, 西村ユミ:交流集会 新たな仲間との協働でさらなる高みを目指す「看護学ピッチ(pitch)」をやってみよう. 第 39 回日本看護科学学会学術集会, 2019/11/30.

競争的資金等の研究課題

1) 萱間真美, 西村ユミ, 木下康仁, グレッグ美鈴, 三浦友理子, 小山田恭子, 麻原きよみ, 山本則子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「質的研究論文の教育資源提供ネットワーク QUARIN-J の開発」, 2019/4/1-2024/3/31.

社会貢献活動

1) 静岡県看護協会: ベナー看護論. [lecturer], 2019/6/29-

2) 現象学のまなざしと音楽療法実践: 日本音楽療法学会関東支部講習会, 2019/7/7.

3) こだわり続ける看護を語る――実践と研究と教育から: 名古屋第一赤十字病院 講演会, 2019/8/29.

4) 看護の本質を現象学視点から掘り下げ,ケアの意味について再考する: 公益社団法人沖縄県看護協会研修会, 2019/9/7.

5) 看護における現象学: 平成 31 年度愛知県専任教員養成講習会, 2019/9/25.

6) 解釈学的現象学の考え方と方法――いかに哲学と対話をするか: 中部 M-GTA 研究会第 3 回講演会, 2020/1/12.

7) 自分の看護を言葉にしてみませんか？～私の看護を再発見する: 三重県看護協会令和元年度看護実践研修, 2020/1/14.

8) 看護現場の生き生きとした経験の探究に役立つ現象学の思考: 2019 年度中部大学生命健康科学研究科セミナー, 2020/2/8.

9) 糖尿病医療を哲学的に考える――患者と医療者の経験・実践の現象学的分析: 第 47 回浦安糖尿病療養指導セミナー, 2020/2/12.

10） 臨床実践の現象学: 国立障害者リハビリテーションセンター学院講演, 2020/2/21.

11） 現象学のまなざしと音楽療法実践――＜身体＞を介しての交流を考える: 精神科の音楽療法を考える会＆湘南音楽療法研究会講演, 2020/2/22.

その他

1） 演劇と看護 から考える身体を介したコミュニケーション, 主催:紀伊国屋書店(共催:株式会社講談社,日本看護協会出版会), Book Event(対談 平田オリザ×西村ユミ), 2019/4/23.

2） “患者の語り”から医療者は何を学ぶべきか―“言葉”の先にあるものを見据えて『患者の語りと医療者教育』刊行記, 主催:八重洲ブックセンター(共催:日本看護協会出版会,認定 NPO 法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン)念 Book Event(講演:西村ユミ, 対談:西村ユミ×和田恵美子×友滝愛), 2020/1/26.

看護学科　　教 授　　安達 久美子

著書

1) 助産業務ガイドライン 2019. joint_work, Jun-19.

Misc

1) 安達久美子:【特集『助産業務ガイドライン 2019』改訂】『助産業務ガイドライン 2019』活用のポイント. 助産師, 73(4):11-14, Nov-19.
2) 安達久美子:全国助産所分娩基本データ収集システム 2017 集計結果報告. 助産師, 73(2):70-71, May-19.
3) 安達久美子,日本助産師会政策特別委員会:【産前・産後ケア施設の法制化に向けて】成育基本法からみた産後ケア. 助産師, 73(2):17-18, May-19.
4) 安達久美子:全国助産所分娩基本データ収集システム 2017 集計結果報告. 助産師, 73(2):70-71, May-19.
5) 安達久美子,日本助産師会政策特別委員会:【産前・産後ケア施設の法制化に向けて】成育基本法からみた産後ケア. 助産師, 73(2):17-18, May-19.

講演・口頭発表等

1) 水尾智佐子,安達久美子:「硬膜外麻酔分娩における助産師のケア」の概念分析 Rodgers の概念分析を用いて. 母性衛生, 60(3):280-280, Sep-19.
2) 金田千弥,安達久美子:日本人女性の分娩施設選択理由に関する文献検討. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):40-40, Sep-19.
3) 秋山奈緒子,安達久美子:総合周産期母子医療センターに勤務する助産師の仕事意欲とその要因. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):22-22, Sep-19.
4) 安達久美子,佐藤拓代,山口実花,鑓溝和子:予期せぬ妊娠に対する相談体制の現状と課題に関する調査(第 2 報). 日本公衆衛生学会総会抄録集, 78 回:370-370, Oct-19.
5) 山口実花,佐藤拓代,安達久美子,鑓溝和子:予期せぬ妊娠に対する相談体制の現状と課題に関する調査(第 1 報). 日本公衆衛生学会総会抄録集, 78 回:369-369, Oct-19.
6) 安達久美子:海外における若年母への支援プログラムとその効果 文献レビュー. 思春期学, 38(1):97-98, Mar-20.
7) 長谷部裕佳,安達久美子:国内外における妊婦の性教育に関する文献レビュー. 日本助産学会誌, 33(3):435-435, Mar-20.
8) 菊原小恵子,山崎めぐみ,井出陽子,風間仁美,安達久美子:当院における新卒助産師教育の現状と今後の展望. 日本助産学会誌, 33(3):385-385, Mar-20.

競争的資金等の研究課題

1) 安達久美子,菱沼由梨,石川紀子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「硬膜外麻酔分娩の安全性を確保するための助産師の臨床推論モデルの構築」,2019/4/1-2022/3/31.

2) 小川久貴子,安達久美子,白井千晶:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「若年母の肯定感を高めるICT活用支援プログラムの開発」, 2017/4/1-2021/3/31.

3) 河内浩美,安達久美子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「子どもの性的成熟に対する母親の困難感尺度の開発」,2015/4/1-2020/3/31.

看護学科　　教 授　　織井 優貴子

論文

1) 織井優貴子:【本当に身につく?身についた?実技・演習の工夫と習得・理解度の確認方法】シミュレーション教育における演習の工夫と評価. 看護人材育成, 16(5):97-103, 日総研, 2019/12/1.

Misc

1) 織井優貴子:イノベーションと保健科学 シミュレーション教育と看護イノベーション. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):11-11, 2019/9/1.
2) 難波貴代,青木伸也,下平一美,織井優貴子:訪問看護師のコンピテンシーを高める教育プログラムの開発(第2報). 日本看護科学学会学術集会講演集, 39回:[PC-10], 2019/11/1.

講演・口頭発表等

1) 織井優貴子:授業へのナーシングアンシミュレータ導入とシミュレーションの評価方法について- 新規導入への挑戦. 2019 National SUN, 滋賀県草津市,2019/9/1.
2) 織井優貴子:Effect of Simulation based Nursing Education Using Instruction System Design. Association For Simulated Practice in Health Care ASPiH BELFAST 2019, Belfast, England, 2019/11/5.
3) 織井優貴子:Relationship between QOL and support elderly patients with permanent colostomies wish for -Analysis by number of years since surgery. Europian Society for Medical Ocorogy(ESMO) Asia 2019, Singapole, 2019/11/22.

競争的資金等の研究課題

1) 難波貴代,織井優貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究「訪問看護師のコンピテンシーを高める教育プログラムの開発」,2016/4/1-2020/3/31.
2) 織井優貴子,黒河内仙奈,河西敏幸,井上薫:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「在宅療養高齢者が生き生き過ごすための「コミュニケーションロボット」の活用と評価」,2019/6/28-2022/3/31.
3) 織井優貴子, 2019年度 傾斜的研究(全学分)学長裁量枠(国際研究環支援)「国際水準シミュレーション基盤型看護教育システムの構築と評価」, 2019/7/1-2022/3/31.

社会貢献活動

1) 岩手県一関市立山目小学校:将来の夢:どんな仕事をえらんだらよいのか 看護師の道を選んだわたしから: 将来の生き方や働くことの意義について.[lecturer],2019/2/8-

看護学科　　教 授　　河原 加代子

論文

1) 金子綾香,河原加代子:在宅療養中の胃瘻造設患者における経口摂取再開のケースの特徴と摂食状況のレベルに関連する要因. 日本保健科学学会誌, 21(4):167-180, 2019/6/1.

著書

1) ナーシング･グラフィカ基礎看護学③;基礎看護学技術;第 1 部看護行為に共通する援助技術;第 3 章健康学習を支援し成長を促す技術(第 6 版第 4 刷). joint_work, 2020/1/15.
2) 系統看護学講座統合分野在宅看護論(第 5 版第4刷);序章, 第 1 部総論編 第 2 章在宅看護の対象者, 第 2 部実践編 第 6 章在宅看護技術:joint_work, 医学書院, 2020/2/1.

Misc

1) 濱谷雅子,島田恵,岡本有子,河原加代子:足病変のケアにおける経験を積んだ訪問看護師の療養者とのかかわり. 第 11 回日本下肢救済･足病学会学術集会, 6 月, 2019, 2019/6/1.
2) Hayano K,Kurosawa Y,Kawahara K,Yuki M:Development of a protocol for diaphragmatic breathing during walking action: Objective evaluation by analysis of variations in autonomic nervous system activity. 11th IAGG Asia/Oceania Congress, Taipei, 2019., 2019/10/1.
3) Nakano R,Kawahara K,Kurosawa Y:Knowledge and Measures about Knee Joint Pain of Japanese Senior Female Citizens Focusing on anxiety about not being able to walk from knee joint pain. 11th IAGG Asia/Oceania Congress, Taipei, 2019, 2019/10/1.
4) 勝野とわ子,出貝裕子,青山美紀子,末永裕代,前田優貴乃,河原加代子:若年認知症者と介護家族を支えるケア～技術とそれを支えるもの～. 第 39 回日本看護科学学会, 金沢, 12 月, 2019, 2019/12/1.
5) 平原優美,河原加代子:訪問看護師の活動圏域に居住する住民を対象とした身体と認知に働きかける教育的支援. 第 39 回日本看護科学学会, 金沢, 12 月, 2019, 2019/12/1.
6) 早野貴美子,河原加代子:リラクセーション効果を引き出す“せなかのオイルセラピー”のプロトコルに関する試案. 第 39 回日本看護科学学会, 金沢, 12 月, 2019., 2019/12/1.
7) 高橋洋子,河原加代子:在宅 ALS 療養者の人工呼吸器装着に関する意思決定を支援する訪問看護師への管理者の関わり. 第 39 回日本看護科学学会, 金沢, 2019, 2019/12/1.
8) Taylor E,Kawahara K:Using On the Job Training (OJT) for Employee Development at Home Visiting Nursing Offices. 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars, Thailand, January 2020, 2020/1/1.
9) 令和元年度訪問看護ステーション管理者指導者育成研修 研修報告書. 令和元年度訪問看護ステーション管理者指導者育成研修 研修報告書, 2020/3/31.

競争的資金等の研究課題

1) 文部科学省科学研究費基盤(B)「福島原子力災害による長期避難者への健康支援と評価:アクションリサーチ」, coinvestigator,2016/4/1-2020/3/1.
2) 文部科学省科学研究費基盤(C)「災害時の健康危機を支えるヘルス･リスクコミュニケーションのアルゴリズム開発」, coinvestigator,2017/4/1-2021/3/1.

社会貢献活動

1) 東京都福祉保健財団：令和元年度訪問看護ステーション管理者指導者育成研修.[advisor,planner,report_writing],2019/6/1-2020/3/31

看護学科　　教 授　　斉藤 恵美子

論文

1) 永田容子,斉藤恵美子:患者からの暴言･暴力遭遇経験有無別にみた結核病棟看護職の仕事ストレスの比較. 結核, 94(10):509-514, 2019/10/1.

2) 的場由木,斉藤恵美子:都市部の生活支援付きの民間宿泊施設に入所した生活困窮者の健康状態と生活支援ニーズの特徴 新規入所者の年代別検討. 日本公衆衛生雑誌, 66(12):767-777, 2019/12/1.

著書

1) 保健師業務要覧. contributor, 第 4 章 保健師の基礎技術 1. 地域診断･組織診断:180-187, 2019/11/1.

Misc

1) 斉藤恵美子,表志津子,神崎由紀,村田加奈子:地域に居住する高齢者とその家族への支援過程での倫理的な困難さの認識. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 78 回:416-416, 2019/10/1.

競争的資金等の研究課題

1) 斉藤恵美子,表志津子,村田加奈子,神崎由紀:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「地域に居住する高齢者とその家族への支援過程での困難事象と倫理的課題」, 2017/4/1-2020/3/31.

看護学科　　教 授　　習田 明裕

論文

1) 前田耕助,柏木聖代,大河原知嘉子,習田明裕:足浴が前頭前野の脳活動に及ぼす影響. お茶の水看護学雑誌, 2020/3/1.

Misc

1) 千葉洋介,習田明裕:看護現場での倫理的ジレンマに向き合うための考え方(第 4 回) 救急外来における倫理的課題と対応. 看護技術, 65(4):410-415, 2019/4/1.
2) 習田明裕,森田孝子,萩原邦子,添田英津子,眞野恵子,前田靖子,古米照恵,野尻佳代:移植看護教育の実態とニーズに関する調査研究 移植看護教育のコア・カテゴリー抽出の試み. 日本移植・再生医療看護学会学術集会プログラム・抄録集, 15 回:25-25, 2019/10/1.
3) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植を受ける患者の臨終期において看護師が抱える困難感の実態. 日本看護科学学会学術集会講演集, 39 回:[PB-20], 2019/11/1.
4) 前田耕助,加藤智史,大庭貴子,柏木聖代,大河原知嘉子,習田明裕:温湯による足浴がもたらす脳活動への効果. 日本看護科学学会学術集会講演集, 39 回:[O9-05], 2019/11/1.
5) 加藤智史,習田明裕:がん看護場面における看護師が患者に触れるまでの過程に関する文献的検討. 日本看護科学学会学術集会講演集, 39 回:[PC-15], 2019/11/1.
6) 習田明裕:看護現場での倫理的ジレンマに向き合うための考え方(最終回) 倫理的ジレンマに向き合う 連載をおえるにあたって. 看護技術, 65(14):1557-1559, 2019/12/1.

競争的資金等の研究課題

1) 習田明裕:文部科学省 科学研究費(基盤研究(C))「臓器移植医療における看護職の倫理的実践モデルの構築」, principal_investigator,2017-2019.
2) 野村亜由美,石川陽子,N・P CHANDRASIRI,習田明裕:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究「積極的/能動的な参加を目指した Bespoke Nursing System の開発」,2016/4/1-2020/3/31.
3) 習田明裕,大庭貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「臓器移植医療における看護職の倫理的実践モデルの構築」, 2017/4/1-2020/3/31.

看護学科　　教 授　　山本 美智代

論文

1) 中川薫,山本美智代:東日本大震災における障害児者にとっての福祉避難所の検証―岩手県震災記録の分析―. 地域安全学会梗概集, 45:3-6, 2019.
2) 浦田悠,金馬国晴,山本美智代:意味の行為としての質的心理学へ. 質的心理学フォーラム, 11:71-73, 2019.

講演･口頭発表等

1) 山本美智代;中川薫;田中総一郎:自分の中で意味を伴って肯定できた避難所生活－東日本大震災時の一般避難所での経験－. 第 44 回 日本重症心身障害学会, 2019/9/22.
2) 原島郁実,山本美智代:児童発達支援事業で働く職種の専門性に関する研究の動向). 第 29 回日本保健科学学会学術集会, 2019/10/5.
3) 中川薫,山本美智代:東日本大震災における障害児者にとっての福祉避難所の検証―岩手県震災記録の分析―. 第 45 回地域安全学会研究発表会, 2019/11/2.

競争的資金等の研究課題

1) 山本美智代, 中川薫:文部科学省 科学研究費(基盤 C)「重症心身障害者の成人医療移行時の問題および家族の心理的プロセス」, (研究代表者). 2019－2023.
2) 中川薫, 山本美智代:文部科学省 科学研究費(基盤 C)「障害児者にとっての避難所, 福祉避難所問題－東日本大震災を事例に－」, (研究分担者). 2018－2021.

社会貢献

1) 5 期 東京都重症心身障害プロフェッショナルナース育成研修－看護研究, 講師,研究個別指導 (2018 年 6 月-2019 年 11 月)

看護学科　　准教授　　飯塚 哲子

論文

2) 三浦里織,飯塚哲子,西村ユミ,福井里美,坂井志織,新井清美,小林隆司,池田由美,眞正浄光,重光洋亮:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加したファシリテーターの経験. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):23-23, 2019/9/1.

3) 重光洋亮,福井里美,坂井志織,小林隆司,池田由美,新井清美,眞正浄光,飯塚哲子,三浦里織,西村ユミ:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加した学生の経験. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):23-23, 2019/9/1.

Misc

11) 飯塚哲子:暮らしと表現空間⑩生活に根ざした表現の世界. 月刊社会教育, 63(5(通算 756)):64-67, 2019/5/1.

社会貢献活動

12) 東京都荒川区内中学校体験授業講師.[lecturer,planner],2014/4/1-

13) 早稲田大学エクステンション協力事業公開講座講師.[lecturer],2015/4/1-

14) 東京都教育委員会主催事業デス･エデュケーション講師.[lecturer],2015/4/1-

委員歴

12)「月刊社会教育」 副編集長(2018/4/1-)

看護学科　　准教授　　石川　陽子

競争的資金等の研究課題

1）　石川陽子,野村亜由美,成瀬和子:日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(C)「異文化看護能力の開発に向けた基礎的研究」, principal_investigator,2016/4/1-2020/3/31.

2）　野村亜由美,石川陽子,N･P CHANDRASIRI,習田明裕:日本学術振興会　科学研究費助成事業　挑戦的萌芽研究「積極的/能動的な参加を目指した Bespoke Nursing System の開発」,2016/4/1-2020/3/31.

3）　森山ますみ,水谷真由美,石川勝彦,石川陽子,二田水彩,荒木田美香子,五味麻美,吉野八重,亀井縁,因　京子,小川正子:日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(B)「外国人の出身国および我が国の ECD 事情のデータベース作成」, 2017/4/1-2022/3/31.

4）　成瀬和子,石川陽子,須藤恭子:日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(C)「Relationships among intention to leave, nurse migration, and career development in ASEAN nurses」,2017/4/1-2022/3/31.

看護学科　　准教授　　岡本　有子

論文

1）　Etsuko Ohama,Sakiko Fukui,Junko Fujita,Yuko Okamoto,Takeshi Hashiguchi：Factors related to preference for participation and degree of commitment in community activities among older adults in Japanese depopulated areas．28(1)：42-50，2020/1/1．

講演･口頭発表等

1）　瀧井望,岡本有子：訪問看護師による認知症高齢者への排便援助の現状や困難についての文献検討．第29回日本保健科学学会学術集会，2019/10/5．

競争的資金等の研究課題

1）　岡本有子,福井小紀子,藤田淳子,明智龍男,村上義孝：日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(B)「がん末期患者と家族への専門看護師主導型地域包括ケアプログラムの臨床的有用性の検証」,2018/4/1-2021/3/1．

看護学科　　准教授　　木村　千里

論文

1）　Hori, M., Yamazaki, A., Soeda, A., Odatsu,K., Buyo, M., Matumoto., M., Tokutani, R., Mine, H., Tsumura, A., Kimura, C., Nakayama Y.,:The factors associated with the attitudes of nurses working in medical facilities towards family nursing. Open Journal of Nursing, The factors associated with the attitudes of nurses working in medical facilities towards family nursing, 10:171-183, 2020/2/27.

講演･口頭発表等

1）　Sonobe, M., Kimura, C., Omori, T., Usui, M.:Nurturance and next generation nurturing capability: Effects of nursing college students' contact experience with infants ― cross-sectional study by three years. The ICN International Congress 2019, Singapore., 2019/6/29.

2）　Yamazaki, A., Hori. M., Kikuchi, R., Soeda, A., Odatsu, K., Murata, A., Buyo, M., Matsumoto, M., Tokutani, R., Mine, H., Tsumura, A., Kimura, C., Nakayama, Y.:Relationship between the individual characteristics of mid-level Japanese nurses and the families' importance. 14th International Family Nursing Conference, 2019/8/13.

3）　Hori, M., Kikuchi, R., Soeda, A., Odatsu, K., Murata, A., Buyo, M., Matsumoto, M., Tokutani, R., Mine, H., Tsumura, A., Kimura, C., Yamazaki, A.:Nurses' attitudes towards the importance of fmilies and related factors in Japan's hospitals., The East Asian Forum of Nursing Scholars conference. The East Asian Forum of Nursing Scholars conference, Chiang Mai, Thailand, 2020/1/10.

4）　木村千里,池田真弓,園部真美:シングルマザーの妊娠期～育児期の体験:親への移行に影響する要因の検討. 日本家族看護学会第 26 回学術集会, 2019/9/14.

5）　城真美,津村明美,牧田彰一郎,武用百子,木村千里,峰博子,菊池良太,野崎恵子,安藤冴子,山崎あけみ: 4 種類の連携から考えるケーススタディ研修の企画･運営方法. 第 26 回日本家族看護学会学術集会, 2019/9/14.

競争的資金等の研究課題

1）　木村千里:文部科学省科学研究費補助金　基盤研究(C) :研究代表者「シングルマザーの産前産後の支援:ファミリーパートナーシップモデルによる支援の評価」, 2017-2019.

2）　山崎あけみ, 津村明美, 峰　博子, 木村千里, 武用百子:文部科学省:科学研究費補助金　基盤研究(B):研究分担者「地域完結型医療のためのケースメソッドを用いた協働型家族看護研修プログラムの構築」, 2016-2019.

3）　園部真美, 木村千里, 臼井雅美, 大森貴秀:文部科学省:科学研究費補助金　基盤研究(C):研究分担者「ファミリーパートナーシップモデルに基づく産前産後母子支援システムの実践と評価」, 2017-2019.

4）　飯塚哲子, 木村千里:首都大学東京　2019 年度傾斜的研究費(部局分･部局競争的経費):研究分担者「荒川区中高一貫校に行うバーチャルリアリティ活用の「死生学」体験学習とキャリア形成」.

看護学科　　准教授　　園部　真美

講演･口頭発表等

1）　Mami Sonobe,Chisato Kimura,Takahide Omori,Masami Usui：Nurturance and next generation nurturing capability: Effects of nursing college students’ contact experience with infants―cross-sectional study by three years. International Council of Nurses 2019 Congress, 2019/6/1.

2）　木村千里,池田真弓,園部真美：シングルマザーの妊娠期～育児期の体験：親への移行に影響する要因の検討. 日本家族看護学会第26回学術集会, 2019/9/1.

競争的資金等の研究課題

1）　臼井雅美：科学研究費　基盤研究(C)「家族システムケアアプローチを用いた周産期家族支援プログラムの開発研究Ⅱ」,2019/4/1-2023/3/1.

2）　木村千里：文部科学省　科学研究費(基盤研究C)「シングルマザーの産前産後の支援：ファミリーパートナーシップモデルによる支援の評価」,2017/4/1-2020/3/1.

3）　園部真美：文部科学省　科学研究費(基盤研究C)「ファミリーパートナーシップモデルに基づく産前産後母子支援システムの実践と評価」, principal_investigator,2017/4/1-2020/3/1.

社会貢献活動

1）　35(産後)サポネット in 荒川:荒川区子育て支援ボランティア.[advisor],2006/4/1-

2）　足立区小学校:身体の変化といのちの始まり.[lecturer,advisor,planner],2013/1/1-2020/2/1

3）　足立区小学校:赤ちゃんが生まれる～いのちのお話.[lecturer,advisor,planner],2013/2/1-2020/2/1

4）　乳幼児看護研究所協賛スタッフメンバー.[organizing_member],2016/8/1-

5）　荒川区ゆいの森子どもひろば子育て講座「マタニティプログラム(胎児とのコミュニケーション)」.[lecturer],2019/9/1-2019/9/1

6）　荒川区子ども家庭支援センター育児講座「カンガルー講座」『赤ちゃんの発達と心のふれあい』.[lecturer],2020/2/13-2020/2/13

7）　荒川区ゆいの森子どもひろば子育て講座「マタニティプログラム～赤ちゃんとの触れ合い方～」.[lecturer],2020/2/15-2020/2/15

看護学科　　准教授　　種吉　啓子

講演･口頭発表等

1）　種吉啓子,佐藤幸子,今田志保,本間恵美:慢性的なチックの改善がみられた子どもとその両親への看護介入の検討, 北日本看護学会学術集会プログラム･抄録集,2019 年 8 月,

2）　種吉啓子,佐藤幸子:保育所に通園する子どもの登園渋りの尺度(試案)についての信頼性と妥当性の検討,日本小児保健協会,小児保健研究,2019 年 5 月.

競争的資金等の研究課題

1）　種吉啓子:文部科学省　科学研究費補助金(基盤研究(C))「保育所に通園する子どもの「登園渋り」に関する研究」, principal_investigator,2018-2021.

社会貢献活動

1）　日本看護科学学会誌査読委員.[organizing_member],2019-

2）　日本質的心理学会誌査読委員.[organizing_member],2018-

3）　日本保健科学学会誌査読委員.[organizing_member],2007-

4）　東京北医療センター看護研究講師.[lecturer],2009-

5）　日本小児看護学会誌専任査読者.[organizing_member],2011-

看護学科　　准教授　　野村　亜由美

講演･口頭発表等

1）　「こころが強い」ひと―津波被災後のスリランカで生きる老人たち―. 民博研究会, 2020/2/8.

2）　忘却と記憶：失われた共同体を作り直そうとする伝統医の事例. 第 7 回多文化医療研究会, 2019/10/5

看護学科　　准教授　　菱沼　由梨

著書

1）　母性看護学―母性看護学の概要と最新の動向をわかりやすく解説（放送大学教材）. contributor, 第 8 章 分娩期の生理と看護(pp171-190); 第 10 章 新生児期の生理と看護(pp208-223); 第 11 章 ハイリスク妊産褥婦・新生児(pp224-243), 2020/2/1.

Misc

1）　森晴加,菱沼由梨:分娩期の産婦に満足をもたらす助産ケアに関する文献検討 出産場所ごとの比較. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):37-37, 2019/9/1.

2）　菱沼由梨,堀内成子:助産師を対象とした簡易版臨床指導実践能力尺度の開発と妥当性の検証. 日本看護科学学会学術集会講演集 39 回, 2019/12/1.

競争的資金等の研究課題

1）　菱沼由梨:文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(A))「若手指導者のための臨床指導ガイドの開発 －助産における臨床教育の基盤づくり－」, principal_investigator,2016/4/1-2021/3/1.

2）　安達久美子:文部科学省 科学研究費(基盤(C))「硬膜外麻酔分娩の安全性を確保するための助産師の臨床推論モデルの構築」,2019/4/1-2022/3/1.

委員歴

1）　日本助産学会 査読委員(2011/4/1-)

看護学科　　准教授　　福井　里美

論文

1) 福井里美,吉田みつ子,守田美奈子,奥原秀盛,遠藤公久:長期がんサバイバーがピアサポート活動を続ける意味―10 年以上の活動経験を通して―, 14(2):79-88, 2019.05.
2) 福井里美:がん患者への終末期場面で看護のやりがいを感じる認定看護師・専門看護師の経験. 日本赤十字看護学会誌, 20(1):1-9, 2020.03

講演・口頭発表等

1) 福井里美,坂井志織,三浦里織,石橋 裕,新井敏子,久村和穂,近藤明美,西口旬子,星野晴美:がん患者の障害年金申請時における社会保険労務士の実践. 第 24 回日本緩和医療学会学術大会, 2019/6/21.
2) 福井里美,坂井志織,三浦里織,石橋裕,新井敏子,久村和穂,近藤明美,西口旬子,星野晴美:がん患者の障害年金申請時における社会保険労務士の実践. Palliative Care Research, 14(Suppl.):S414-S414, 2019.06.
3) 重光洋亮,福井里美,坂井志織,小林隆司,池田由美,新井清美,眞正浄光,飯塚 哲子,三浦 里織,西村ユミ]:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加した学生の経験. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):23-23, 2019.09
4) 三浦里織,飯塚哲子,西村ユミ,福井里美,坂井志織,新井清美,小林隆司,池田由美,眞正浄光,重光洋亮:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加したファシリテーターの経験. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):23-23, 2019.09.

社会貢献活動

1) NPO がんサポートコミュニティー.[lecturer,organizing_member,demonstrator],2001-
2) NPO 法人がんフォーラム山梨:第 13 回山梨がんフォーラム.[appearance,panelist,presenter],2019/10/6
3) がん感染症センター・都立駒込病院:看護研究研修コース.[lecturer,advisor],2014/6/11-2019/12/1
4) 東京都立墨東病院:新人指導者研修会.[lecturer,advisor],2019/12/5
5) 公社多摩南部地域病院 看護部:看護研究研修コース.[lecturer,advisor],2019/4/1-
6) 山梨県福祉保健部健康増進課:がん患者ピアサポート研修事業.[lecturer],2014/9/17-
7) 日本保健科学学会学会誌編集委員.[organizing_member],2016/9/1-
8) 日本カウンセリング学会編集委員、査読委員.[editor],2017/4/1-
9) 日本赤十字看護学会誌 編集委員.[editor],2019/4/1-

看護学科　　准教授　　増谷　順子

論文

1）　増谷順子,太田喜久子,真志田祐理子:地域在住高齢者に対する介護･認知症予防としての園芸活動の効果．日本認知症ケア学会誌，18(3):Oct-19.

Misc

1）　増谷順子:認知症の人の well-being をもたらす園芸活動の実践．日本認知症ケア学会誌，18(2):444-452，Jul-19.

講演･口頭発表等

1）　増谷順子:2018 年度一般社団法人日本認知症ケア学会地域ケア活動支援事業:地域住民のための認知症の普及啓発に向けた園芸活動プロジェクト．第 20 回日本認知症ケア学会大会，2019/5/25.

2）　増谷順子:仕事を持つ女性のダブルケアの実態－認知症の親の介護と子育ての両立－．第 20 回日本認知症ケア学会大会，2019/5/26.

競争的資金等の研究課題

1）　増谷順子:首都大学東京　2019 年度　傾斜的研究費　部局分　部局競争的経費「認知症カフェを利用する認知症者への園芸活動の効果検証」，principal_investigator,Apr-19-Mar-20.

社会貢献活動

1）　荒川区認知症介護教室.[lecturer],2020/1/30-

2）　平成 31 年度荒川ころばん体操リーダー養成講座.[lecturer],Jul-18-

3）　葛飾区健康づくり推進員勉強会.[lecturer],2020/2/28-

4）　慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員.[organizing_member],2014/4/1-

5）　慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師.[lecturer],2015/4/1-

看護学科　　准教授　　三浦　里織

論文

1) 福井里美,坂井志織,三浦里織,石橋裕,新井敏子,久村和穂,近藤明美,西口旬子,星野晴美:がん患者の障害年金申請時における社会保険労務士の実践. Palliative Care Research, 14(Suppl.):S414-S414, 2019/6/1.
2) 重光洋亮,福井里美,坂井志織,小林隆司,池田由美,新井清美,眞正浄光,飯塚哲子,三浦里織,西村ユミ:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の4職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加した学生の経験. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):23-23, 2019/9/1.
3) 三浦里織,飯塚哲子,西村ユミ,福井里美,坂井志織,新井清美,小林隆司,池田由美,眞正浄光,重光洋亮:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加したファシリテーターの経験. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):23-23, 2019/9/1.

著書

1) がん薬物療法看護ベストプラクティス. 下山達, 三浦里織, 悪性リンパ腫, 2020/2/1
2) .がん薬物療法看護ベストプラクティス. 佐々木常雄監修, 下山達, 三浦里織編, 2020/2/1

Misc

1) 星野晴美,西口旬子,福井里美,坂井志織,三浦里織,石橋裕,久村和穂,新井敏子,近藤明美:がん薬物療法に伴うしびれによる働きづらさ－がん就労支援に向けたツールの作成－. 第 34 回日本がん看護学会学術集会抄録集, 381, 2020/2/20.

講演･口頭発表等

1) 三浦里織,今泉郷子:がん化学療法看護認定看護師研修生の自己の看護実践パターン認識の支援～ニューマン理論に基づく“仲間同士の対話”という教育実践の試み～. ニューマン理論･研究･実践研究会第 13 回対話集会, 2019/10/20.

委員歴

1) 特定非営利活動法人(NPO) ニューマン理論･研究･実践研究会　理事(2015/4/1-)
2) がん医療研修機構　理事(2015/11/1-)

護学科　　助 教　　巖 千晶

講演･口頭発表等

1） 巖千晶,田原茉理恵,長谷部裕佳,鈴木享子：我が国における妊婦体操の文献検討～妊娠中の心と身体づくりを知るために～．日本助産師学会抄録集，2019/5/25．

2） 佐藤栞,巖千晶：立ち会い分娩が夫の心理に及ぼす影響と支援．日本保健科学学会誌，2019/10/5．

3） 片岡陽,巖千晶：子ども立ち会い分娩が及ぼす子どもへの影響と支援．日本保健科学学会誌，2019/10/5．

社会貢献活動

1） 35(産後)サポネットin 荒川.[organizing_member],2018/4/1-

2） 35(産後)サポネットin 荒川:母乳講習会.[lecturer],2019/2/20

3） 35(産後)サポネットin 荒川:母乳講習会.[lecturer],2020/2/13

委員歴

1） 全国助産師教育協議会　選挙管理委員(2018/9/1-)

2） 全国助産師教育協議会　組織委員(2019/8/1-)

看護学科　　助 教　　大庭 貴子

論文

1) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植において看護師が困難感を抱える場面とその影響要因(原著論文). 日本移植・再生医療看護学会誌, 15:14-26, 2020.

講演・口頭発表等

1) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植を受ける患者の臨終期において看護師が抱える困難感の実態, 第 39 回日本看護科学学会学術集会, 2019.11
2) 前田耕助,加藤智史,大庭貴子,柏木聖代,大河原知嘉子,習田明裕:温湯による足浴がもたらす脳活動への効果, 第 39 回日本看護科学学会学術集会, 2019.11
3) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植を受ける患者の臨終期において看護師が抱える困難感とその影響要因, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020.3

競争的資金等の研究課題

1) 大庭貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業(若手研究)「造血幹細胞移植受療患者の臨終期における看護実践モデルの検討」,2019.4.1-2022.3.31
2) 習田明裕,大庭貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業(基盤研究 C)「臓器移植医療における看護職の倫理的実践モデルの構築」,2017.4.1-2020.3.31

看護学科　　助 教　　川添 美花

競争的資金等の研究課題

1） 川添美花:日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究「家族システム論からみた精神障害を持つ人のきょうだいである経験の実態と支援の検討」, 2019/4/1-2023/3/31.

社会貢献活動

1） 2019 年度首都大学東京オープンユニバーシティ 夏期講座「コミュニティのメンタルヘルス」.[lecturer], 2019/7/1-2019/8/1

2） 福島県外避難者心のケア訪問事業.[others],2019-

看護学科　　助 教　　前田 耕助

論文

1） 温かい足浴が前頭前野の脳活動に及ぼす影響. Mar-20.

2） 温かい足浴が前頭前野の脳活動に及ぼす影響. お茶の水看護学雑誌, 14:1-14, Mar-20

講演･口頭発表等

1） 前田耕助,加藤智史,大庭貴子,柏木聖代,大河原知嘉子,習田明裕:温湯による足浴がもたらす脳活動への効果. 日本看護科学学会, Nov-19.

競争的資金等の研究課題

1） 前田耕助:文部科学省 若手研究 B「脳血流動態を効果指標とした温度を活用した看護援助の開発」, principal_investigator,Apr-16-Mar-20.

看護学科　　助 教　　三輪 聖恵

論文

1） 横山ひろみ,富田幸枝,三輪聖恵,美濃口真由美,北島裕子,鈴木英子:終末期患者と看護師との関係を形成する看護学生の経験尺度の信頼性妥当性の検討. 2019/7/1.

2） 美濃口真由美,北島裕子,横山博美,三輪聖恵,鈴木英子:産後1か月の母親の育児困難感:概念分析, 2019/7/1.

3） 北島裕子,横山博美,三輪聖恵,美濃口真由美,鈴木英子:首都圏の大学病院に勤務する勤務帯リーダーのリーダーシップ行動, 2019/7/1.

4） 三輪聖恵,美濃口真由美,北島裕子,横山博美,鈴木英子:先輩看護師の役割モデル行動., [MASAE MIWA,MAYUMI MINOGUCHI,HIROKO KITAJIMA,HIROMI YOKOYAMA,EIKO SUZUKI], 2019/7/1.

講演･口頭発表等

1） Hiromi Yokoyama,Sachie Tomita,Masae Miwa,Mayumi Minoguchi,Hiroko kitajima,Eiko Suzuki:Examination of Reliability and Validity of a Scale to Measure the Experience of Nursing Students to Form Terminally Ill Patient-Nurse Relationships.. 7th Annual Worldwide Nursing Conference, 2019/7/15.

2） Masae Miwa:Child Rearing Difficulties of Mothers at One Month after Giving Birth:A Concept Analysis.. 7th Annual Worldwide Nursing Conference, 2019/7/15.

3） Hiroko kitajima,Hiromi Yokoyama,Masae Miwa,Mayumi Minoguchi,Eiko Suzuki : Leadership Behaviors towards Medical Staff,Patients,and the Families by Shift Leader nurses Working in University Hospitals in Metropolitan Areas in Japan. 7th Annual Worldwide Nursing Conference, 2019/7/15.

4） Masae Miwa,Myumi Minoguchi,Hiroko Kitajima,Hiromi Yokoyama,Eiko Szuki:Role Model Behaviors of Senior nurses. 7th Annual Worldwide Nursing Conference, 2019/7/15.

社会貢献活動

1） 第 27 回日本保健科学学会.[organizing_member],2017/9/30-

看護学科　　助 教　　村上 優子

著書

1） つまずき立ち上がる看護職たち : 臨床の知を劈く看護職生涯発達学, 2019.

Misc

1） 村上優子,西村ユミ:【拡がる看護研究の未来】看護研究の歩みと展開 現象学的看護研究の導入と新たな展開. 看護研究, 52(7):530-535, 19-Dec.

講演･口頭発表等

1） 菊池ひとみ,細野知子,村上優子,伊田裕美:1970 年代後半の看護系雑誌のタイトルから読み取る看護における知的関心の動向. 第 33 回日本看護歴史学会学術集会, 2019/8/31.

競争的資金等の研究課題

1） 村上優子:首都大学東京 2019 年度傾斜的研究費 若手奨励「外傷性脊髄損傷患者にかかわる医療者の経験ー受傷後間もない時期に焦点をあててー」,Jun-19-Mar-20.

理　学　療　法　学　科

理学療法学科　　学科長　　山田　拓実

論文

1） Rika Mangyo,Takumi Yamada:Effect of duration of exercise on the physical function of the frail elderly, The World Confederation for Physical Therapy 2019, 2019/5/1.

2） Yamada Takumi:Effect of 5-year participation in a health-enhancing exercise program for persons with physical handicaps and frail elderly, The World Confederation for Physical Therapy 2019, 2019/5/1.

3） Sato Azuka,Yamada Takumi:Biomechanics of short leg brace (Ottobock Agilium Freestep) for osteoarthritis of knee and its relationship with flat feet, The World Confederation for Physical Therapy 2019, 2019/5/1.

4） Shibata Shota,Yamada Takumi:Assessment of muscle density index with multi-frequency bioelectrical impedance analysis:Relationship between aging and one leg standing time. The World Confederation for Physical Therapy 2019, 2019/5/1.

5） Takagi Mineko,Yamada Takumi:Activation of the Motor Cortex during Surface Interferential Current Therapy for Urinary Incontinence using Functional Near-Infrared Spectroscopy, The World Confederation for Physical Therapy 2019, 2019/5/1.

6） Yoshinao Satoh,Takumi Yamada,Yasuhisa Arai,Ryota Shimamura,Masaki Hirosawa,Shota Takagi:Relationship between foot and ankle function and immediate effect of the Honda Walking Assist device in hemiplegic stroke patients, linternational Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2019/6/1.

7） Tazawa Tomohiro,Misaki Sadaya,Yamamoto Naosi,Yamaguchi Hidenoro,Ohshima Rie,Yamada Takumi,Sugimoto Kazutaka: Association of difficulty in descending stairs with age and sex group in patients underwent total knee arthroplasty, linternational Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2019/6/1.

8） Tsukasa Kaguchi,Takumi Yamada,Kodai Iwashita:Biomechanical gait analysis for a hip disarticulation prosthetic- power source for the swing phase of a hip disarticulation prosthetic limb. linternational Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2019/6/1.

9） Junpei Katoh,Takumi Yamada,Takehiro Ohmi,Yoshinao Satoh:Influence of Insoles on Healthy Young Women’s Foot Motion and Knee Adduction Moment During Walking, linternational Society of Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM), 2019/6/1.

10） 國枝洋太,石山大介,西尾尚倫,三木啓嗣,山田拓実,足立智英,星野晴彦:基本動作に介助を要する急性期脳卒中患者における肺炎合併の予測因子の検討. 理学療法科学, 34(3):325-330, 2019/6/1.

11） Yoshinao Satoh,Takumi Yamada,Ryota Shimamura,Takehiro Ohmi:Comparison of foot kinetics and kinematics during gait initiation between young and elderly participants, Physical Therapy Science 31(7):498-503, 2019/7/1.

12） 國枝洋太,荒川千晶,石山大介,西尾尚倫,木村鷹介,小山真吾,音部雄平,鈴木瑞恵,菊池智恵,山田実,山田拓実,髙倉朋和:地域在住高齢者における運動と認知課題の二重課題トレーニングの効果. 日本予防理学療法学会第5回サテライト集会, 2019/8/1.

13） 佐藤義尚,山田拓実,島村亮太,廣澤全紀,高城翔太,新井康久:脳卒中片麻痺患者におけるHONDA歩行アシストの効果と足部･足関節機能の関係. 理学療法学, 46(Suppl.1):P-B-11-8-, 2019/8/1.

14） 森田智之,太田啓介,菅野達也,柏原康徳,松田健太,渡辺偉二,横山修,山田拓実:市販の活動量計を用いた在宅脊髄損傷者の活動量の検証. 理学療法学, 46(Suppl.1):, 2019/8/1.

15) 田澤智央,山田拓実,大見武弘,島村亮太,加藤淳平,美崎定也,佐藤義尚,信太奈美,杉本和隆:右人工膝関節全置換術後ゆるみに対して再置換術を施行された一症例における歩行解析 再置換の術前と術後6ヵ月の縦断的調査.理学療法学,46(Suppl.1):1-P-F-2-6-,2019/8/1.

16) 國枝洋太,荒川千晶,石山大介,西尾尚倫,木村鷹介,小山真吾,鈴木瑞恵,市川雄大,小川秀幸,山田実,山田拓実,廣川竜斗,足立智英,星野晴彦,高倉朋和:脳血流 SPECT を用いた健忘型軽度認知障害の脳血流分布の特徴.Dementia Japan,33(4):554,2019/10/1.

17) 万行里佳,山田拓実:身体機能面からみた介護予防教室の実施期間に関する研究.78 回 日本公衆衛生学会総会抄録集:412,2019/10/1.

18) 國枝洋太,荒川千晶,石山大介,西尾尚倫,鈴木瑞恵,伊藤大将,田口涼太,菊池智恵,増田浩了,山田実,山田拓実,高倉朋和,足立智英,星野晴彦:年齢別の地域在住高齢者における運動と認知課題の二重課題トレーニングが認知機能変化に及ぼす効果.The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine,56(秋季特別号):S466-,2019/10/1.

19) 田澤智央,山田拓実,島村亮太,大見武弘,加藤淳平,石井健史,美崎定也,杉本和隆:片側人工股関節全置換術後患者における歩行中の関節間力と非術側股関節最小関節裂隙幅の関連.第50回日本人工関節学会,2020/2/1.

20) 大見武弘,山田拓実,美崎定也,島村亮太,田澤智央,加藤淳平,杉本和隆:ローテーティングヒンジ型人工膝関節を用いた再置換術後患者のの立脚初期における歩行解析.第 50 回日本人工関節学会,2020/2/1.

21) 國枝洋太,三木啓嗣,石山大介,西尾尚倫,山田拓実:入院時 National Institutes of Health Stroke Scale の下位項目による急性期脳卒中患者の肺炎合併予測因子の検討.日本保健科学学会誌 = The journal of Japan Academy of Health Sciences,22(4):174-182,2020/3/1.

著書

1) 【整形外科診療における最先端技術】.contributor,診断、評価 動的評価 三次元動作解析装置を用いた point cluster technique とその臨床応用,別冊整形外科 南江堂,2019/4/1.

2) 健康寿命延伸に寄与する体力医学:健康寿命延伸に寄与する体力医学.contributor,中高年齢者の COPD 患者における運動療法の意義,医歯薬出版,2019/9/1.

理学療法学科　　教 授　　浅川 康吉

論文

1) 宮田莉菜,安原千亜希,篠崎有陛,浅川康吉,田中志子:脳活性化リハビリテーションの 5 原則に基づいた介入により、動作能力が向上したレビー小体型認知症と第 4 腰椎圧迫骨折を呈した症例. 理学療法群馬, (30):59-63, 2019/8/1.
2) 牧野真弓,加藤真由美,冨田利香,浅川康吉,関井愛紀子,津田義正,岡部正興,中島ゆかり,正源寺美穂:介護老人保健施設の看護師と介護職を対象とした転倒予防連携プログラム介入の効果検証 非ランダム化並行群間比較試験. 日本転倒予防学会誌, 6(3):35-44, 2020/3/1.

Misc

1) 浅川康吉:「地域づくり」を学ぼう! 住民主導型の介護予防事業 群馬県・鬼石モデル. Journal of Clinical Rehabilitation, 28(8):796-801, 2019/7/1.
2) 齋藤徹,藤井一弥,小林将生,浅川康吉:直線歩行および曲線歩行能力の加齢による変化について. 理学療法学, 46(Suppl.1):O-47, 2019/8/1.
3) 小林将生,藤井一弥,齋藤徹,浅川康吉:地域在住高齢者を対象とした Figure 8 walk test および 3m zigzag walk test の測定誤差の検討. 理学療法学, 46(Suppl.1):O-40, 2019/8/1.
4) 浅川康吉:介護予防における運動機能の改善方法とその効果. 理学療法学, 46(Suppl.1):np54-np54, 2019/8/1.
5) 浅川康吉:【IADL-生活をもっと科学的に】さまざまな ADL 評価とその活用. 理学療法ジャーナル, 53(8):775-781, 2019/8/1.

講演・口頭発表等

1) 正源寺美穂,加藤真由美,北岡和代,浅川康吉,植村小夜子,小林素子,甲斐正義,石田和生,稲垣嘉信:独居高齢者への生活行動センシングによる夜間頻尿状況の縦断的評価. 日本老年医学会雑誌, 2019/5/25.

競争的資金等の研究課題

1) 経常研究「高齢者の筋力トレーニング」,1995-
2) Ordinary Research「Resistance training for the elderly」,1995-
3) 経常研究「高齢者の転倒予防」,1998-
4) Ordinary Research「Fall prevention fot the elderly」,1998-
5) 経常研究「地域リハビリテーションと介護予防」,2003-
6) Ordinary Research「Community based rehabilitation and Preventive Care of Physical Therapy for the Elderly」,2003-

委員歴

1) 日本地域理学療法学会 副代表幹事(2015/4/1-)

理学療法学科　　教 授　　網本 和

論文

1） Numao Taku,Fujita Yuri,Ichikawa Kyohei,Ide Shogo,Katori Hidekazu,Shimada Tomoko,Ota Kohei,Ikeda Yumi,Amimoto Kazu：Leftward Optical Shift Induces Bias in Line Bisection: A Study with Healthy Subjects Using a Head-mounted Display, Progress in Rehabilitation Medicine (2432-1354),4 巻,1-6,2019

2） 網本和：高次脳機能障害に対する理学療法　逆境の理学療法,理学療法研究 (0289-4211),36 号 ,Page3-8,2019/04

3） 廣澤全紀,佐藤義尚,山川諒太,植松寿志,島村亮太,網本和：半側空間無視による左右非対称な歩容がHONDA 歩行アシストを使用した歩行練習によって改善を認めた右大脳半球損傷の一症例,理学療法東京 (2188-1227),7 号,24-29,2019/06

4） Fukata K,Amimoto K,Inoue M,Sekine D,Inoue M,Fujino Y,Makita S,Takahashi H.：Effects of diagonally aligned sitting training with a tilted surface on sitting balance for low sitting performance in the early phase after stroke: a randomised controlled trial,Disabil Rehabil,1-9. doi: 10.1080/09638288.2019.1688873,2019/11/12

5） Fujino Y,Takahashi H,Fukata K,Inoue M,Shida K,Matsuda T,Makita S,Amimoto K.：Electromyography-guided electrical stimulation therapy for patients with pusher behavior,A case series. NeuroRehabilitation,45(4),537-545. Doi,10.3233/NRE-192911,2019/12/18

6） Fukata K,Amimoto K,Fujino Y,Inoue M,Inoue M,Takahashi Y,Sekine D,Makita S,Takahashi H.：Influence of unilateral spatial neglect on vertical perception in post-stroke pusher behavior. Neurosci Lett,715,134667,doi: 10.1016/j.neulet.2019.134667. Epub 2019 Nov 30,2020/1/10

著書

1） 「夢幻の空間」, 網本和編著,ヒューマンプレス,2019/9

Misc

1） K. Fukata,K. Amimoto,Y. Fujino,M. Inoue,M.Inoue, Y.Takahashi,D. Sekine,S. Makita,H. Takahashi：Influence of pusher behavior on starting position of the subjective postural vertical in the frontal plane．,Abstract Book, p6, OP09, European Conference of Neuro-Rehabilitation, 2019. Budapest.

2） M. Inoue,K. Amimoto,Y. Chiba,K. Fukata,D. Sekine,H. Iwasaki,T. Kimura,T. Okihara,Y. Fujino,Y. Ikeda,H. Maruyama,H. Takahashi,S. Makita:The effectiveness of reaching exercise to nonparetic side using lateral wedge for standing balance in acute stroke: a randomized controlled trial,Abstract Book,p65,P021,European Conference of Neuro-Rehabilitation,2019. Budapest.

3） K. Sakai,Y. Ikeda,K. Amimoto,K. Goto,K. Morikawa,K. Kumai,K.:Shibata:Effects of visual motor illusion on resting-state functional connectivity: a preliminary study,Abstract Book,p75,P036,European Conference of Neuro-Rehabilitation,2019. Budapest.

4） J. Tanabe,K. Amimoto,T. Nagahata,Y.:Hashimoto:Immediate effect of Kinesthetic illusion induced by movie of ankle dorsiflexion with increased exercise intensity for sit-to-stand movement,Abstract Book,p94,P070,European Conference of Neuro-Rehabilitation,2019. Budapest.

5） T. Numao,K. Amimoto,K. Motomura:Assessment and therapeutic approach for unilateral spatial neglect in three-dimensional space using a virtual reality world,Abstract Book,p125,PS42,European Conference of Neuro-Rehabilitation,2019. Budapest.

6） K. Sawa,K. Amimoto:Efficacy of repetitive lateral truncal tilt balance training with a wedge on subjective postural vertical recovery after stroke -A randomized crossover trial-

7） 千葉祐也,井上真秀,網本和,木村拓誠,深田和浩,関根大輔,岩崎寛之,藤野雄次,丸山元,牧田茂,高橋 秀寿:急性期脳血管障害患者における非麻痺側への側方体重移動能力がバランスや歩行能力に及ぼす影響,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526),56 巻特別号,Page2-P1K-9-3,2019/05

8） 加藤優一,佐藤祐,折本巧,木倉将成,網本和:Pusher 現象を伴った脳卒中患者における予後因子の検討について,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine(1881-3526),56 巻特別号,Page2-P1K-4-3,2019/05

9） 折本巧,佐藤祐,加藤優一,網本和:Pusher 現象、半側空間無視の合併症例の回復過程の特,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine(1881-3526),56 巻特別号,Page2-P1K-4-2,2019/05

10） 佐藤祐,加藤優一,木倉将成,折本巧,網本和:脳損傷の違いによる Pusher 現象と半側空間無視の経時的変化,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine(1881-3526),56 巻特別号,Page2-P1K-4-1,2019/05

11） 田邊淳平,網本和,森下元賀,永幡哲也,橋本雄介:足関節背屈機能に対し運動強度を高めた足関節背屈映像を提示した視覚誘導性自己運動錯覚の即時効果,理学療法学 (0289-3770),46 巻 Suppl.1 ,Page P-B-9-1,2019/08

12） 木倉将成,佐藤祐,加藤優一,網本和:回復期病棟における脳卒中患者の経時的変化 Pusher 現象と半側空間無視に着目して,理学療法学 (0289-3770),46 巻 Suppl.1,Page P-B-2-1,2019/08

13） 澤広太,網本和,志田航平,石神佳祐,石井千佳,鈴木陸也,宮本琢也,福岡宏之,末永達也,宮上光祐:回復期脳血管障害患者に対する坐骨下ウェッジでの麻痺側への体幹側方傾斜トレーニングが垂直認知及び座位バランスに及ぼす影響,理学療法学 (0289-3770),46 巻 Suppl.1,Page P-B-1-1,2019/08

14） 深田和浩,網本和,井上真秀,関根大輔,井上真美子,藤野雄次,牧田茂,高橋秀寿:発症早期の脳血管障害患者に対する対角平面上の座位傾斜練習が身体の垂直性と座位バランス能力に与える効果 無作為化比較試験,理学療法学 (0289-3770),46 巻 Suppl.1,Page O-B-2-3,2019/08

15） 万治淳史,松田雅弘,國場開,網本和:脳卒中後片麻痺患者に対する経頭蓋直流電気刺激が立位バランスに与える影響 Online effect および immediate after-effect に関する検討,理学療法学(0289-3770),46 巻 Suppl.1,Page O-B-1-1,2019/08

16） Numao Taku,Fujita Yuri,Ichikawa Kyohei,Ide Syogo,Shimada Tomoko,Ota Kohei,Amimoto Kazu:Affection of Visual Field Right-Side Bias Due to Head Mounted Displays on Bisection Tests: A Study of Healthy Subjects,理学療法学(0289-3770),46 巻 Suppl.1,Page E-2,2019/08

17） 志田航平,網本和,深田和浩,井上真秀,関根大輔,高橋秀寿,牧田茂:体幹右回旋位でのプリズムアダプテーションが急性期半側空間無視患者に与える影響 ケーススタディー,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526),56 巻秋季特別号,Page S463,2019/10

18） 千葉祐也,井上真秀,網本和,木村拓誠,深田和浩,関根大輔,藤野雄次,丸山元,牧田茂,高橋秀寿:急性期脳血管障害患者における側方体重移動能力と臨床指標との関連,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526),56 巻秋季特別号,Page S450,2019/10

19） 関根大輔,網本和,深田和浩,井上真秀,岩崎寛之,塚畑三里,高橋秀寿,牧田茂:頭部と下腿の固定の有無が前額面上の主観的身体垂直に及す影響、2 症例からの検討,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526),56 巻秋季特別号,Page S362,2019/10

20） 井上真秀,網本和, 黒澤紗妃,津島正明,深田和浩,藤野雄次,丸山元,牧田茂,高橋秀寿:Pusher 現象を合併した半側空間無視症例に対する運動出力系へのアプローチの経過,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526),56 巻秋季特別号,Page S361,2019/10

理学療法学科　　教 授　　池田 由美

論文

1) K. Sakai, Y. Ikeda: Clinical assessment of motor imagery and physical function in mild stroke patients. Journal of physical therapy sciences, J. Phys. Ther. Sci, 31; 992-996, 2019.

講演･口頭発表等

1） Katsuya Sakai, Yumi Ikeda, Kazu Amimoto：Relationship between the motor imagery of gait and physical functions in stroke patients. The 1st Japan-Korea-Taiwan Neurorehabilitation Conference. 2019.04.　P-5,66

2） Katsuya Sakai, Yumi Ikeda：Analysis of the Relationship between Gait Motor Imagery and Physical Function in Stroke Patients. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress. 2019.06.　P1-109　117

3） Keisuke Goto, Ryusuke Shimada, Yuki Hagiwara, Miyuki Fukagawa, Yohei Aoyama,Yumi Ikeda, Hirokazu Koseki, :Hidetoshi Kasuya：Usefulness of a Cognitive Motor Task for Reorganizing Sensory Information Related to Walking Function in Stroke Patients. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress. 2019.06.　P3-746 199

4） Ken Kumai, Yumi Ikeda, Katsuya Sakai, Keisuke Goto, Kenji Morikawa, Keiichirou Shibata：Brain Activity during Trunk Muscle Activities: A Functional Near-Infrared Spectroscopy13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress. Study. P3-825 ,2062019.06.

5） 三浦里織,飯塚哲子,西村ユミ,福井里美,坂井志織,新井清美,小林隆司,池田由美,眞正浄光,重光洋亮：実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加したファシリテーターの経験. 日本保健科学学会誌. 22 巻 Suppl. :Page23, 2019.09

6） 重光洋亮,福井里美,坂井志織,小林隆司,池田由美,新井清美,眞正浄光,飯塚哲子,三浦里織,西村ユミ：実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加した学生の経験. 日本保健科学学会誌. 22 巻 Suppl. :Page23, 2019.09

7） 酒井克也,池田由美,後藤圭介,森川健史,熊井健,柴田恵一郎：手指運動の視覚性運動錯覚時に生じる脳血流量の変化は fNIRS で捉えられるか. 日本保健科学学会誌. 22 巻 Suppl. :Page25, 2019.09

8） Katsuya Sakai, Yumi Ikeda, Kazu Amimoto, Keisuke Goto, Kenji Morikawa, Ken Kumai Keiichiro Shibata：Effects of visual motor illusion on resting-state functional connectivity: a preliminary study. European Congress of NeuroRehabilitation. 2019.10.

Misc

1) 池田由美：ターニングポイント. 連載　いしのうへ　第 72 回. 理学療法ジャーナル. 54(2):213, 2020. 02.

受賞

1） 酒井克也, 川崎翼, 池田由美：2019 年　第 11 回日本保健科学学会　奨励賞,日本保健科学学会誌. 21(4):208-214, 2018.

2） 酒井克也,池田由美,後藤圭介,森川健史,熊井健,柴田恵一郎：2019 年　第 29 回日本保健科学学会学術集会　学術集会長賞. 日本保健科学学会誌. 22 巻 Suppl. :Page25, 2019.09

理学療法学科　　教　授　　新田　収

論文

1) Ryotaro Suzuki,Rintaro Onishi,Keiko Kasamatsu,Yoshiki Shimomura,Osamu Nitta,Ryuta Motegi,Shin Tsuchiya,Nami Shida,Naoyuki Takesue:Development of Boccia Robot and Its Throwing Support Interface:556-567, 2019.

2) Minzhi Deng,Ruya Chen,Shun Song,Junjie He,Rintaro Onishi,Ryotaro Suzuki,Ryuta Motegi,Naoyuki Takesue,Shin Tsuchiya,Yoshiki Shimomura,Nami Shida,Osamu Nitta,Keiko Kasamatsu:Interface Design for Boccia Robot Considering Operation Characteristic:382-394, 2019.

3) Koji Nakamaru,Junya Aizawa,Keizo Kawarada,Yukari Uemura,Takayuki Koyama,Osamu Nitta:Immediate effects of thoracic spine self-mobilization in patients with mechanical neck pain: A randomized controlled trial, 23(2):417-424, 2019/4.

4) 菊地謙,新田収:肢体不自由児の社会適応能力を規定する要因の検討. 小児保健研究, 78(講演集):161-161, 2019/5.

5) 高橋恵里,小野治子,新田収:定型発達幼児における運動遊びの嗜好と関節弛緩性の関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 56(特別号):2-4, 2019/5.

6) 千葉彩加,鳥居香菜,五十嵐美優,新田収,松田雅弘:定型発達児における積み木を用いた空間認知検査と年齢の関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 56(特別号):2-2, 2019/5.

7) 鳥居香菜,五十嵐美優,千葉彩加,新田収,松田雅弘:定型発達児における姿勢模倣の反応時間・正確性と年齢の関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 56(特別号):2-1, 2019/5.

8) 菊地謙,新田収:親子分離経験が脳性麻痺児の社会適応能力に与える影響. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 56(特別号):2-5, 2019/5.

9) 五十嵐美優,鳥居香菜,千葉彩加,新田収,松田雅弘:小学生におけるタンデム立位バランスに年齢とライトタッチが及ぼす影響. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 56(特別号):2-5, 2019/5.

10) 楠本泰士,菅原仁,松田雅弘,高木健志,新田収:痙直型脳性麻痺者における足関節等尺性背屈時の H 波の特徴. 理学療法学, 46(3):168-173, 2019/6.

11) 楠本泰士,菅原仁,高木健志,松田雅弘,新田収:痙直型脳性麻痺患者における H 反射の特徴と持続的ストレッチが脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響の pilot study. 理学療法学, 46(Suppl.1):O-6, 2019/8.

12) 高橋恵里,小野治子,新田収:幼児の全身関節弛緩性. 理学療法学, 46(Suppl.1):P-4, 2019/8.

13) 菊地謙,新田収,西川康博,大島浩幸:小児における歩行器使用の問題点 ヒヤリ・ハット、インシデントに着目して. 理学療法学, 46(Suppl.1):O-5, 2019/8.

14) 高橋恵里,小野治子,新田収:幼児の全身関節弛緩性. 理学療法学, 46(Suppl.1):P-4, 2019/8.

15) 菊地謙,新田収,西川康博,大島浩幸:小児における歩行器使用の問題点 ヒヤリ・ハット、インシデントに着目して. 理学療法学, 46(Suppl.1):O-5, 2019/8.

16) 楠本泰士,菅原仁,高木健志,松田雅弘,新田収:痙直型脳性麻痺患者における H 反射の特徴と持続的ストレッチが脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響の pilot study. 理学療法学, 46(Suppl.1):O-6, 2019/8.

17) 平野恵健,新田収,川上悟,阿部真也,伊藤芳保,本橋みどり,今村健太郎:介護予防教室に参加した高齢者の運動イメージと運動機能. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):44-44, 2019/9.

18) 高木健志,新田収,高橋恵里,菊池謙,楠本泰士:独歩を獲得した健常幼児における靴の特徴の調査. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):43-43, 2019/9.

19) 内尾優,猪飼哲夫,内山温,新田収:極低出生体重児における手の把握動作獲得時期の検討. 日本保

健科学学会誌, 22(2):74-79, 2019/9.

20) 楠本泰士,土屋順子,渡部祥輝,梅田勝,高木健志,松田雅弘,新田收:脳性麻痺痙直型両麻痺患者におけるインソールの有無における動的立位バランスの特徴. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):45-45, 2019/9.

21) 高橋恵里,小野治子,新田收:定型発達幼児における運動遊びの嗜好と関節弛緩性の関係. 日本保健科学学会誌, 22(2):80-86, 2019/9.

22) 内尾優,猪飼哲夫,内山温,新田收:極低出生体重児における手の把握動作獲得時期の検討. 日本保健科学学会誌, 22(2):74-79, 2019/9.

23) 西川康博,大島浩幸,新田收:子ども用 6 輪歩行器の試作. 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会講演要旨集, 2019():67-67, 2019/9.

24) 西川康博,大島浩幸,新田收:子ども用 6 輪歩行器の試作. 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会講演要旨集, 2019():67-67, 2019/9.

25) 高橋恵里,小野治子,新田收:定型発達幼児における運動遊びの嗜好と関節弛緩性の関係. 日本保健科学学会誌, 22(2):80-86, 2019/9.

26) 大島浩幸,西川康博,新田收:日本における小児用歩行器の利用実態調査. 人間工学, 55(5):180-188, 2019/10.

27) 内尾優,内山温,楠田聡,新田收:修正 1 ヵ月における超低出生体重児の下肢自発運動の特徴. 日本新生児成育医学会雑誌, 31(3):867-867, 2019/10.

28) 平野恵健,新田收,川上悟,阿部真也,大森まいこ,本橋みどり,伊藤芳保,今村健太郎:介護予防教室に参加した高齢者の身体特性の類型化と活動状況. 医学と生物学, 159(3):1-6, 2019/11.

29) 平野恵健,新田收,川上悟,阿部真也,福原直哉,大森まいこ,本橋みどり,伊藤芳保,今村健太郎:回復期リハビリテーション病院が主催する介護予防教室が準高齢者と高齢者に及ぼす効果. 医学と生物学, 159(4):1-7, 2019/12.

30) Yasuaki Kusumoto,Junko Tsuchiya,Yoshiteru Watanabe,Masaru Umeda,Tadamitsu Matsuda,Kenji Takaki,Osamu Nitta: Characteristics of dynamic standing balance with and without an insole in patients with spastic diplegia cerebral palsy, 32(1):23-26, 2020/1.

31) 高橋恵里,小野治子,新田收:幼児期における感覚刺激受容の偏りと運動能力の関係. 日本保健科学学会誌, 22(4):183-189, 2020/3.

理学療法学科　　准教授　　宇佐　英幸

論文

1） Sho Mitomo,Hideyuki Usa,Masafumi Hata,Daisuke Ogawa,Atsushi Senoo,Hitoshi Takei：Sequential Changes in Activity of Hip Abductor Muscles after Side-lying Hip Abduction Exercise with Different Directions using Muscle Functional Magnetic Resonance Imaging．Integrative Journal of Orthopaedics and Traumatology，Sequential Changes in Activity of Hip Abductor Muscles after Side-lying Hip Abduction Exercise with Different Directions using Muscle Functional Magnetic Resonance Imaging，2(3)：1-8，2019/5/1．

2） Masashi Matsumura,Hideyuki Usa,Daisuke Ogawa,Kazuna Ichikawa,Masafumi Hata,Hitoshi Takei，Pelvis/lower extremity alignment and range of motion in knee osteoarthritis: A case-control study in elderly Japanese women.，Pelvis/lower extremity alignment and range of motion in knee osteoarthritis: A case-control study in elderly Japanese women.，33(3)：515-521，2020．

Misc

1） Misaki Suzuki,Hideyuki Usa,Michiko Hrazono,Marino Inaba：Relationship between hip extensibility and activity of lumbar and hip extensor muscles during prone hip extension．ACOMPT congress 2019 Tokyo，2019/9/1．

社会貢献活動

1） （公社）日本理学療法士協会徒手理学療法部門:神経モビライゼーション下肢編.[lecturer],2017/10/29-

理学療法学科　　准教授　　来間　弘展

著書

1)　理学療法エビデンス大事典:現場で使える実践ガイド. joint_translation, 19 章 すべてを統合する, 2019/7/1.

2)　運動学とバイオメカニクスの基礎. joint_translation, 第 7 章顎関節の構造と機能:, 南江堂, 2019/9/1.

Misc

1)　Hironobu Kuruma,Masao Yamauchi,Yutaro Natsuyama,Nami Shida,Yorimitsu Furukawa,Hiroyo Kamio,Tomoko Shiratani:Hip joint muscle activity while walking with a harness, 2019/5/1.

2)　平泉裕,来間弘展:体幹・骨盤ハーネスを使用した脊柱-骨盤運動機能単位における姿勢制御効果. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 56(特別号):3-2, 2019/5/1.

3)　原和彦,豊田輝,萩臺伸之,岡安健,来間弘展,井上和久,森田眞史,鈴木保:有限要素解析によるソケット内圧と歩行時実測ソケット内圧の比較. 日本義肢装具学会誌, 35(特別):123-123, 2019/5/1.

4)　来間弘展,川口司,西武胤,山田拓実:ハーネス着用による歩行動作解析. 第 8 回日本ノルディック・ウォーク学会 学術大会プログラム集, 48, 2019/7/1.

5)　Hironobu Kuruma,Tsukasa Kawaguchi,Masao Yamauchi,Yorimitsu Furukawa:Three-dimensional motion analysis while walking with a harness. ACOMPT2019, 53, 2019/9/1.

6)　Tomoya Nozawa,Minami Kawamura,Mako Kunieda,Hironobu Kuruma:The effect of exercise on the treatment of low back pain persons, 55, 2019/9/1.

7)　Yukihiro Higo,Hironobu Kuruma:Synovial joint facilitation for limited ankle range of motion after anterior cruciate ligament injury, 77, 2019/9/1.

8)　Toru Yasuda,Genki Iwamura,Hiroshi Toyoda,Takahiro Takasu,Hironobu Kuruma:Effectiveness of intervertebral foramen dilation for right anterior femoral pain caused by L2/3 right hernia, 28, 2019/9/1.

9)　Yuki Iwashita,Hironobu Kuruma,Minjun Kim,Yui Takahashi:Influence of the difference in moving directions of great trochanter on hip function during clam exercise, 25, 2019/9/1.

10)　Minami Kawamura,Tomoya Nozawa,Mako Kunieda,Hironobu Kuruma:Examination of the training effect on low back pain by using the center of gravity at the unstable sitting, 56, 2019/9/1.

11)　髙橋雅人,来間弘展,新井光男,河村美波:固有受容性神経筋促通法による下部体幹筋群への持続的な抵抗運動が足関節底屈筋出力に及ぼす影響. 第 35 回東海北陸学術大会, 2019/11/1.

社会貢献活動

1)　日本オリンピック委員会強化スタッフ.[others],2016/4/1-

委員歴

1)　日本運動器徒手理学療法学会 理事(2017/4/1-)

理学療法学科　　准教授　　古川　順光

論文

1）　大宮博之,信太奈美,古川順光,備前梨穂:長期の継続したスポーツ活動が頸髄損傷スポーツ選手の呼吸機能に与える影響．日本障がい者スポーツ学会誌，28:39-43，2019/12/1．

講演･口頭発表等

1）　Yorimitsu Furukawa,Nami Shida,Hironobu Kuruma,Hiroyo Kamio,Osamu Nakamata,Osamu Nitta：Relationship between inspiratory muscle strength and thoracic kyphosis/ mobility in sitting position．ISPRM2019，2019/6/1．

2）　中俣修,古川順光,新田收:連続跳躍動作における最大跳躍高の決定要因の分析．第 74 回日本体力医学会大会，2019/9/19．

3）　神尾博代,伊藤望,国枝真子,千葉彩加,丸山仁司,古川順光:股関節内･外旋筋群の収縮が骨盤底に与える影響．第 74 回日本体力医学会大会，2019/9/19．

4）　Nami Shida,Yorimitsu Furukawa,Osamu Nitta：Skin temperature responses in a hot environment among wheelchair rugby and basketball players with spinal cord injury．International Conference on Nursing 2019，2019/10/23．

5）　Mari Sugiyama,Yorimitsu Furukawa,Jun Okamoto,Nami Shida：Positioning factors associated with lateral fibula diaphyseal pressure injuries．International Conference on Nursing 2019，2019/10/24．

6）　Jun Okamoto,Yorimitsu Furukawa,Mari Sugiyama,Nami Shida：Combined effect of pulmonary rehabilitation and music therapy in patients with chronic obstructive pulmonary disease．International Conference on Nursing 2019，2019/10/24．

7）　Yorimitsu Furukawa,Jun Okamoto,Mari Sugiyama,Nami Shida：Low back pain measures for long-term care health facility staff．International Conference on Nursing 2019，2019/10/24．

競争的資金等の研究課題

1）　鈴木明宏,古川順光,石井賢治:日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(C)「ウェアラブルデバイスを用いた身体活動量評価のための酸素摂取動態に基づく代謝推定法」，2017/4/1-2020/3/31．

理学療法学科　　准教授　　信太　奈美

論文

1) 大宮博之,信太奈美,古川順光,備前梨穂:長期の継続したスポーツ活動が頸髄損傷スポーツ選手の呼吸機能に与える影響. 日本障がい者スポーツ学会誌, 28:39-43, 2019.
2) Minzhi Deng,Ruya Chen,Shun Song,Junjie He,Rintaro Onishi,Ryotaro Suzuki,Ryuta Motegi,Naoyuki Takesue, Shin Tsuchiya,Yoshiki Shimomura,Nami Shida,Osamu Nitta,Keiko Kasamatsu:Interface Design for Boccia Robot Considering Operation Characteristic:382-394, 2019.
3) Ryotaro Suzuki,Rintaro Onishi,Keiko Kasamatsu,Yoshiki Shimomura,Osamu Nitta,Ryuta Motegi,Shin Tsuchiya, Nami Shida,Naoyuki Takesue:Development of Boccia Robot and Its Throwing Support Interface.. Human Interface and the Management of Information. Information in Intelligent Systems - Thematic Area, HIMI 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019, Orlando, FL, USA, July 26-31, 2019, Proceedings, Part II,
4) Ryotaro Suzuki,Rintaro Onishi,Keiko Kasamatsu,Yoshiki Shimomura,Osamu Nitta,Ryuta Motegi,Shin Tsuchiya, Nami Shida,Naoyuki Takesue], Development of Boccia Robot and Its Throwing Support Interface., Development of Boccia Robot and Its Throwing Support Interface:556-567, 2019.

講演･口頭発表等

1) Mari Sugiyama,Yorimitsu Furukawa,Jun Okamoto,Nami Shida:Positioning factors associated with lateral fibula diaphysis pressure injuries.
2) Jun Okamoto,Yorimitsu Furukawa,Mari Sugiyama,Nami Shida:Combined effect of pulmonary rehabilitation and music therapy in patients with chronic obstructive pulmonary disease.
3) Yorimitsu Furukawa,Jun Okamoto,Mari Sugiyama,Nami Shida:Low back pain measures for long-term care health facility staff.
4) Minzhi Deng,Ruya Chen,Shun Song,Junjie He,Rintaro Onishi,Rytaro Suzuki,Ryuta Motegi,Naoyuki Takesue, Shin Tsuchiya,Yoshiki Shimomura,Nami Shida,Osamu Nitta,Keiko Kasamatsu:Interface Design for Boccia Robot Considering Operation Characteristic.
5) Ryotaro Suzuki,Rintaro Onishi,Keiko Kasamatsu,Yoshiki Shimomura,Osamu Nitta,Ryuta Motegi,Shin Tsuchiya, Nami Shida,Naoyuki Takesue:Development of Boccia Robot and Its Throwing Support Interface.
6) Yorimitsu Furukawa,Nami Shida,Hironobu Kuruma,Hiroyo Kamio,Osamu Nakamata,Osamu Nitta:Relationship between inspiratory muscle strength and thoracic kyphosis mobility in sitting position.
7) Nami Shida,Yorimitsu Furukawa,Osamu Nitta:Skin temperature responses in a hot environment among wheelchair rugby and basketball players with spinal cord injury.

社会貢献活動

1) スポーツ科学監修.[others],2019-

委員歴

1) 日本パラリンピック委員会　医学委員会アンチドーピング部会(2016/3/1-)
2) 日本理学療法士協会　スポーツ支援推進執行委員会(2017/8/1-)
3) 日本パラリンピック委員会　医･科学･情報サポート委員(バイオメカニクス)(2011/4/1-)

理学療法学科　　助 教　　神尾 博代

講演･口頭発表等

1) 呼吸方法指導後の骨盤底筋活動に関する研究．第 1 回アジア徒手理学療法学術大会，2019/9/15.

2) 神尾博代,伊藤望,国枝真子,千葉彩加,丸山仁司,古川順光：股関節内･外旋筋群の収縮が骨盤底に与える影響．第 74 回日本体力医学会大会，2019/9/19.

競争的資金等の研究課題

1) 神尾博代：文部科学省　科学研究費補助金(基盤研究(C))「骨盤底筋群収縮トレーニング後の脳機能の変化についての解析」，principal_investigator,2018-2020.

2) 篠崎克子：文部科学省　科研費補助金(基盤研究(B))「骨盤底機能障害を予防する助産ケアのプログラム開発」，,2019-2021.

3) 井上薫：首都大学東京　2019 年度　傾斜的研究費(全学分)学長裁量枠(社会連携支援(社会連携活動支援))「バーチャルリアリティ認知症シミュレータを活用した認知症教育の効果」，coinvestigator,2019/5/19-2020/3/20.

理学療法学科　　助 教　　田島 敬之

Misc

1) 伊藤智也,小熊祐子,齋藤義信,田島敬之:身体活動を周囲に推奨する高齢者の特徴と動機要因 ふじさわプラス・テンプロジェクト地域高齢者グループにおける混合研究. 日本健康教育学会誌, 27(Suppl.):119-119, 2019/6.

講演・口頭発表等

1) 伊藤智也,小熊祐子,齋藤義信,田島敬之:身体活動を周囲に推奨する高齢者の特徴と動機要因-ふじさわプラス・テンプロジェクト 地域高齢者グループにおける混合研究-. 第 28 回日本健康教育学会学術大会, 2019/6.
2) 川瀬敦子,齋藤義信,田島敬之,伊藤智也,小熊祐子:壮年期と高齢期における個人レベルのソーシャル・キャピタルと主観的健康観の関連. 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 2019/10.
3) 伊藤智也,小熊祐子,齋藤義信,田島敬之,川瀬敦子:高齢者コミュニティにおけるグループ運動参加者の移動機能と体力変化に関する縦断研究. 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 2019/10.
4) 齋藤義信,小熊祐子,今村晴彦,田島敬之,伊藤智也,川瀬敦子:住民主体のグループ運動の実施状況:藤沢市老人クラブを対象とした悉皆調査. 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 2019/10.
5) Yukiko Kawata,Yuko Oguma,Takayuki Tajima,Yoshinobu Saito,Yukiko Abe,Yasumichi Arai:Physical Activity and Body Composition in 85-89 years old Japanese: A descriptive study on Kawasaki Well-being Project (KWP). The 10th APRU Population Aging Conference, 2019/10.
6) Naoko Shinmura,Yuko Oguma,Takayuki Tajima,Yoshinobu Saito,Yukiko Abe,Yasumichi Arai:Sedentary behavior and physical activities of 85-89-year-old Japanese men and women —A descriptive study on the Kawasaki Well-being Project (KWP). The 10th APRU Population Aging Conference, 2019/10.

競争的資金等の研究課題

1) 新井康通:国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業・戦略的国際共同研究プログラム「心血管系、骨格筋系、および認知機能の老化に関わる分子バイオマーカーの国際共同研究開発」, coinvestigator,2017/4-2020/3.
2) 齋藤義信,小熊祐子,今村晴彦:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「高齢者自主グループの運動を普及・継続するための仕組みづくり:住民参加型の実証研究」, others,2018/4-2021/3.

委員歴

1) 日本理学療法士協会 ガイドライン・用語策定委員会 糖尿病理学療法ガイドライン システマティックレビュー班員(2018/4-)
2) スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 専門委員(2018/7-2019/9)
3) 日本運動疫学会 セミナー委員(2018/7-)
4) スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 委員(2019/10-)

作　業　療　法　学　科

作業療法学科　　学科長　　石井　良和

論文

1) 鹿田将隆,野藤弘幸,馬場順子,石井良和:精神科デイケアにおける作業療法の実践に関する文献検討. 作業行動研究, 22(4):138 - 146-, 2019/6/1.
2) 竹原敦,石井良和,繁田雅弘,山田孝:高齢者のうつ状態の有無は社会的役割とどのような関係があるのか～役割チェックリストを用いた検討～. 作業療法, 38(5):541-549, 2019/10/1.
3) 竹原敦,石井良和,繁田雅弘,山田孝:通所サービスを利用する地域在住高齢者の役割とその価値と生活満足度との関係. 作業行動研究, 23(1):9-17, 2019/10/1.
4) 鹿田将隆,野藤弘幸,馬場順子,石井良和:精神科デイケアでの意志質問紙とコミュニケーションと交流技能の評価の適用についての検討. 作業行動研究, 23(1):2-8, 2019/10/1.
5) 永井貴士,石井良和,市田博子,小森愛子,山田孝:家族介護者が従事する「介護」という作業の構成概念の生成. 作業療法, 39(1):26-37, 2020/2/1.

講演･口頭発表等

1) 川原宇央,石橋裕,石橋仁美,石井良和:計量テキスト分析による人間作業モデルを用いた作業療法実践の支援構造の分析. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2019/6/1.
2) 船越健太,石井良和:定年退職後に再び働く高齢男性が作業適応を維持するプロセス. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/1.
3) 岡田直純,石井良和:繰り返されるナラティブを傾聴する意味 ある認知症高齢者の語りからの一考察. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/1.
4) 馬場順子,石井良和,鹿田将隆,野藤弘幸:精神障害者の就労準備で作業療法が焦点をあてるべき観点の検討. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/1.
5) 嶋田隆一,石井良和:作業療法士とクライアントの治療関係に関する文献レビュー 日本と欧米との比較と事例の分類. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/1.
6) 原口晋一,石井良和,宇佐美好洋:医療福祉職のコンピテンシー研究に関する文献レビュー. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/1.
7) 谷村厚子,石井良和:精神保健サービス利用者を対象とする 5 件法ワークライフバランス尺度の経時的変化の検討. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/1.

委員歴

1) 日本作業行動学会　会長(2017-)

作業療法学科　　教 授　　大嶋 伸雄

論文

1) Reiko Miyamoto,Dido Green,Peter Bontje,Natsuka Suyama,Nobuo Ohshima,Sally S.A. Fever,Jenny Butler : Student Perceptions of Growth-Facilitating and Growth-Constraining Factors of Practice Placements: A Comparison between Japanese and United Kingdom Occupational Therapy Students, 2019(858247):13, 2019.
2) Michael P Sy,Nobuo Ohshima:Utilizing the Occupational justice Health Questionnaire (OJFQ) with a Filipino drag surrenderee in occupational practice. World Federation of Occupational Therapists Bullentin, 75(1):59-62, 2019.
3) 堀翔太,大嶋伸雄:脳血管障害者のADL自己評価における心理介入効果の研究. 作業療法ジャーナル, 53(4):413-420, 2019/4/1.
4) 松尾彰久,大嶋伸雄:生活行為向上マネジメント研究の動向と課題. 埼玉作業療法研究, 18:17-38, 2019/5/1.
5) 横井安芸,大嶋伸雄,小林隆司,小林法一:高齢者の生活期リハビリテーションに携わる作業療法士に必要なコンピテンシーの抽出 デルファイ法による内容的妥当性の検討. 作業療法, 38(3):253-265, 2019/6/1.
6) Michael P Sy,Nobuo Ohshima:Publication Preview Source Articulating the form, function, and meaning of drug using in the Philippines from the lens of morality and work ethics . Journal of Occupational Science , DOI: 10.1080/14427591.2019.164, 2019/7/1.
7) Michael P Sy,Nobuo Ohshima:Uncovering the lived experiences of Filipino drug recoverees towards occupational participation and justice through an interpretative phenomenological analysis. Scandinavian Journal of Occupational Therapy, DOI: 10.1080/0164212X.2018.144, 2019/7/1.
8) 藤木あかね,越前谷宜志,中本久之,大嶋伸雄,岩谷清一:作業療法カウンセリングを取り入れた訪問作業療法により行動変容が促された事例. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:ON-2, 2019/9/1.
9) 中本久之,大嶋伸雄,宇佐美好洋,小原朋晃,宗石裕子:回復期リハビリテーション病棟で働く作業療法士が認識する専門性と障壁 Steps for Coding and Theorizing を用いた質的分析. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:OQ-4, 2019/9/1.

Misc

1) 大嶋伸雄:作業療法士とクライエントをつなぐ認知作業療法. 千葉作業療法, 8(2):14-15, 2019/12/1.

講演・口頭発表等

1) 大嶋伸雄:在宅ケア研究所解説記念特別講演「保健・医療・福祉系学生のキャリアアップを支援する IPE」. 弘前医療福祉大学/短期大学部, 2019/4/23.
2) 庄司徹彦,大嶋伸雄:作業療法に iPAD カウンセリングを用いる意味と意義. 日本認知作業療法研究会・第5回 長野学術大会 (長野市), 2019/5/12.
3) 木下梓織,大嶋伸雄:脳卒中片麻痺患者の能力を引き出す作業療法カウンセリングの効果. 日本認知作業療法研究会・第5回 長野学術大会(長野市), 2019/5/12.
4) 大嶋伸雄:認知作業療法が育む日本の作業療法の可能性. 日本認知作業療法研究会・第5回 長野学術大会 研究講演(長野市), 2019/5/12.

5) 大嶋伸雄:認知作業療法が育む作業療法の可能性.第 5 回 認知作業療法研究会 長野学術大会 特別講演 Ⅱ (長野市),2019/5/12.

6) 大嶋伸雄:作業療法カウンセリングの学び方〜作業療法士としての自信とプライドをもてるコア技術〜.日本認知作業療法研究会・蝦夷認知作業療法研究会主催研修会(札幌市),2019/6/7.

7) 大嶋伸雄:作業療法カウンセリングの効果的使い方.第 50 回北海道作療法学会・学術大会 ワークショップ(札幌市),2019/6/8.

8) 大嶋伸雄:認知行動療法を基盤としたリハビリテーションの効果.第2回かわな病院リハビリテーション科主催・認知行動療法研修会(名古屋市),2019/6/14.

9) 大嶋伸雄:認知行動療法概念に基づくリハビリテーションの効果的技法.第2回ふれあい相互病院リハビリテーション科主催・認知作業療法研修会(東京都),2019/7/14.

10) 大嶋伸雄:ハビリテーションにおける認知行動療法の活用 - 対象者の気づきと行動変容の視点から -.第19回日本認知療法・認知行動療法学術集会・教育講演1(東京都),2019/8/30.

11) 大嶋伸雄:多職種連携協働(IPC).長野県厚生農業協同組合連合会鹿教湯三才山リハビリテーションセンター・鹿教湯病院主催 令和元年度 研修会(長野県),2019/9/28.

12) 大嶋伸雄:保健・医療・福祉系学生の Generality を育む多職種連携教育(IPE).第13回 全国大学理学療法学教育学会・特別教育講演Ⅰ,2019/10/9.

13) 大嶋伸雄:リハビリテーション・カウンセリング〜患者の主体的 ADL 向上を目指す〜.2019 年・西多摩リハビリテーション研修会(東京都),2019/10/15.

14) 大嶋伸雄:患者力を引き出すリハビリテーション〜認知行動療法の実践〜.山梨県民間病院協会 PT・OT・ST 部会・2019 年度研修会(山梨県),2019/10/18.

15) 大嶋伸雄:認知行動療法とリハビリテーション.専門リハビリテーション研究会主催「2019 年度 地域リハ研究部会 講習会」(埼玉県),2019/10/20.

16) 大嶋伸雄:患者力を引き出すリハビリテーション研修会.五条川リハビリテーション病院・主催研修会(名古屋),2019/10/25.

17) 大嶋伸雄:Lecture 8 ワークショップ・循環器障害作業療法の改革を考える.2019 年度・心疾患患者の作業療法研修会(東京),2019/11/23.

18) 大嶋伸雄:認知行動療法の応用による患者自身の 自律型リハビリテーション促通技法.2019 年度 社会医学技術学院 主催・研修会(東京,2019/11/30.

19) Nobuo Ohshima:New Generation Project of IPE in Tokyo Metropolitan University.APIPEC(第2回アジアパシフィック多職種連携教育学会),2020/1/12.

20) 大嶋伸雄:認知作業療法のススメ.(一社)大阪府作業療法士会・学術局教育部(身体領域)主催 研修会(大阪市),2020/1/26.

21) 大嶋伸雄:認知行動療法の応用による身体領域リハビリテーション.2019 年度東京都民医連リハ部会・三多摩地区主催(身体領域)研修会「,2020/2/2.

22) 大嶋伸雄:IPE ファシリテータ研修会.2020 年 東北文化学園大学・医療福祉学部主催 IPE ファシリテータ研修会(仙台市),2020/2/13.

競争的資金等の研究課題

1) 大嶋伸雄:日本学術振興会 平成29年度科学研究費助成事業・基盤研究(C)(一般)「リハビリテーション患者の行動変容を促す認知行動療法応用アプローチの効果」,principal_investigator,2017/4/1-2020/3/1.

社会貢献活動

1) 首都大学東京人間健康科学研究科主催:2019年大学院教育におけるIPE推進のためのシンポジウム司会(東京都).[presenter],2019/6/29-

2) 日本認知療法･認知行動療法学会:第19回日本認知療法･認知行動療法学術集会･シンポジウム4「各専門職の現場から見える CBT 実践の課題 ~地域における多職種連携を考える~」座長(東京都).[presenter],2019/8/31-

3) 日本保健医療福祉連携教育学会:第12回日本保健医療福祉連携教育学会･学術集会･シンポジウム「東アジアのIPWを語る」座長(東京都).[presenter],2019/9/29-

作業療法学科　　教 授　　小林 法一

論文

1) 横井安芸,大嶋伸雄,小林隆司,小林法一:高齢者の生活期リハビリテーションに携わる作業療法士に必要なコンピテンシーの抽出 デルファイ法による内容的妥当性の検討. 作業療法, 38(3):253-265, Jun-19.
2) 山田孝,篠原和也,小林法一,會田玉美:認知症高齢者に作業を実施した実験群と機能訓練を実施した統制群への介入の有効性と安全性の検討 ランダム化比較試験による中間解析. 作業行動研究, 22(4):147-155, Jun-19.
3) 小林竜,小林法一:回復期リハビリテーション病棟退院後の在宅脳卒中者における家事再開状況 予後予測因子の検討. 作業療法, 38(4):430-439, Aug-19.
4) 嶋崎寛子,川又寛徳,谷村厚子,石代敏拓,小林法一:活動と参加に焦点を当てた作業療法プログラムが再建期の被災高齢者に及ぼす影響に関する予備的研究. 日本保健科学学会誌, 22(3):110-118, Dec-19.
5) 野村健太,猪股英輔,小林法一:要支援の一人暮らし女性高齢者が人との交流を求める構造に関する質的研究. 日本保健科学学会誌, 22(3):101-109, Dec-19.
6) 野本潤矢,石橋裕,小林法一,小林隆司:訪問型・短期集中予防サービス(サービスC)により作業遂行能力と健康関連 QOL が向上した事例. 作業療法, 38(6):706-713, Dec-19.
7) 野本潤矢,石橋裕,小林法一,小林隆司:訪問型・短期集中予防サービス(サービスC)により作業遂行能力と健康関連 QOL が向上した事例. 作業療法, 38(6):706-713, Dec-19.
8) 山田孝,小林法一,篠原和也,會田玉美:回復期リハビリテーション病棟入院患者の日常生活活動に対する作業療法の効果に関する文献検討. 作業行動研究, 23(3 月 4 日):92-99, Mar-20.
9) 木村夏実,小林法一:整形外科疾患により回復期リハビリテーション病棟に入院した認知機能の低下を伴う高齢者に対する色カルタを用いた集団活動の効果. 日本保健科学学会誌, 22(4):190-197, Mar-20.

著書

1) 作業療法マニュアル 68 作業療法研究法マニュアル 改訂第 3 版. , Ⅳ 質的研究, Ⅵ 研究の倫理, Apr-19.
2) キールホフナーの人間作業モデル : 理論と応用:キールホフナーの人間作業モデル : 理論と応用. 協同医書出版社, Jun-19.

講演・口頭発表

1) 小林法一:大切な作業と生活を支えるケア. 日本認知症ケア学会誌, 18(1):36-36, Apr-19.
2) 山田孝,篠原和也,小林法一,會田玉美:認知症高齢者に対して作業を実施した介入の効果:ランダム化比較試験. 第 29 回日本作業行動学会 学術集会抄録集 SS-001, Jun-19.
3) 石代敏拓,小林法一:脳卒中後に家事を再開した 2 人の当事者が経験した「できる能力の確信」. 第 29 回日本作業行動学会 学術集会抄録集 P-010, Jun-19.
4) 二村元気,小林法一:通所リハにおける手紙を用いた自主プログラムの検討. 第 29 回日本作業行動学会 学術集会抄録集 P-027, Jun-19.

5) 中村美歌,小林法一:興味ある作業を用いた介入により自己効力感の向上に繋がった事例. 第 29 回日本作業行動学会 学術集会抄録集 P-012, Jun-19.

6) 本家寿洋,大山千尋,山田孝,小林法一:楽しさに関連した余暇活動の予備的分類 LAES を使用した余暇活動の楽しさプログラムの開発に向けて. 第 29 回日本作業行動学会 学術集会抄録集 OR-005, Jun-19.

7) 小林法一:東京都事業:自立支援重度化防止研修. Jul-19.

8) 小林竜,小林法一:わが国における地域在住高齢者の手段的日常生活活動(IADL)に関連する要因の文献レビュー. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PJ-2D03, Sep-19. 二村元気,三浦南海子,小林法一:色カルタが認知症高齢者のコミュニケーションに与える影響. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PJ-2D06, Sep-19.

9) 猪股英輔,小林法一:一人暮らし高齢者の食生活に関する国内の文献研究. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PJ-2A03, Sep-19.

10) 木村夏実,小林法一:回復期リハビリテーション病棟における認知機能の低下した高齢者への集団活動の効果 予備的研究. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PJ-1.00E+04, Sep-19.

11) 安永雅美,小林法一,木下拓司:デイケア利用者と健常高齢者の自宅での活動 フローモデルに基づく調査. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PJ-2A02, Sep-19.

12) 石代敏拓,小林法一:脳卒中後の家事の阻害因子に関する研究 事例報告登録制度における登録事例の分析. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PA-1C08, Sep-19.

13) 中村美歌,小林法一:作業療法士が家族指導や支援を実施する上での知識と技術の検討. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PP-1F02, Sep-19.

14) 山田孝,篠原和也,小林法一,會田玉美:認知症高齢者に対する作業中心の実験群の効果 ランダム化比較試験 予備的研究(II). 日本作業療法学会抄録集, 53 回:SS-6, Sep-19.

15) 小林竜,小林法一:わが国における地域在住高齢者の手段的日常生活活動(IADL)に関連する要因の文献レビュー. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PJ-2D03, Sep-19.

16) 山田優樹,小林法一:ワーク・ライフ・バランスに関する文献レビュー 構造方程式モデリングを用いた国内外の研究動向. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):24-24, Sep-19.

17) 野村健太,小林法一:一人暮らし男性高齢者の社会活動への参加を促す集団プログラムの開発に関する予備的研究. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PN-2A04, Sep-19.

18) 野村健太,小林法一:一人暮らし男性高齢者の社会活動への参加を促す集団プログラムの開発に関する予備的研究. 日本作業療法学会抄録集, 53 回:PN-2A04, Sep-19.

19) 小林法一:北海道作業療法士会現職者研修(老年期). Nov-19.

20) 小林法一:埼玉県作業療法士会主催地域包括ケア研修会, Nov-19.

21) 小林法一:東京都作業療法士会現職者研修(研究法), Feb-20.

Misc

1) 小林法一:介護現場で必要とされている機能訓練とは ～機能訓練に意味をもたらす介護職員の役割～. ふれあいケア, 25(1):11-16, 2019.

2) 2)小林法一:日常生活を生きがいにつなげるポイント. 専門家に聞く！キーワードトーク「介護ニュース広場」. 介護レク広場.book,通巻 13 号:74-75, 2020.

競争的資金等の研究課題

1) 本家寿洋,小林法一,山田孝:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「LAES を使用して高齢障害者が余暇活動を主観的に楽しむプログラムの開発」, 2015/4/1-2020/3/31.
2) 小林法一:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「コミュニケーションツールによる認知症のBPSD 低減効果の実証と実践マニュアル開発」, ,2018/4/1-2022/3/31.
3) 石橋裕,小林法一,小林隆司,石橋仁美:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型集団プログラムの開発」, ,2018/4/1-2022/3/31.
4) 山田孝,小林法一,會田玉美:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「認知症高齢者に対する包括的生活支援プログラムの開発と検証:ランダム化比較試験」, ,2017/4/1-2020/3/31.
5) ペイター ボンジェ,小林法一,石橋裕,宮本礼子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」, ,2016/4/1-2020/3/31.

受賞

1) 山田孝,篠原和也,小林法一:日本作業療法士協会 優秀演題賞「認知症高齢者に対する作業中心の実験群の効果:ランダム化比較試験～予備的研究Ⅱ」, Sep-19.

作業療法学科　　教 授　　小林 隆司

論文

1) 南征吾,坂梨仁勇,小林隆司,青木秀哲,青山朋樹,福元善啓,佐野伸之,肥田光正,石川健二,嶋野広一:重度麻痺側上肢を補助的上肢へ移行する合目的的活動と電気刺激療法～通所施設の合目的的電気刺激療法のプログラム開発～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要, 14:19-25, Mar-20.
2) Y Choji, R Kobayashi:Development of a Japanese Version of Collaborative Relationship Scale between Clients and Occupational Therapists. Progress in Rehabilitation Medicine, 5l, Jan-20.
3) 横井安芸,大嶋伸雄,小林隆司,小林法一:高齢者の生活期リハビリテーションに携わる作業療法士に必要なコンピテンシーの抽出 デルファイ法による内容的妥当性の検討. 作業療法, 38(3):253-265, Jun-19.
4) 佐々木露葉,小林隆司,小内友紀子:尿失禁予防に係る国内・外の医療・保健サービスについての文献レビュー. 日本女性骨盤底医学会誌, 16(1):66 - 71-, Jul-19.
5) I Yoshida,K Hirao,R Kobayashi:The effect on subjective quality of life of occupational therapy based on adjusting the challenge-skill balance: a randomaized controlled traial. Clinical Rehabilitation, 33(11):1732-1746, Nov-19.
6) :1-8, 2020/1/28.
7) 野本潤矢,石橋裕,小林法一,小林隆司:訪問型・短期集中予防サービス(サービスC)により作業遂行能力と健康関連 QOL が向上した事例. 作業療法, 38(6):706-713, Dec-19.
8) 鎌田小百合,小林隆司:入学直後の作業療法学生に対し, 主体的な学生生活を支援するための「学生生活自己マネジメントプログラム」の検討. 作業行動研究, 23(2):61-68, Dec-19.
9) 佐野伸之,齋藤みのり,小林隆司,南征吾,河本聡志:作業療法士のコンサルテーション事業によって得られる放課後児童支援員のスキルアップの構造. 作業療法, 38(4):440-449, Aug-19.

著書

1) OT 臨地実習ルートマップ 改訂第 2 版. contributor, MTDLP:1-Apr.
2) Renée R.Taylor,山田孝,石井良和,村田和香,竹原敦,長谷龍太郎,笹田哲,小林隆司,永井貴士,鈴木憲雄,中村 Thomas 裕美,野藤弘幸,鎌田樹寛,谷村厚子,井口知也,本家寿洋,川又寛徳,京極真,有川真弓,小林 法一,篠原和也:キールホフナーの人間作業モデル -理論と応用- 改訂第 5 版, 行為の諸次元, 協同医書出版社, 2019/5/31.

Misc

1) 小林 隆司:生活行為向上マネジメントを活用した卒前・卒後教育の今とこれから. 作業療法ジャーナル, 53(4):360-363, 19-Apr.

講演・口頭発表等

1) 井上薫,佐々木千寿,柴田崇徳,小林隆司,繁田雅弘:コミュニケーションロボット「パロ」による認知症の高齢者に対する効果 ランダム化比較試験の文献調査より. 日本認知症ケア学会誌, Apr-19.
2) 南征吾,上野静架,青木秀哲,小林隆司:脳卒中後の重度麻痺側上肢に対して合目的的動作と電気刺激を用いて補助的上肢まで近づけた事例. 第 29 回日本作業行動学会学術集会, 2019/6/8.

3) 丁子雄希,渡邊雅行,小林隆司:クライエントと作業療法士の協業関係尺度の試作版開発. 第 29 回日本作業行動学会学術集会, 2019/6/8.

4) Erayanti Saloko,Erna Ariyanti Kurnianingsih,Samuel Cahyo Sembodo,Yuko Ito,Ryuji Kobayashi : The Using of Music as Complementary Rehabilitation for Children with Autism Spectrum Disorder. 13th International society of physical and rehabilitation medicine world congress, 2019/6/10.

5) Seigo Minami,Hidetoshi Nakagawa,Ryuji Kobayashi,Hideaki Aoki:Effect of Supplementary Functional Electrical Stimulation of the Upper Extremity Surface Stimulation for Chronic Hemiplegia: Development of a Purposeful Activity and Electrical Stimulation Rehabilitation Programme. 13th International society of physical and rehabilitation medicine world congress, 2019/6/11.

6) Ryuji Kobayashi,Asuka Urano,Yuko Ito:Effects of Itinerant Occupational Therapy Service in after School Day Service for Children with Disabilities. 13th International society of physical and rehabilitation medicine world congress, 2019/6/11.

7) Ippei Yoshida,Kazuki Hirao,Ryuji Kobayashi:The Effect of Adjusting the Challenge-Skill Balance for Occupational Therapy on Subjective QOL in Recovery Rehabilitation Unit: A Randomized Controlled Trial. 13th International society of physical and rehabilitation medicine world congress, 2019/6/11.

8) Salma Begum,Ryuji Kobayashi:Factors Associated with Activity Limitations in Elderly People in Bangladesh. 13th International society of physical and rehabilitation medicine world congress, 2019/6/11.

9) 小林隆司:これからの作業療法の展望. よりよい作業療法を考える会主催研修会, 2019/6/29.

10) 小林隆司:日本と世界の作業療法の動向. 現職者共通研修, 2019/7/28.

11) 小林隆司:臨床実習指導方法論他. 臨床実習指導者講習会, 2019/8/3.

12) E.Saloko,R.Kobayashi,Y.Ito:Effectiveness of Aquatic Therapy for Autism Spectrum Disorder Children: An Evidence Based Review. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

13) 鎌田小百合,横濱秀征,小林隆司:クリニカル・クラークシップにおける作業療法学生と臨床教育者の認識の違い. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

14) 中村恵理子,小林隆司:作業療法士になりたい気持ちと学習意欲に乖離のある学生の学習信念変化～複線経路等至性アプローチによる分析～. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

15) 石野寛人,南征吾,青木秀哲,小林隆司,鈴木暁久:重度片麻痺上肢の人に作業療法と電気刺激療法の併用により余暇活動の満足度をあげた事例報告. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

16) 宮村彰,南征吾,小林隆司,青木秀哲,鈴木暁久:調理に焦点を当てた慢性重度片麻痺に対する訪問作業療法～装具型機能的電気刺激装置を用いて～. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

17) 古川絵美,南征吾,小林隆司:「認知症になっても理髪店で働きたい」を支援する～面接シートを活用した綾部市認知症初期集中支援チーム「ありがと」の実践報告～. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

18) 小林隆司,浦野飛鳥,伊藤祐子:放課後等デイサービスにおける巡回作業療法支援の内容と効果. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

19) 南征吾,林田孝明,中川英俊,青木秀哲,小林隆司:合目的的活動と電気刺激療法を併用した麻痺側上肢に対する訪問作業療法の実践～事例報告～. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

20) 長尾宗典,小林隆司:当施設において通所リハビリテーション利用終了支援に携わった療法士の認識. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

21) 八重樫貴之,糸山智栄,小林隆司,伊藤祐子:学童保育における指導員と作業療法士との連携事業の取り組み. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

22) 細川かおり,篠田かおり,片岡聡子,畑田早苗,小林隆司:高知県の放課後児童クラブの現状と作業療法士による支援ニーズ. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

23） 宇佐美好洋,小林隆司:高齢者ケア施設で作業療法士が介護職と情報共有するための自記式チェックリストの開発. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

24） 佐々木露葉,小林隆司,小内友紀子:認知機能低下より尿汚染の自覚がない回復期病棟入院中男性へのチームアプローチ～独居に向けた取り組み～. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

25） 牧利恵,小林隆司:日本語版 Work Rehabilitation Questionnair の信頼性・妥当性の検討. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

26） 小林隆司:統計の基礎. 認定作業療法取得研修(研究法), 2019/9/14.

27） 小林隆司:新しい学力観に基いた地域包括ケアの学習. 日本リハビリテーション学校協会中国ブロック教員研修会, 2019/9/21.

28） 田村彩,小林隆司:就学移行期における発達障害児の母親の体験～文献研究～. 第 29 回日本保健科学学会学術集会, 2019/10/5.

29） 三浦里織,飯塚哲子,西村ユミ,福井里美,坂井志織,新井清美,小林隆司,池田由美,眞正浄光,重光洋亮:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携ワークショップ型教育プログラムに参加したファシリテーターの経験. 第 29 回日本保健科学学会学術集会, 2019/10/5.

30） 重光洋亮,福井里美,坂井志織,小林隆司,池田由美,新井清美,眞正浄光,飯塚哲子,三浦里織,西村ユミ:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携ワークショップ型教育プログラムに参加した学生の経験. 第 29 回日本保健科学学会学術集会, 2019/10/5.

31） 小林隆司:地域で活躍する作業療法士の基本的な考え方と事例紹介. 作業療法コンサル入門講座, 2019/10/17.

32） R Maki,R Kobayashi:Observational perspectives of the itinerant occupational therapy service in after school day service for children with disabilities. 13th Mediterranean congress of physical & rehabilitation medicine, 2019/11/7.

33） R Kobayashi,R Maki:Effects of itinerant occupational therapy service in after school day service for children with disabilities. 13th Mediterranean congress of physical & rehabilitation medicine, 2019/11/9.

34） 永田作間, 南征吾,小林隆司:高次脳機能障害支援ネットワークの構築を目指したアンケート分析(経過報告). リハビリテーション・ケア合同研究大会, 2019/11/21.

35） 横山雄一,小林隆司:回復期リハビリテーション病棟における認知症合併患者の転帰先への影響因子に関する文献研究. リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019, 2019/11/21.

36） 南征吾,中川英俊,青木秀哲,小林隆司:他動型/随意介助型電気刺激装置と合目的的動作による重度片麻痺上肢の改善効果 事例集積研究(経過報告). The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, May-19.

37） 小林隆司:子どもたちが健やかに育つあらかわ～発達凸凹の子どもの成長を理解し私たちにできることを考えよう～. 荒川コミュニティカレッジ首都大連携講座公開講座, 2019/11/25.

社会貢献活動

1） 一般社団法人日本作業療法士協会:教育部 部員.[organizing_member],2017/4/1-

2） 日本リハビリテーション臨床教育研究会:臨床実習を変えていくために必要なこと.[panelist],2017/2/12-

3） 北区リハビリネット:地域包括ケアシステムにおける国や地域から求められるセラピストの役割.[lecturer],2017/3/7-

4） 日本発達系作業療法学会:学会運営スタッフ.[organizing_member],2017/3/26-

5） 岡山県学童保育連絡協議会:作業療法士からのヒント①.[lecturer],2016/9/20-

6） 岡山県学童保育連絡協議会:地域で、チームで、長い目で.[presenter],2016/12/28-

7） 吉備国際大学:クリニカルクラークシップを導入すると起きること.[lecturer],2017/3/3-

8)　全国 YMCA チャイルドケア担当者会:学童保育における発達障害を持つ児童の支援.[lecturer],2017/1/28-

9)　帝京平成大学健康メディカル学部:セラピストと学生教育のためのクリニカルクラークシップ.[lecturer],2016/12/12-

10) 日本作業療法士協会:生活行為向上マネジメント.[organizing_member],2016/8/7-

11) 日本作業行動学会:日本における作業行動の起源と歴史的背景.[presenter],2016/6/18-

12) 東京都作業療法士会:作業療法教育をクリニカルクラークシップに移行させる必要性.[lecturer],2016/1/31-

13) 群馬リハビリテーションネットワーク:地域生活を支援する生活行為向上マネジメント.[lecturer],2016/1/23-

14) 日本作業療法士協会:生活行為向上リハビリテーション実務者研修会.[organizing_member],2016/1/24-

15) 日本保健科学学会:第 25 回日本保健科学学会学術集会.[organizing_member],2015/9/26-

16) 日本保健医療福祉連携教育学会:第8回日本保健医療福祉連携教育学会.[organizing_member],2015/8/9-

17) 全国デイ･ケア協会:生活行為向上リハビリテーション研修.[lecturer],2015/9/27-

18) 全国デイ･ケア協会:生活行為向上リハビリテーション研修.[lecturer],2015/7/19-

19) 全国老人保健施設協会:生活行為向上リハビリテーション研修.[lecturer],2015/5/29-

20) 全国老人保健施設協会:生活行為向上リハビリテーション研修.[lecturer],2015/4/21-

21) 全国老人保健施設協会:生活行為向上リハビリテーション研修.[lecturer],2015/5/12-

22) 日本デイ･ケア協会:生活行為向上リハビリテーション研修.[lecturer],2015/4/12-

23) 一般社団法人日本作業療法士協会:地域包括ケアと生活行為向上マネジメント.[lecturer],2015/1/11-

24) 東京都作業療法士会:CCS に基づく作業療法実習を始めよう！.[lecturer],2014/11/30-

25) 広島県作業療法士会:生活行為向上マネジメントとは.[lecturer],2014/7/12-

作業療法学科　　教 授　　塩路 理恵子

Misc

1) 塩路理恵子:【老年期における不安】老年期の不安症(不安障害)に対する精神療法. 老年精神医学雑誌, 30(4):399-405, 2019/4/1.
2) 横山貴和子,山市大輔,木崎英介,新村秀人,塩路理恵子,舘野歩,中村敬,繁田雅弘:入院森田療法により身体症状症が改善した一例 青年期の自立という側面からの考察. 日本森田療法学会雑誌, 30(1):94, 2019/4/1.
3) 塩路理恵子:高齢者の精神療法と心理社会的ケア 高齢者の不安と森田療法. 老年精神医学雑誌, 30(増刊Ⅱ):154, 2019/6/1.

講演･口頭発表等

1) 塩路理恵子:高齢者の不安に対する森田療法, 2019/6/8. 第34回日本老年精神医学会(シンポジウム)
2) Outline of Morita Therapy -Centering on "Toraware" and "Desire for Life" "Arugamama"-,"Morita therapy theory training course and Opening ceremony" ",Nanning Fifth People' s Hospital,China, 2019/12/14

競争的資金等の研究課題

1) 塩路理恵子:メンタルヘルス岡本記念財団 活動支援助成金「外来森田療法ガイドライン仏語版作成」, principal_investigator,2017/4/1-2020/3/1.

委員歴

1) 日本森田療法学会 理事
2) 日仏医学会 編集委員

作業療法学科　　教　授　　ボンジェ　ペイター

論文

1） Alve YA, Bontje P, Begum S (2019). Intra- and interpersonal agency: Resuming occupational participation among persons with spinal cord injury after discharge from in-patient rehabilitation. Scandinavian Journal of Occupational Therapy, 27 (1):12-21.

2） Michael Palapal Sy, Peter Bontje, Nobuo Ohshima, Niki Kiepek (2019). Articulating the form, function, and meaning of drug using in the Philippines from the lens of morality and work ethics. Journal of Occupational Science, 27(1):12-21.

3） Shoulian Jin, Peter Bontje, Natsuka Suyama, Eric Asaba (2019). Interprofessional learning in an international context: the unfamiliar as impetus for learning, also about oneself. Journal of Interprofessional Care 34(2), 279-282.

4） Yeasir Arafat Alve, Peter Bontje, Salma Begum (2019). Endeavouring sustainable participation: Post-discharge adaptation process of occupational participation among persons with spinal cord injury in Bangladesh. World Federation of Occupational Therapists Bulletin, 75(2):112-123.

5） ボンジェ・ペイター (2019).【現場で活かそう作業科学】作業科学と作業療法. 臨床作業療法, 16(5): 357-361.

6） Reiko Miyamoto, Dido Green, Peter Bontje, Natsuka Suyama, Nobuo Ohshima, Sally S.A. Feaver, Jenny Butler (2019). Student Perceptions of Growth-Facilitating and Growth-Constraining Factors of Practice Placements: A Comparison between Japanese and United Kingdom Occupational Therapy Students. Occupational Therapy International, 13 pages.

7） 高木雅之,岡崎ななみ,宮脇佳奈,棟田千比呂,ボンジェ・ペイター (2019). 地域在住高齢者の日々の満足度に影響を与える作業経験に関する探索的研究. 作業療法, 38(6):674-682.

8） 坂上真理, ボンジェ・ペイター, JOSEPHSSON Staffan, ALSAKER Sissel (2019). Narrative-In-Action:作業を理解するための新たな視点の紹介. 作業科学研究, 13(1):55-66.

9） Peter Bontje, Robbert Kruijne, Margriet Pol, Kaoru Inoue, Ryuji Kobayashi, Yuko Ito, Margo Van Hartingsveldt (2020). Developing an international research of health-care ICT applied for rehabilitation and daily living support between Japan and the Netherlands. Asssitive Technology, 34, 1-8 (Online ahead of print).

10） 坂根勇輝, ボンジェ・ペイター (2020). 回復期リハビリテーション病棟入院中のクライエントと担当作業療法士が作業療法の目標と支援内容に関する相互理解を築き上げる際の特徴. 日本臨床作業療法研究, 8-15.

講演・口頭発表等

1） Yeasir Arafat Alve, Peter Bontje, Salma Begum: Endeavouring sustainable participation: Post-discharge adaptation process of occupational participation among persons with spinal cord injury in Bangladesh.. 第 53 回日本作業療法士学会, Sep 2019. (Oral)

2） Yeasir Arafat Alve, Peter Bontje: Strategies of trajectory in occupational participation among persons with Spinal Cord Injury in Bangladesh.. 57th ISPRM, 2019/6/10. (Poster)

3） Sho Maruyama, Satoshi Sasada, Yohei Jimbo, Peter Bontje: Development of an Evaluation of Clinical Reasoning (ECR) for occupational therapy students in Japan: Testing of content validity and face validity.. 57th ISPRM, 2019/6/11. (Poster)

4) 田中葵, ボンジェ・ペイター：在宅改修が対象者にもたらす効果 －文献調査より－. 第 29 回日本保健科学学会学術集会, 2019/10/5. (Poster)

5) Peter Bontje, Yasuaki Hayama: Participating in persons with disabilities' appeal for occupations' life-affirming powers.. Occupational Science Europe 2019, 2019/8/31. (Oral)

6) Yumi Tamura, Peter Bontje. Working together for learning together: Developing IPE curricula infused with educational theories and developmental philosophies. CollabForAsia2020, Philippines, 2020/1/11. (Keynote)

7) Nobuo Ohshima, Peter Bontje, Masaru Watanabe. New generation project of interprofessional education at Tokyo Metropolitan University. CollabForAsia2020, Philippines, 2020/1/12. (Keynote)

競争的資金等の研究課題

1) Amsterdam University of Applied Sciences & Tokyo Metropolitan University, Peter Bontje：European Union Erasmus+, Key Action 1, KA107 International Credit Mobility between Partner and Programme countries outside EU, Aug 19-Jul-21.

2) ボンジェ ペイター. Development and efficacy of community-based intergrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation. 日本学術振興会 基盤研究(C)(一般)

作業療法学科　　准教授　　石橋　裕

論文

1) 野本潤矢,石橋裕,小林法一,小林隆司:訪問型・短期集中予防サービス(サービスC)により作業遂行能力と健康関連 QOL が向上した事例. 作業療法, 38(6):706-713, 2019/12/1.

Misc

1) 麓文太,田村大,石橋裕,日本作業療法士協会学術部事例班:生活行為向上マネジメントの目標分析 計量テキスト分析を用いて. 日本作業療法学会抄録集, 53 回, 2019/9/1.
2) 森園子,石橋裕,石橋仁美:作業療法の視点に基づく化粧に関する評価の傾向 文献研究より. 日本作業療法学会抄録集, 53 回, 2019/9/1.
3) 高橋輝,木下梓織,小日向洋,大嶋伸雄,石橋裕:脳卒中片麻痺患者の能力を引き出す作業療法カウンセリングの効果研究. 日本作業療法学会抄録集, 53 回, 2019/9/1.
4) 宮本礼子,石橋裕,土居義典:学内クリニカルクラークシップの効果に関する質的検討 SCAT を用いた 2 か年データの分析. 日本作業療法学会抄録集, 53 回, 2019/9/1.
5) 福井里美,坂井志織,三浦里織,石橋裕,新井敏子,久村和穂,近藤明美,西口旬子,星野晴美:がん患者の障害年金申請時における社会保険労務士の実践. Palliative Care Research, 14(Suppl.):S414-S414, 2019/6/1.

競争的資金等の研究課題

1) ペイター ボンジェ,小林法一,石橋裕,宮本礼子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」,2016/4/1-2020/3/31.
2) 福井里美,久村和穂,三浦里織,坂井志織,石橋裕,新井敏子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「がん化学療法サバイバーが就労する「働きづらさ」の支障程度を示す枠組の開発」,2017/4/1-2022/3/31.
3) 石橋裕,小林法一,小林隆司,石橋仁美:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型集団プログラムの開発」,2018/4/1-2022/3/31.
4) 石橋裕:日本学術振興会 科学研究費基盤研究 C「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型プログラムの開発」, principal_investigator,2018/4/1-2022/3/1.
5) 小林隆司,石橋裕,伊藤祐子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「放課後児童支援員と作業療法士の協業が発達障害をもつ児童の QOL に及ぼす効果」,2019/4/1-2022/3/31.

委員歴

1) 東京都荒川区介護予防アドバイザー 委員(2013/4/1-)

作業療法学科　　准教授　　伊藤　祐子

論文

32）助川文子,伊藤祐子:日本における発達障害児に対する学校適応支援を目的とした作業療法の評価.作業療法,38(6):663-673,2019/12/1.

33）助川文子,伊藤祐子:神経発達症のある青年の就労支援-レジリエンス評価の活用について.日本発達系作業療法学会誌,7(1):1-9,2020/1.

34）Peter Bontje,Robbert Kruijne,Margriet Pol,Kaoru Inoue,Ryuji Kobayashi,Yuko Ito,Margo Van Hartingsveldt:Developing an international research of health-care ICT applied for rehabilitation and daily living support between Japan and the Netherlands.:1-8,2020/1/28.

著書

3）　伊藤祐子:発達が気になる子どもの生活支援.ジャパンライム社

Misc

12）伊藤祐子:センサリーフレンドリー〜Sensory Friendly〜.作業療法ジャーナル,53(4):324-325,2019/4/1.

13）八重樫貴之,糸山智栄,小林隆司,伊藤祐子:学童保育における指導員と作業療法士との連携事業の取り組み.日本作業療法学会抄録集,53回:PI-1C03,2019/9/1.

14）小林隆司,浦野飛鳥,伊藤祐子:放課後等デイサービスにおける巡回作業療法支援の内容と効果.日本作業療法学会抄録集,53回,2019/9/1.

15）井上薫,伊藤祐子,佐々木千寿,串山久美子:楽器の治療的活用に関する文献調査.日本作業療法学会抄録集,53回,2019/9/1.

16）助川文子,伊藤祐子:日本における発達障害児に対する学校適応支援を目的とした作業療法.日本作業療法学会抄録集,53回:OI-6,2019/9/1.

17）小林隆司,浦野飛鳥,伊藤祐子:放課後等デイサービスにおける巡回作業療法支援の内容と効果.日本作業療法学会抄録集,53回,2019/9/1.

18）助川文子,伊藤祐子:学校作業療法士に求められるコンピテンシー　学校適応支援を目的とする海外の作業療法.日本保健科学学会誌,22(Suppl.):50-50,2019/9/1.

19）八重樫貴之,糸山智栄,小林隆司,伊藤祐子:学童保育における指導員と作業療法士との連携事業の取り組み.日本作業療法学会抄録集,53回,2019/9/1.

20）伊藤祐子:巡回相談による幼保小接続支援における作業療法士の役割.日本作業療法学会抄録集,53回:PI-2G05,2019/9/1.

21）立山清美,伊藤祐子,有川真弓,山西葉子,山田孝:発達障がい児に対する感覚統合療法の効果　ゴール達成スケーリングおよび JMAP を用いた検討.日本感覚統合学会研究大会プログラム抄録集,37 回:33-33,2019/10/1.

22）伊藤祐子,立山清美,山西葉子:感覚統合療法の効果　これからの研究に向けて.日本感覚統合学会研究大会プログラム抄録集,37回:24-24,2019/10/1.

23）伊藤祐子:知ることが最初の一歩「発達障害って何？」.PHPのびのび子育て,2020/1/1.

競争的資金等の研究課題

2) 小野栄一,能田昴,井上淳,寺内文雄,琴坂信哉,串山久美子,内藤千尋,徳永千尋,東祐二,川口吾妻,高橋智,伊藤祐子,田部絢子,井上薫:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「ニーズに基づく障害者のための自立支援機器開発を学ぶ人材育成プログラムの開発」,2018/4/1-2021/3/31.

3) 小野栄一:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「ニーズに基づく障害者のための自立支援機器開発を学ぶ人材育成プログラムの開発」,2018/4/1-2020/3/1.

4) 小林隆司:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「放課後児童支援員と作業療法士の協業が発達障害をもつ児童のQOLに及ぼす効果」,2019/4/1-2021/3/1.

5) 小林隆司,石橋裕,伊藤祐子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「放課後児童支援員と作業療法士の協業が発達障害をもつ児童のQOLに及ぼす効果」,2019/4/1-2022/3/31.

6) 伊藤祐子:地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター共同研究費「子ども用Myストロー開発のためのスクリーニング」,2019/7-2021/3.

委員歴

1) 日本発達系作業療法学会 理事(2011/3/1-)

2) 荒川区教育委員会 学校評議員(2013/4/1-)

3) 一般社団法人東京都作業療法士会 子ども委員会(2015/3/1-)

4) 日本福祉用具・生活支援用具協会平成28年度戦略的国際標準化加速事業 認知機能支援機器国際標準分科会委員(2016-)

5) 東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課 専門委員(2017/4/1-)

6) 荒川区教育委員会 学校評議員(2017/4/1-)

7) 一般社団法人東京都作業療法士会 理事(2018/6/1-)

8) 一般社団法人日本作業療法士協会 代議員(2019/12/1-)

作業療法科　　准教授　　井上　薫

論文

1）Peter Bontje,Robbert Kruijne,Margriet Pol,Kaoru Inoue,Ryuji Kobayashi,Yuko Ito,Margo Van Hartingsveldt, Developing an international research of health-care ICT applied for rehabilitation and daily living support between Japan and the Netherlands., Developing an international research of health-care ICT applied for rehabilitation and daily living support between Japan and the Netherlands., 1-8, 2020/1/28.

著書

1）井上薫:福祉用具プランナーテキスト第 10 版第 9 部認知症の理解(テキスト). joint_work, 第 9 部認知症の理解 P103-116, Apr-19.

2）井上薫:福祉用具プランナーテキスト第 10 版認知症の理解(視聴覚教材), 第 9 部認知症の理解, Apr-19.

3）介護支援専門員現任研修テキスト第4巻第2版主任介護支援専門員更新研修. , 第2章リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例, Aug-19.

4）介護支援専門員現任研修テキスト第2巻第2版専門研修課程Ⅱ:介護支援専門員現任研修テキスト第2巻第2版専門研修課程Ⅱ, 第2章リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例, 中央法規, Aug-19.

5）井上薫:介護支援専門員現任研修テキスト第1巻第2版専門研修課程Ⅰ. , 第6章リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例, 中央法規, Aug-19.

6）認知症をもつ人への作業療法アプローチ改訂第 2 版. joint_work, 9 章機器・装置を用いた支援 P240-254, Aug-19.

Misc

1）井上薫:「スポーツがもつ可能性－作業療法への期待」作業療法におけるアクティビティとしてのロボット・レクリエーション. 作業療法ジャーナル, 53(8):880-885, Jul-19.

講演・口頭発表等

1）井上薫,佐々木千寿,柴田崇徳,小林隆司,繁田雅弘:コミュニケーションロボット「パロ」による認知症の高齢者に対する効果 ランダム化比較試験の文献調査より. 第 20 回日本認知症ケア学会大会, 2019/5/25.

2）井上薫,中島悌吾,柴田崇徳:地域包括医療ケアにおける、アザラシ型ロボット・パロによる認知症ケアと介護負担の軽減化. 第 20 回日本認知症ケア学会, 2019/5/26.

3）井上薫,岡本絵里加:国家試験対策の授業における動機づけに焦点を置いた学習指導 ―TARGET モデルを用いた授業―. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

4）斎藤梨菜,井上薫:わが国における褥瘡とリハビリテーション支援の現状について. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

5）井上薫,伊藤祐子,佐々木千寿,串山久美子:楽器の治療的活用に関する文献調査. 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/7.

6）ダリル・パトリック・ガンボア・ヤオ,井上薫:Literature Review about Use of Assistive Technology for Filipinos with Spinal Cord injury from an Occupational Justice Perspective. 第 29 回日本保健科学学会, 2019/10/5.

7）井上薫:高齢者ケア領域におけるロボット導入によるイノベーション. 第 29 回日本保健科学学会, 2019/10/5.

競争的資金等の研究課題

1) 井上薫:首都大学東京 2019 年度学部傾斜配分研究費「生活支援におけるロボットの役割」, principal_investigator,May-19-Mar-20.
2) 井上薫:首都大学東京 2019 年度 傾斜的研究費(全学分)学長裁量枠(社会連携支援(社会連携活動支援))「バーチャルリアリティ認知症シミュレータを活用した認知症教育の効果」, principal_investigator,May-19-Mar-20.
3) 井上薫:独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金(B)「日本式ケア場面におけるコミュニケーションロボットの効果」, principal_investigator,Apr-19-Mar-22.
4) 「バーチャルリアリティ技術を使用したリハビリテーション機器の開発」, 2001-.
5) 「高齢ドライバーの特性に関する研究」, 1999-.

社会貢献活動

1) 作業療法教育指導者スキルアップ講座.[lecturer,advisor],Apr-08-
2) 認知症サポーター講座(尾久地域包括センターと連携による).[lecturer,informant,planner,contribution],2017/10/26-
3) 財団法人 ライフプランニングセンター:模擬患者ボランティアに対する講義.[lecturer],2007/3/10-
4) 板橋区介護サービス全事業所連絡会:いたばし福祉用具フェア 2017「認知症の方に対するロボットセラピー講座」.[panelist,lecturer],2017/10/25-
5) 板橋区介護サービス全事業所連絡会:いたばし福祉用具フェア2018「認知症の方の視点を大切にしたケアと環境づくり」.[lecturer],2018/10/17-
6) J-P-D ネットワーク 世話人.[informant,planner],Apr-16-9999
7) 東京都作業療法士会 福祉用具部会委員.[advisor,informant,planner],Apr-12-9999

委員暦

1) 日本作業療法士協会 介護ロボットのニーズ･シーズ連携協調協議会(Apr-18-)
2) 日本作業療法士協会 介護ロボットのニーズ･シーズ連携協議会(全国設置･運営業務)(Sep-19-)
3) 一般社団法人在宅ヘルスケア製品等の標準化部会 部会委員(Jul-19-)
4) 日本作業療法士協会 2019 年生活行為工夫情報モデル事業事業担当者(Apr-17-)
5) 日本作業療法士協会 日本作業療法学会 学会演題審査委員(Apr-18-)
6) 荒川区 介護認定審査委員会委員(Apr-17-)
7) J-P-D ネットワーク東日本 世話人(Apr-15-)
8) 東京都作業療法士会 学術部 査読委員(Apr-13-)
9) 東京都作業療法学会 査読委員(Apr-13-)
10) 東京都作業療法士会 福祉用具部会(Apr-10-)
11) 日本生活支援工学会 編集委員会委員(Apr-05-)
12) 日本保健科学学会 編集委員会委員(Apr-08-)
13) 一般財団法人 在宅ケア ものこと思い研究所 経済産業省平成 30 年度工業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業 産業基盤分野に係る国際標準開発活動「在宅ヘルスケア支援における製品及びサービス等のアクセシビリティ配慮に関する国際標準化」事業 委員会部会委員(Apr-18-)

14) 日本リハビリテーション工学協会 代議員(Apr-16-)

作業療法学科　　准教授　　藺牟田 洋美

著書

1) 臨床発達心理士わかりやすい資格案内 第4版. contributor, 第5章 高齢者の支援, 2020/3/1.

Misc

1) 藺牟田洋美:社会的フレイルの定義 社会的フレイルに対する心理的アプローチの意義. 日本老年医学会雑誌, 56(Suppl.):66, 2019/5/1.
2) 藤田幸司,山崎幸子,藺牟田洋美:高齢期におけるネガティブ・ライフイベントのメンタルヘルス及び外出頻度との関連. 老年社会科学, 41(2):192-192, 2019/6/1.
3) 藺牟田洋美:老年臨床心理学の実践3 地域支援・閉じこもり等の予防の実践から. 老年臨床心理学研究, 1(1):44-48, 2019/10/1.
4) 藺牟田洋美:地域からみた社会的フレイル. 老年内科, 1(1):110-117, 2020/1/1.
5) 和泉比佐子,藺牟田洋美,佐伯和子,桑原ゆみ,森満:青壮年期のメタボリックシンドローム予防の保健行動に対する自己効力感尺度の開発. 日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 8回:216, 2020/1/1.

講演・口頭発表等

1) 藺牟田洋美:社会的フレイルの定義 社会的フレイルに対する心理的アプローチの意義. 第 61 回日本老年医学会 シンポジウム6, 2019/6/1.
2) 藺牟田洋美:臨床発達支援の専門性に関する科目:B 高齢者への支援. 2019 年度第2回指定科目取得講習会, 2019/6/9.
3) 藺牟田洋美:リーダーに必要なコミュニケーション術. H31 年度ころばん体操リーダー養成講座, 2019/6/11.
4) 藺牟田洋美:個性を認め合って楽しい仲間づくりを. 平成 31 年度『荒川ばん座位体操』リーダー育成研修(第13 期), 2019/6/24.
5) 藺牟田洋美:閉じこもり傾向にある高齢者への支援〜「ライフレビュー」等を用いた心理学的アプローチ. 横浜市訪問型短期予防サービス従事者研修, 2019/7/12.
6) 藺牟田洋美:フレイル予防の心得と傾聴の姿勢. 第1回尾久地区『フレイル予防隊』養成講座Ⅱ, 2020/2/27.

競争的資金等の研究課題

1) 山崎幸子:日本学術振興会 科学研究費「閉じこもりの心理的バリア解消に向けた家族と共に取り組む包括的支援プログラムの開発」, ,2016/4/1-2020/3/1.
2) 藤田幸司:日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(C)「高齢期におけるライフイベントのメンタルヘルスおよび外出頻度への影響に関する研究」, ,2017/4/1-2021/3/1.

社会貢献活動

1) 日本学術会議:閉じこもりと心身の健康との関連.[lecturer,informant],2016/7/17-

委員歴

1)　日本老年社会科学会　査読委員(2014/4/1-)

2)　日本臨床発達心理士会神奈川支部　副支部長(2015/4/1-2020/5/1)

3)　日本老年社会科学会　評議員(2015/4/1-)

4)　日本老年臨床心理学会　評議員(2018/4/1-)

5)　日本老年社会科学学会　奨励賞および論文賞選考委員(2019/4/1-)

その他

1)　閉じこもり傾向の高齢者の支援について,月刊 清流, 2019/4/10.

2)　閉じこもりがちな高齢者は回想で元気になる,ヨミドクター,2020/1/14.

作業療法学科　　准教授　　谷村　厚子

著書

1）　標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学(第3版).第3章:疾患別精神機能作業療法 Ⅴ.神経症性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害.(p.128～p.138),第5章:場面別精神機能作業療法 Ⅰ.退院支援における作業療法(p.217～p.227),医学書院,2020/3/1.

講演･口頭発表等

1）　谷村厚子:人間作業モデル×幸福学 当事者参加型精神科作業療法研究と幸福の関係.第 29 回日本作業行動学会,2019/6/1.

2）　荒木瑞希,谷村厚子:勤労者のメンタルヘスに影響する作業探索検討.第 16 回東京都作業療法学会,2019/7/1.

3）　TANIMURA A: CHANGE WITH TIME OF A WORK-LIFE BALANCE SCALE FOR USERS OF MENTAL HEALTH SERVICES. 19th WPA World Congress of Psychiatry, 2019/8/1.

4）　谷村厚子,石井良和:精神保健サービス利用者を対象とする 5 件法ワークライフバランス尺度の経時的変化の検討.第 53 回日本作業療法学会,2019/9/1.

5）　武田将,谷村厚子:地域在住高齢者のソーシャルサポートに関する国内文献レビュー.第 53 回日本作業療法学会,2019/9/1.

6）　相原彩香,谷村厚子:脳卒中入院患者の退院後生活の認識に関わる要因とその変容プロセス.第 53 回日本作業療法学会,2019/9/1.

7）　荒木瑞希,谷村厚子:作業が新卒 2 年目の勤労者のメンタルヘルスに影響するプロセスとその意味づけ.第 53 回日本作業療法学会,2019/9/1.

8）　古御門幸奈,谷村厚子:「こころの天気」描画法活用作業療法集団プログラム参加者の「生活の中でよくしたいこと」の変化.第 53 回日本作業療法学会,2019/9/1.

9）　武田将,谷村厚子:地域高齢者にとって大切な作業の性質についての検討-計量テキスト分析を用いて.第 29 回日本保健科学学会学術集会,2019/10/1.

10）　本田拓也,谷村厚子:2009～2019 年に掲載された急性期における高齢者を対象とした作業療法実践の文献レビュー-価値ある作業に焦点をあてた実践と機能訓練に焦点をあてた実践の比較-.第 29 回日本保健科学学会学術集会,2019/10/1.

競争的資金等の研究課題

1）　公立大学法人首都大学東京 部局競争的経費「当事者参加型研究を用いた精神科領域のワークライフバランス向上プログラムの検討」,2019/6/1-2020/3/1.

社会貢献活動

1) 荒川区立地域生活支援センター アゼリア,医療法人風鳴会 地域生活支援センター サポートセンターきぬた:地域生活支援事業支援(荒川区,世田谷区).2006/9/1-

2) 一般社団法人 日本作業療法士協会:一般社団法人 日本作業療法士協会 学術部部員.2011/6/1-

3) 一般社団法人 東京都作業療法士会:一般社団法人 東京都作業療法士会 学術部担当理事.2014/6/1-

作業療法学科　　准教授　　橋本　美芽

論文

1）　太田智之,榎宏朗,橋本美芽:障害高齢者の居住継続と住環境との関係―自宅退院後の住環境に対する認識が及ぼす影響―. 作業療法,38(5):567-574, 2020/10/19.

著書

1）　福祉機器選び方・使い方　初めての住宅改修、入浴、トイレ. single_work, 住宅改修方法の基礎知識, 2019/10/1.

講演・口頭発表等

1）　鈴木基恵,橋本美芽:認知症高齢者の生活空間における困りごとと対応　―排泄に関して―. 第34回リハ工学カンファレンスinさっぽろ, 2019/8/21.

2）　橋本美芽,鈴木基恵:認知症高齢者の居住環境における困難とその対応　その3 トイレと浴室における困りごとの対応. 2019年度日本建築学会大会(北陸), 2019/9/5.

3）　鈴木基恵,橋本美芽:認知症高齢者の居住環境における困難とその対応　その4 トイレ・浴室における困りごとの詳細. 2019年度日本建築学会大会(北陸), 2019/9/5.

競争的資金等の研究課題

1）　「house modification for the elderly and the disabled people」, 2001-.

委員歴

1）　日本リハビリテーション工学協会SIG住まいづくり　代表(2008/8/1-)

2）　日本リハビリテーション工学協会　代議員(2013/8/1-2019/8/1)

3）　一般社団法人シルバーサービス振興会　介護保険における住宅改修の工程管理認定制度基準認定委員会(2013/10/1-)

4）　日本認知症ケア学会　関東2地域部会委員(2014/6/1-2020/5/1)

5）　横浜市建築局　横浜市都市計画審議会委員(2014/11/1-)

6）　荒川区バリアフリー基本構想推進協議会　委員長(2015/3/1-)

7）　日本建築学会建築計画委員会高齢者・障がい者等居住小委員会　幹事(2015/4/1-)

8）　日本生活支援工学会　理事(2016/4/1-)

9）　荒川区尾久図書館　設計アドバイザー(2017/4/1-)

10）横浜市福祉局　横浜市福祉のまちづくり推進会議専門委員会副委員長(2017/9/1-)

11）千代田区　都市計画マスタープラン改訂改訂検討委員会委員(2018/4/1-)

12）船橋市　都市計画審議会委員(2018/4/1-)

作業療法学科　　准教授　　宮本　礼子

論文

1）　Miyamoto R,Green D,Bontje P,Suyama N,Ohshima N,Fever S,Butler J:Student perceptions of growth-facilitating and growth-constraining factors of practice placements: A comparison between Japanese and United Kingdom occupational therapy students.. Occupational Therapy International, Sep-19.

Misc

1）　宮本礼子:「国家試験にも臨床にも役立つ！リハビリ PT･OT･ST･Dr.のための脳画像の新しい勉強本」書評. 作業療法ジャーナル, 54(3):276-276, Mar-20.

講演･口頭発表等

1）　山口亮祐,宮本礼子,太附広明,飯田夏実:急性期脳卒中患者の日常生活動作と記憶, 遂行機能の関連性について-机上検査による検討 - . 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/7.

2）　宮本礼子,石橋 裕,土居 義典:学内クリニカルクラークシップの効果に関する質的検討-SCAT を用いた二か年データの分析 - . 第 53 回日本作業療法学会, 2019/9/6.

3）　武田さより,宮本礼子:非利き手における箸操作学習過程の脳活動の経時的変化. 第 22 回日本光脳機能イメージング学会学術集会, 2019/7/20.

4）　宮本礼子:記憶障害のあるクライエントとその家族への支援. 首都大学東京 図書情報センター荒川館, 2019/6/6.

5）　宮本礼子:脳からみた意思決定の要. 第 5 回作業療法神経科学研究会, 2019/6/1.

6）　Sayori Takeda,Reiko Miyamoto,Kaoru Honaga:Change in cortical activity during chopsticks practice using the non-dominant hand. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress, 2019/6/9.

競争的資金等の研究課題

1）　宮本礼子:首都大学東京 2019 年度傾斜的研究費(部局競争的経費)「絵課題と文字課題を用いた日常的意思決定時の functional connectivity の比較」, principal_investigator,Jun-19-Mar-20.

2）　宮本礼子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤 C)「他者との関係継続の予期が顔認知に及ぼす影響ーfMRI を用いた基礎的検討ー」, principal_investigator,Apr-18-Mar-21.

3）　ボンジェペイター:文部科学省 科学研究費補助金(基盤 C)「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」, ,Apr-16-Mar-20.

社会貢献活動

1）　厚生労働省指定 東京都作業療法士会主催:2019 年度第 1 回 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会世話人.[lecturer,organizing_member],2019/8/3-2019/8/4

2）　三輪書店:作業療法ジャーナルゲスト編集者.[editor],Jun-19-Aug-19

3）　三輪書店:画像情報を作業療法に活かす.[planner],Jul-19-

4) 一般社団法人 東京都作業療法士会:第 1 回臨床実習指導者講習会.[lecturer],2019/8/3-2019/8/4

5) 東京都総合高次脳機能障害研究会:東京都総合高次脳機能障害研究会 幹事.[organizing_member,others],2017/4/7-

6) 日本保健科学学会:日本保健科学学会誌 査読委員.[others],Dec-14-

7) 東京都作業療法士会:東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員.[others],2013/2/1-

8) 豊島区障害者福祉課 心身障害者福祉センター:情報提供「高次脳機能障害」とは.[lecturer],2015/1/23-

9) 荒川区地域文化スポーツ部:知って得する生活のヒント.[lecturer],2015/1/28-

10) 荒川区社会教育団体 徳寿大学:知って得する生活のヒント.[lecturer],2015/9/25-

11) 東京都作業療法士会:東京都作業療法士会 学会演題査読委員.[others],2012/6/10-

12) 東京都作業療法士会:第 10 回東京都作業療法学会 一般演題Ⅸ 座長.[presenter],2013/10/20-

13) 一般社団法人 日本作業療法士協会:日本作業療法学会 学会演題査読委員.[others],2014/12/1-

その他

1) 認定作業療法士 取得, Apr-12.

2) A-ONE 認定評価者 取得, A-ONE Training course, Arnadottir OT-ADL Neurobehavioral Evaluation(A-ONE), Arnadottir OT-ADL Neurobehavioral Evaluation(A-ONE), Sep-13.

3) 作業療法士免許 取得,Apr-03.

4) ABiS 拡散 MRI 解析支援拠点主催 第 7 回チュートリアル講習会,2/8-2/9

5) Sensory Profile 使用講習会 受講, , 伊藤祐子主宰 発達障害の行動評価のための Sensory Profile 使用講習会を受講,May-19.

放　射　線　学　科

放射線学科　　学科長　　古川　顕

論文

著書

Misc

講演･口頭発表等

受賞

委員暦

放射線学科　　教 授　　小倉 泉

論文

1） Tsyosi Kobayashi,Takuji Tsuchida,Izumi Ogura, A study of one-shot half-value layer measurement for diagnostic X-ray equipment daily quality contral, A study of one-shot half-value layer measurement for diagnostic X-ray equipment daily quality contral, 22:135-143, 2019/12/1.

Misc

1） 小田幸奈,根岸徹,加藤洋,小倉泉,丸裕亮,高田桂介,二階堂満,日高未菜:X 線エネルギーに対応した半導体測定器の作成. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (134):17-17, 2019/4/30.

講演･口頭発表等

1） 小倉泉,根岸徹,齋藤祐樹:パルスX線に対応した簡易形線量計の検討. 日本放射線技術学会第 73 回東京支部春期学術大会, 2019/5/11.

2） 小倉泉:簡易形線量計作製セミナー. 第 7 回 簡易形線量計作製セミナー(首都大学東京荒川キャンパス), 2019/9/21.

3） 齋藤祐樹,小倉泉,根岸徹:機械学習を用いた診断用 X 線装置品質管理データの異常検出の検討. 日本放射線技術学会第 47 回秋季学術大会, 2019/10/17.

4） 小倉泉,根岸徹,齋藤祐樹:乳房撮影領域の簡易形半価層測定器における線質補正. 日本放射線技術学会第 47 回秋季学術大会, 2019/10/18.

5） 小倉泉,根岸徹,齋藤祐樹:乳房 X 線撮影装置用簡易形半価層測定器の検討. 日本放射線技術学会第 47 回秋季学術大会, 2019/10/18.

6） 根岸徹,小倉泉,齋藤祐樹,原田康雄:歯科口内法X線装置の精度管理システムの構築. 日本放射線技術学会第 47 回秋季学術大会, 2019/10/19.

7） 根岸徹,小倉泉,齋藤祐樹:Digital Brest Tomosynthesis と 2D マンモグラフィの平均乳腺線量に関する検討. 第 29 回日本乳癌検診学会, 2019/11/9.

8） 小倉泉,根岸徹,齋藤祐樹:DBT 撮影装置に対応した簡易形線量計の開発. 第 29 回日本乳癌検診学会, 2019/11/9.

競争的資金等の研究課題

1） 小倉泉:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「乳房用 X 線撮影装置の日常管理用測定器の開発と管理システムの構築」, 2019.04-2022.03

射線学科　　教 授　　加藤 洋

論文

1) 石橋徹,竹井泰孝,坂本肇,山下由香利,加藤守,塚本篤子,松本一真,水谷宏,鈴木昇一,加藤洋,千田浩一:わが国の循環器血管撮影領域における医療被ばくの実態調査. 日本放射線技術学会雑誌, 76(1):64-71, 2020/1/1.

著書

1) 加藤洋,山内浩司,小林毅範:放射線物理学. joint_work, 2020/3/1.

Misc

1) 小田幸奈,根岸徹,加藤洋,小倉泉,丸裕亮,高田桂介,二階堂満,日高未菜:X 線エネルギーに対応した半導体測定器の作成. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (134):17-17, 2019/4/30.

委員歴

1) 日本放射線技術学会 標準･規格委員会(1995/5/1-)
2) 日本放射線技術学会 学術委員会(2015/5/1-)
3) 厚生労働省 診療放射線技師国家試験委員(2015/9/1-)

放射線学科　　教 授　　齋藤 秀敏

著書

1) 三枝健二,入船寅二,福士政広,齋藤秀敏,中谷儀一郎:放射線基礎計測学. 医療科学社, Nov-19.
2) 鬼塚昌彦,椎山謙一,阿部慎司,長谷川智之,澤田晃,齋藤秀敏,伊達広行,土橋卓,田中浩基:放射線物理学, 共立出版, 2019.
3) 放射線生物学. joint_editor, 2020.
4) 放射線計測学:放射線計測学. 共立出版, 2020.

Misc

1) 宮阪遼平,齋藤秀敏,河内徹,片寄哲朗,曹翔永,原竜介:放射線治療装置の動作ログ解析に基づく強度変調回転治療の線量検証の有用性. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):28-28, 19-Sep.

講演･口頭発表等

1) 竹森望弘,飯島康太郎,岡本裕之,中村哲志,西岡史絵,中山広貴,逆井達也,三浦悠記,伊丹純,齋藤秀敏:ポリマーゲル線量計を用いたMR画像誘導放射線治療装置のQAに関する基礎研究. 第117回日本医学物理学会学術大会, Apr-19.
2) 中山広貴,岡本裕之,中村哲志,西岡史絵,飯島康太郎,竹森望弘,逆井達也,三浦悠記,伊丹純,齋藤秀敏:MRI画像誘導放射線治療装置におけるビーム制御遅延時間が線量分布に与える影響の評価. 第 117 回日本医学物理学会学術大会, Apr-19.
3) 放射線治療におけるセットアップ変動抑制のためのステレオカメラシステムの効果. 第 118 回日本医学物理学会学術大会, Sep-19.
4) 若森彩月,水野秀之,中路拓,福田茂一,齋藤秀敏:電子線ビームの第三者評価におけるファントムおよびガラス線量計の補正係数. 第118回日本医学物理学会学術大会, Sep-19.
5) 宮阪遼平,齋藤秀敏,河内徹,片寄哲朗,曹翔永,山内遼平,原竜介:トリガーキロボルト X 線イメージを使用した呼吸ゲート照射時のリニアック角度の評価. 第118回日本医学物理学会学術大会, Sep-19.
6) 明上山温,齋藤秀敏:リニアック使用記録管理の自動化. 第118回日本医学物理学会学術大会, Sep-19.
7) 須田雄飛,齋藤秀敏:リニアックから照射される MV X 線のエネルギースペクトル直接計測に関する研究. 第 29 回日本保健科学学術集会, Oct-19.
8) 大田朝宏,齋藤秀敏:物理線量による炭素線ミニビーム照射法の有用性の検討. 第29回日本保健科学学術集会, Oct-19.
9) 宮阪遼平,齋藤秀敏:放射線治療装置の動作ログ解析に基づく強度変調回転治療の線量検証の有用性, 第29回日本保健科学学術集会. 第29回日本保健科学学術集会, Oct-19.
10) 竹森望弘,齋藤秀敏,岡本裕之:2 種類のポリマーゲル線量計を用いた MR 画像誘導放射線治療装置の品質保証に関する基礎研究. 第29回日本保健科学学術集会, Oct-19.
11) 中山広貴,齋藤秀敏,岡本裕之:MR一体型画像誘導放射線治療装置におけるオシロスコープを使ったビーム制御遅延時間の評価. 第29回日本保健科学学術集会, Oct-19.

放射線学科　　教 授　　白川 崇子

論文

1） Takanori Watanabe,Setsuko Kaoku,Takuhiro Yamaguchi,Ayumi Izumori,Sachiyo Konno,Toshitaka Okuno,Hiroko Tsunoda, Kanako Ban,Koichi Hirokaga,Terumasa Sawada,Toshikazu Ito,Shuichi Nakatani,Hidemitsu Yasuda,Masahiko Tsuruoka, Ei Ueno,Eriko Tohno,Takeshi Umemoto,Takako Shirakawa.:Multicenter prospective study of color Doppler ultrasound for breast masses: utility of our color Doppler method,Ultrasound in Med. & Biol, 45(6) ,1367-1379, 2019

2） 白川崇子,古川顕,中田典生,太田智行:救急エコーはこうみる 腹部泌尿器科領域,pp.103-109,Emer Log, 2019 年夏季増刊,船曳知弘 編集, MC メディカ出版,2019/6

3） Tomoyuki Ohta,Takako Shirakawa,Shinya Okada,Naohiro Ishii,Shigeru Kiryueta:[In vitro demonstration of melanoma metastasis in lymph nodes of prepared specimens using an LED-based multispectral photoacoustic ultrasound imaging system],Journal of Medical Ultrasound in press,2020/2

Misc

1） 古川顕,白川崇子:Rectal cancer staging,2019.5.,ISMRS,2019

2） 飯田真由,白川崇子他:神経突起方向散乱・密度イメージングによる脳発達の縦断評価,日本放射線技術学会 横浜,2019/4/13

3） 都築克仁,白川崇子他:心疾患モデルラット評価のための撮像シーケンスの検討,日本放射線技術学会 横浜,2019/4/14

4） 白川崇子,古川顕,中田典生,太田智行,西岡真樹子,加納瑠為:美顔器使用前後の超音波検査による血流変化と硬度変化の評価,Evaluation of effect of facial beauty massagers by US color Doppler and shear wave elastography, 日本超音波医学会第 92 回学術集会 東京,2019/5/26

5） 中村卓,平井都始子,佐藤恵美,加賀輝美,三塚幸夫,今吉由美,島宏彰,奥野敏隆,野呂綾,野間翠,金澤真作,亀井桂太郎,加藤久美子,関口隆三,白川崇子,位藤俊一,小椋透:多施設共同試験「造影超音波を用いた乳腺病変の造影パターンについての検討」の結果,第42回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会 東京,2019/5/26

6） 加賀輝美,中村卓,平井都始子,佐藤恵美,三塚幸夫,今吉由美,島宏彰,奥野敏隆,野呂綾,野間翠,金澤真作,亀井桂太郎,加藤久美子,関口隆三,白川崇子,位藤俊一,小椋透:最終報告～造営超音波を用いた乳腺病変の造影パターンについての検討,第42回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会 東京,2019/5/ 26

7） 中村卓,平井都始子,佐藤恵美,加賀輝美,三塚幸夫,今吉由美,島宏彰,奥野敏隆,野呂綾,野間翠,金澤真作,亀井桂太郎,加藤久美子,関口隆三,白川崇子,位藤俊一,小椋透:多施設共同試験「造影超音波を用いた乳腺病変の造影パターンについての検討」の報告,第 27 回日本乳癌学会学術総会 東京,2019/7/13

8） 白川崇子,古川顕,中田典生,太田智行,加納瑠為:超音波検査による美顔器(4種類)使用前後の血流変化と硬度変化,SAMI 2019(society of advanced medical imaging 研究会) ,大阪,2019/7/27

9） 大木洋平,白川崇子,古川顕,中田典生,太田智行,西岡真樹子,加納瑠為:美顔器使用前後の超音波による血流と硬度変化 2 ,第 8 回加齢画像研究会,2019/11

10） 白川崇子:Sonographic diagnosis in acute abdomen and others,モンゴル ウランバートル, 2019/9/13

11） 春山拓也,藤田翔平,萩原彰文,堀正明,竹井直行,村田渉,濱崎望,鎌形康司,Christina Andica,古川顕,白川崇子,青木茂樹:3D Synthetic MRI における圧縮センシングの定量値への影響,The Influence of Compressed Sensing on Quantitative Values in 3D Synthetic MRI,第 47 回日本磁気共鳴医学会大会,熊本市, 2019/9/20-22

12） 飯田真由,白川崇子他:非ヒト霊長類コモンマーモセットにおける脳形態の分散解析,Dispersion evaluation by brain morphology of common marmoset,MRI 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会,熊本市,2019/9/20-22

13） 都築克仁,白川崇子他:後縦靭帯骨化症の DTT 画像評価における Spinal cord Toolbox を使用したセミオート定量評価法の有用性 Quantitative semi-automatic evaluation of ossification of the posterior longitudinal ligament using Spinal cord Toolbox,MRI 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会,熊本市, 2019/9/20-22

14） 伊東莉那,白川崇子他:筋ジストロフィー病モデルマウスにおける骨格筋の組織学的 MRI 解析 Evaluation of involvement in skeletal muscle cell of X-linked muscular dystrophy model mouse by q-space imaging.,MRI 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会,熊本市,2019/9/20-22

15） 力武聖月,白川崇子他:筋ジストロフィー病モデルマウスの脳実質変性および脳室体積解析 Brain parenchymal degeneration and ventricular volume analysis of mice with muscular dystrophy,MRI 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会,熊本市,2019/9/20-22

16） 今吉由美,中村卓,平井都始子,奥野俊隆,島宏彰,野間翠,佐藤恵美,亀井圭太郎,加藤久美子,加賀輝美,三塚幸夫,野呂綾,金澤真作,位藤俊一,関口隆三,白川崇子,小椋透,竹政伊知朗:造影超音波を加えた結果、悪性と判断した良性病変～Flow-CEUS 01 試験結果から～, 第43回乳腺甲状腺超音波医学会, 福島市,2019/10/5

17） 島宏彰,中村卓,野間翠,亀井圭太郎,今吉由美,加賀輝美,佐藤恵美,奥野俊隆,加藤久美子,三塚幸夫,野呂綾,金澤真作,位藤俊一,関口隆三,白川崇子,小椋透,平井都始子,竹政伊知朗:悪性の典型的造影パターンを示した3例報告,第43回乳腺甲状腺超音波医学会,福島市, 2019/10/5

18） 野間翠,島宏彰,中村卓,亀井圭太郎,今吉由美,加賀輝美,佐藤恵美,奥野俊隆,加藤久美子,三塚幸夫,野呂綾,金澤真作,位藤俊一,関口隆三,白川崇子,小椋透,平井都始子,竹政伊知朗:良性の典型症例,第43回乳腺甲状腺超音波医学会,福島市, 2019/10/5

19） 佐藤恵美,中村卓,平井都始子,奥野俊隆,島宏彰,野間翠,亀井圭太郎,加藤久美子,加賀輝美,三塚幸夫,今吉由美,野呂綾,金澤真作,位藤俊一,関口隆三,白川崇子,小椋透,竹政伊知朗:造影超音波検査で良性と診断された乳癌症例の検討～多施設共同試験 Flow-CEUS 01 試験結果より～, 第43回乳腺甲状腺超音波医学会,福島市,2019/10/5

20） 白川崇子,古川顕,水沼仁孝,土屋洋輔,三浦剛史,岡野ジェイムス洋尚,太田裕貴,福島宗一郎:Experimental considerations of liver low density by autopsy CT imaging of avalanche accident death,第 46 回日本低温医学会総会,東京 千代田区,2019/11/1

21） 白川崇子:高速超音波診断：血液検査よりも速く,第7回救急画像診断 レクチャー,那覇市,2019/11/16

その他

1） 日本放射線科専門医会 JCR ミッドサマーセミナー 2019(座長),The RADIOLOGY journal/ How to get published in RADIOLOGY/ a Deputy Editor perspective,講師：Ali Guermazi,神戸,2019/7/20

2） 第 456 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会(座長),定例講座3 「腎腫瘍の画像診断―典型例と非典型例―」「日常臨床に役立つ女性骨盤の画像診断」,東京,2019/12/14

放射線学科　　教 授　　妹尾 淳史

論文

1) Ryo Ueda,Naoki Yamada,Masahiro Abo,Atsushi Senoo, Relationship between motor function improvements and white matter structure after low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation plus intensive occupational therapy in chronic subcortical stroke patients., Relationship between motor function improvements and white matter structure after low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation plus intensive occupational therapy in chronic subcortical stroke patients., 30(7):485-490, 2019/5/1.

2) Sho Mitomo,Hideyuki Usa,Masafumi Hata,Daisuke Ogawa,Atsushi Senoo,Hitoshi Takei:Sequential Changes in Activity of Hip Abductor Muscles after Side-lying Hip Abduction Exercise with Different Directions using Muscle Functional Magnetic Resonance Imaging. Integrative Journal of Orthopaedics and Traumatology, [Sho Mitomo,Hideyuki Usa,Masafumi Hata,Daisuke Ogawa,Atsushi Senoo,Hitoshi Takei], Sequential Changes in Activity of Hip Abductor Muscles after Side-lying Hip Abduction Exercise with Different Directions using Muscle Functional Magnetic Resonance Imaging, Sequential Changes in Activity of Hip Abductor Muscles after Side-lying Hip Abduction Exercise with Different Directions using Muscle Functional Magnetic Resonance Imaging, 2(3):1-8, 2019/5/1.

3) Ueda R,Yamada N,Abo M,Senoo A:White matter changes follow low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation plus intensive occupational therapy for motor paralysis after stroke: a DTI study using TBSS.. Acta neurologica Belgica, [Ueda R,Yamada N,Abo M,Senoo A], White matter changes follow low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation plus intensive occupational therapy for motor paralysis after stroke: a DTI study using TBSS., White matter changes follow low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation plus intensive occupational therapy for motor paralysis after stroke: a DTI study using TBSS., 2019/5/1.

4) Suzuki M,Moriya S,Hata J,Tachibana A,Senoo A,Niitsu M:Development of anisotropic phantoms using wood and fiber materials for diffusion tensor imaging and diffusion kurtosis imaging.. Magma (New York, N.Y.), [Suzuki M,Moriya S,Hata J,Tachibana A,Senoo A,Niitsu M], Development of anisotropic phantoms using wood and fiber materials for diffusion tensor imaging and diffusion kurtosis imaging., Development of anisotropic phantoms using wood and fiber materials for diffusion tensor imaging and diffusion kurtosis imaging., 2019/5/1.

5) Mika Mori,Shigehide Kuhara,Kuninori Kobayashi,Sinya Suzuki,Masahisa Yamada,Atsushi Senoo, Non-destructive tree-ring measurements using a clinical 3T-MRI for archaeology, Non-destructive tree-ring measurements using a clinical 3T-MRI for archaeology, 57:125630-125630, 2019/10/1.

6) Ryo Ueda,Naoki Yamada,Masahiro Abo,Pradeepa Wanniarachchi Ruwan,Atsushi Senoo, MRI evaluation of motor function recovery by rTMS and intensive occupational therapy and changes in the activity of motor cortex., MRI evaluation of motor function recovery by rTMS and intensive occupational therapy and changes in the activity of motor cortex., 130(3):309-317, 2020/3/1.

Misc

1) 妹尾淳史:画像情報を作業療法に活かす(第 1 回) 画像情報の理解に必要な知識. 作業療法ジャーナル, 53(13):1344-1351, 2019/12/1.

講演･口頭発表等

1） Wanni Arachchige Pradeepa Ruwan,妹尾淳史:Structural Connectivity Changes in Post-stroke patients after Rehabilitation. OHBM Annual Meeting, 2019 年 6 月.

2） 上田亮,妹尾淳史,原寛美:自動トラクトグラフィーを用いたびまん性軸索損傷患者と軽度頭部外傷患者における白質路変性の差異の検討. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019/9/21.

3） 斎藤勇哉,Ruwan Pradeepa,Hoang Ngoc Thanh,倉持麻奈,内田航,妹尾淳史:速読が脳および学習効果にもたらす影響. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019/9/21.

4） Hoang Ngoc Thanh,妹尾淳史,Pradeepa Wanniarachchi Ruwan,斎藤勇哉,内田航:Altered microstructual of white matter in Mild Traumatic Brain Injuries: A modified tract-based spatial static study. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019/9/21.

5） 速読時の脳神経活動及び機能的結合を用いた脳内ネットワークの解明. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019/9/21.

6） W A Ruwan,妹尾淳史,T Hoang,斎藤勇哉,内田航:Evaluation of White Matter Changes in Traumatic Brain Injury Using Track Density Imaging and Fractional Anisotropy. 第 105 回北米放射線学会, 2019 年 12 月.

競争的資金等の研究課題

1） 川島友和:文部科学省　科学研究費基金(基盤研究(C))「術後伝導障害回避のための臨床解剖学的基盤構築と3D シミュレーションモデルの作製」, 2016/4/1-2020/3/1.

2） 川島友和,妹尾淳史:日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(C)「術後伝導障害回避のための臨床解剖学的基盤構築と3D シミュレーションモデルの作製」, 2016/4/1-2020/3/31.

放射線学科　　教 授　　福士 政広

論文

1） Kazumasa Inoue,Hiroshi Tsuruoka,Hideo Shimizu,Moeko Arai,Nimelan Veerasamy,Mizuho Tsukada,Ken Ichimura,Shuto Nakazawa,Yoshiaki Taguchi,Masahiro Fukushi:Changes of absorbed dose rate in air in metropolitan Tokyo relating to radiocesium released from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: Results of a five-year study, 14(10): e0224449, 2019.

2） Takuya Mitsumoto,Ryogo Minamimoto,Fumio Sunaoka,Seishi Kishimoto,Kazumasa Inoue,Masahiro Fukushi:The clinical utility of phase-based respiratory gated PET imaging based on visual feedback with a head-mounted display system, 92 (1098):20180233-20180233, 2019/6/1.

3） Yoshiki Owaki,Tadaki Nakahara,Takeshi Shimizu,Anne M Smith,Wing K Luk,Kazumasa Inoue,Masahiro Fukushi,Kiyotaka Nakajima:Response to: Effects of breathing motion on PET acquisitions: step and shoot versus continuous bed motion, 40 (8):873-874, 2019/8/1.

4） K. Inoue,M. Arai,H. Tsuruoka,K. Saito,M. Fujisawa,S. Nakazawa,N. Veerasamy,M. Fukushi:Impact on absorbed dose rate in air in kanto region by fukushima daiichi nuclear power plant accident, 184:500-503, 2019/10/1.

5） N. Veerasamy,S. K. Sahoo,K. Inoue,M. Fukushi,H. Tsuruoka,H. Arae,S. Balakrishnan:Natural radioactivity measurement and dose assessment of beach placer sands in the coastal region of Tamil nadu (India), 184:409-412, 2019/10/1.

6） M. Sakama,K. Fujimoto,K. Inoue,M. Fukushi,Y. Imajyo,T. Fukuhara,M. Matsuura,T. Yajima,M. Endo,M. Fujisawa,E. Matsumoto-Kawaguchi :Feasibility study on the fusion of phits simulations and the dInn algorithm for a new quantitative method of in-situ multiple-channel depth distribution spectrometry, 184:328-333, 2019/10/1.

7） Inoue K,Fukushi M,Furukawa A,Sahoo SK,Veerasamy N,Kurokawa M,Kondo H,Shimizu H,Tsuruoka H,Mitsumoto T,Koyama K,Hosokawa S:Detection of anthropogenic gadolinium in river waters in Hokkaido, Japan. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 2020/3/1.

8） Hosokawa S,Inoue K,Takahashi Y,Kano D,Nakagami Y,Nakazawa S,Suzaki K,Fukushi M:Validation of the scatter fraction obtained from the cylindrical phantom for calculating noise equivalent count in clinical PET examinations. 核医学技術, 40(2), 2020.

9） Inoue K, Fukushi M, Kurokawa M, Kondo H, Shimizu H, Tsuruoka H, Ichimira K, Tanifuji H, Veerasamy N, Nakazawa S, Taguchi Y. Ecological half-lives of absorbed dose rate in air and activity concentrations of radiocesium in soil on Izu-Oshima Island related with the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 324(1): 291-300, 2020.

10） Inoue K, Fukushi M, Kurokawa M, Kondo H, Shimizu H, Tsuruoka H, Ichimira K, Tanifuji H, Veerasamy N, Nakazawa S, Taguchi Y. Ecological half-lives of absorbed dose rate in air and activity concentrations of radiocesium in soil on Izu-Oshima Island related with the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 324(1): 291-300, 2020.

11） 高畠賢,今岡達彦,西村まゆみ,柿沼志津子,福士政広,島田義也:放射線による乳がんリスクに対する妊娠の影響. 放射線生物研究. 54(3), 186-197, 2019.

著書

1) 福士政広:核医学.メジカルビュー社,2019.
2) 福士政広(監修):実践・医用画像情報学―基礎から実験・演習まで.メジカルビュー社,2019
3) 福士政広(編):核医学.メジカルビュー社,2019
4) 福士政広(監修):診療放射線技師 画僧攻略テク・ナビ・ガイド.メジカルビュー社,2019
5) 福士政広(分担):医療関係者のための放射線安全利用マニュアル,アドスリー社,2019

Misc

1) 花岡慶秋,井上一雅,福士政広:福岡市の主要河川における希土類元素ガドリニウムの濃度調査.日本放射線技術学会東京支部雑誌,(134):18-18,2019/4/1.
2) 飯盛貴斗,井上一雅,福士政広:北海道における希土類元素ガドリニウムの濃度調査.日本放射線技術学会東京支部雑誌,(134):17-18,2019/4/1.
3) 久保田丈,井上一雅,福士政広,今岡達彦,西村まゆみ,臺野和広,島田義也,柿沼志津子:Brca1 変異導入ラットにおける放射線誘発乳がんの解析.日本放射線技術学会東京支部雑誌,(134):18-18,2019/4/1.
4) 阿部佳奈,井上一雅,福士政広:福島第一原子力発電所事故における伊豆大島の土壌中放射能濃度の推移.第73回日本放射線技術学会東京支部春季学術大会.2019.05.(東京都)
5) 笠原彰倖,井上一雅,福士政広:インド アーンドラ・プラデーシュ州における外部被ばくリスク評価.日本放射線技術学会東京支部雑誌,(134):18-19,2019/4/1.
6) 谷藤勇斗,福士政広,井上一雅:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故後の空気吸収線量率の推移.日本放射線技術学会東京支部雑誌,(134):19-19,2019/4/1.
7) 大澤芽空,井上一雅,福士政広,大橋周平:PET/CT における微小病変の至適画像再構成条件.日本放射線技術学会東京支部雑誌,(134):23-23,2019/4/1.
8) 久保田丈,今岡達彦,西村まゆみ,臺野和広,宮坂佳樹,真下知士,井上一雅,福士政広,島田義也,柿沼志津子.Brca1 遺伝子改変動物モデルにおける放射線誘発乳がんの解析.関東甲信越診療放射線技師学術大会.2019.06.(東京都)
9) 笠原彰倖,井上一雅,福士政広.インド南東部アーンドラ・プラデーシュ州における環境放射線能調査.関東甲信越診療放射線技師学術大会.2019.06.(東京都)
10) 谷藤勇斗,井上一雅,福士政広.福島第一原子力発電所事故後の伊豆大島における空気吸収線量率の推移.関東甲信越診療放射線技師学術大会.2019.06.(東京都)
11) 塚田瑞穂,井上一雅,福士政広.福島第一原子力発電所事故後の都内空間線量率の推移.関東甲信越診療放射線技師学術大会.2019.06.(東京都)
12) 阿部佳奈,井上一雅,福士政広.伊豆大島における人工放射性核種の環境半減期.関東甲信越診療放射線技師学術大会.2019.06.(東京都)
13) 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,鶴岡千鶴,尚奕,西村由希子,井上一雅,福士政広,柿沼志津子,島田義也.環境エンリッチメントによる放射線リスク低減効果.2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会.2019.08.(東京都)
14) 成田真人,谷幸太郎,栗原治,井上一雅,福士政広.可搬型α線スペクロトメータの実用化に向けたシミュレーション.関東甲信越診療放射線技師学術大会.2019.06.(東京都)

15) 森山ひとみ，井上一雅，福士政広．放射線被ばくにより発生したラット乳がんのサブタイプと遺伝子変異解析．関東甲信越診療放射線技師学術大会．2019.06.(東京都)

16) 市村賢，井上一雅，福士政広．MRI 造影剤に起因した都市河川水中に含まれるガドリニウム濃度の調査．関東甲信越診療放射線技師学術大会．2019.06.(東京都)

17) 飯盛貴斗，井上一雅，福士政広．北海道内の河川水中のガドリニウム濃度分布調査．関東甲信越診療放射線技師学術大会．2019.06.(東京都)

18) 花岡慶秋，井上一雅，福士政広．福岡市内の主要河川水中のガドリニウム濃度調査．関東甲信越診療放射線技師学術大会．2019.06.(東京都)

19) 徳田明日香,田中美香,多胡哲郎,石橋賢士,我妻慧,坂田宗之,井上一雅,福士政広,豊原潤,石井賢二:Off-target binding を有するアミロイド･タウ PET トレーサーのための特異集積量推定法．核医学，56(Suppl.):S143-S143, 2019/10/1.

20) 徳田明日香,田中美香,多胡哲郎,石橋賢士,我妻慧,坂田宗之,井上一雅,福士政広,豊原潤,石井賢二:Off-target binding を有するアミロイド･タウ PET トレーサーのための特異集積量推定法．核医学，56(Suppl.):S143-S143, 2019/10/1.

21) 成田真人,谷幸太郎,栗原治,井上一雅,福士政広:核医学施設における α 線スペクトルサーベーイメータの実用化に向けた放射線輸送計算の活用．診療放射線学教育学，7:17-17, 2019/12/1.

22) 真野力礼,井上一雅,福士政広,村松禎久:アミロイド PET 検査の品質管理精度の向上に向けた擬人的 3D 脳ファントムの 3D モデルの開発．診療放射線学教育学，7:16-16, 2019/12/1.

23) 久保田丈,今岡達彦,西村まゆみ,臺野和広,宮坂佳樹,真下知士,井上一雅,福士政広,島田義也,柿沼志津子:Brca1 遺伝子改変ラットにおける放射線誘発乳がんの解析．診療放射線学教育学，7:27-27, 2019/12/1.

24) 市原舞衣,井上一雅,塚田瑞穂,渡辺光,嘉藤達樹,鳥井みのり,溝口愛美,横地悠紀,福士政広:千葉県東葛地区における環境放射線量の推移．診療放射線学教育学，7:25-25, 2019/12/1.

25) 加藤碧,井上一雅,Veerasamy Nimelan,塚田瑞穂,市原舞衣,渡辺光,嘉藤達樹,鳥井みのり,溝口愛美,横地悠紀,福士政広:東京都葛飾区の環境放射能の変化．診療放射線学教育学，7:24-24, 2019/12/1.

26) 塚田瑞穂,井上一雅,宿岡大,清水秀雄,Veerasamy Nimelan,市原舞衣,市村賢,渡辺光,嘉藤達樹,鳥井みのり,溝口愛美,横地悠紀,福士政広:東京都における環境放射線量の推移．診療放射線学教育学，7():23-23, 2019/12/1.

27) 市村賢,井上一雅,Verrasamy Nimelan,笠原彰倖,福士政広:東京都内の都市河川水中に含まれるガドリニウム濃度の調査．診療放射線学教育学，7:22-22, 2019/12/1.

28) Veerasamy N, Inoue K, Fukushi M, Sahoo SK. Natural radioactivity measurement of monazite sands from Kanayakumari placer deposit of Tamil Nadu, India. 第 13 回日本診療放射線学教育学会学術集会．2019.08.(東京都)

29) okomizo S, Nishimura M, Morioka T, Nishimura Y, Yanagihara H, Tsuruoka T, Inoue K, Fukushi M, Kakinuma S, Shimada Y. Inhibitory effect of environmental enrichment on radiation-induced intestinal tumor in ApcMin/+ mice. 16th International Congress of Radiation Research. 2019.08. (Manchester, UK)

30) Moriyama H, Daino K, Imaoka T, Takabatake M, Morioka T, Ishikawa A, Inoue K, Fukushi M, Shimada S, Kakinuma S. Whole-exome sequencing analysis to identify somatic mutations in radiation-induced rat mammary carcinomas. 16th International Congress of Radiation Research, 2019.08. (Manchester, UK)

31) Inoue K, Tsuruoka H, Fukushi M. Current status of absorbed dose rate in air in Kanto distict after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. 24th International Conference on Medical Physics. 2019.09. (Santiago, Chile).

32） Fukushi M, Inoue K, Tsuruoka H, Narita H. Development of portable alpha-ray spectrum survey meter. 24th International Conference on Medical Physics. 2019.09. (Santiago, Chile).

33） Tsuruoka H, Inoue K, Fukushi M. Development of Portable Radiation Depth Distribution Spectrometer. 24th International Conference on Medical Physics. 2019.09. (Santiago, Chile).

34） Verrasamy N, Sahoo SK, Inoue K, Fukushi M. Geochemical behaviour of Uranium and Thorium in soils and sands from a natural high background radiation area of Odisha coast, India. 5th International Conference on Environmental Radioactivity. 2019.09. (Prague, Czech Republic)

35） 横溝真哉,西村まゆみ,森岡孝満,鶴岡千鶴,尚奕,西村由希子,井上一雅,福士政広,柿沼志津子,島田義也:環境エンリッチメントによる放射線誘発消化管腫瘍に対する抑制効果．若手放射線生物学研究会専門研究会．2019.09.(千葉県)

36） 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,高畠賢,森岡孝満,石川敦子,西村由希子,井上一雅,福士政広,島田義也,柿沼志津子:中性子線誘発ラット乳がんの病理学的および遺伝子変異解析．日本宇宙生物科学会第 33 回大会．2019.09.(千葉県)

37） 久保田丈,今岡達彦,西村まゆみ,臺野和広,宮坂佳樹,真下知士,井上一雅,福士政広,島田義也,柿沼志津子:乳がんモデルラットにおいて Brca1 遺伝子変異が放射線誘発乳がんリスクに及ぼす影響．若手放射線生物学研究会専門研究会．2019.09.(千葉県)

38） 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,高畠賢,森岡孝満,石川敦子,井上一雅,福士政広,島田義也,柿沼志津子:Subtype classification and whole-exome sequencing of γ-ray- or neutron-induced rat mammary carcinomas．第 62 回日本放射線影響学会大会．2019.11.(京都府)

39） 成田真人,谷幸太郎,栗原治,井上一雅,福士政広:医療施設におけるα線スペクトルメータの実用化に向けた放射線輸送計算の活用．日本保健物理学会第 52 回研究発表会,2019.12.(宮城県)

40） 阪間稔,藤本憲市,井上一雅,福士政広,今城裕介,福原隆宏,遠藤倫崇,川口絵里佳,濱邉大,神谷慶和,森本真壽:AI 技術活用による In-situ 多チャンネル放射能濃度深度分布スペクトロメトリーの放射能濃度弁別処理技術開発の進展．日本放射線安全管理学会第 18 回学術大会,2019.12.(宮城県)

41） 市原舞衣,井上一雅,塚田瑞穂,渡辺光,嘉藤達樹,鳥井みのり,加藤碧,溝口愛美,横地悠紀,福士政広:千葉県東葛地区における空間線量率変化．日本保健物理学会第 52 回研究発表会,2019.12.(宮城県)

42） 塚田瑞穂,井上一雅,寉岡大,清水秀雄,Nimelan Veerasamy,市原舞衣,市村賢,渡辺光,嘉藤達樹,鳥井みのり,溝口愛美,横地悠紀,加藤碧,福士 政広:福島第一原子力発電所事故に関連した都内の環境放射線量の推移．日本保健物理学会第 52 回研究発表会,2019.12.(宮城県)

43） Verassamy N, Sahoo SK, Inoue K, Fukushi M:Natural gamma radiation measurement of placer sands from southern coast of Tamil Nadu, India. JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network, 2019.12. (Miyagi)

44） Narita M, Tani K, Kurihara O, Inoue K, Fukushi M:MCNP simulation of Ra-223 and At-211 alpha spectrum for radiation control in nuclear medicine. JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network, 2019.12. (Miyagi)

45） 森山ひとみ,臺野和広,今岡達彦,高畠賢,森岡孝満石川敦子,井上一雅,福士政広,島田義也,柿沼志津子:放射線誘発ラット乳癌の全エクソームシークエンス解析．東京大学がんプロフェッショナル養成プラン大学院生研究発表会．2020.02.(東京都)

競争的資金等の研究課題

1） 福士政広：医健エンジニアリング株式会社　共同研究助成「放射線防護材の開発」, principal_investigator,2016/4/1-2021/3/1.

2） 福士政広：文部科学省　科学研究費補助金(基盤研究(B))「ポータブル　α　線スペクトルメータの開発」, principal_investigator,2018/4/1-2022/3/1.

3） 井上一雅：文部科学省　科学研究費補助金(基盤研究(B))「先端医療検査の発展に潜む MRI ガドリニウム造影剤に起因した環境負荷低減技術の開発」, ,2019/4/1-2023/3/1.

4） 研究代表者 福士政広:京都科学社,「放射線ファントム材料検査等について」,2020/2/1-2023/1/31

受賞

1） FUKUSHI Masahiro：日本保健物理学会　Paper award「Occupational Radiation Exposure and Leukemia Mortality among Nuclear Workers in Japan: J-EPISODE, 1991-2010」, 2019/4/1.

2） 日本放射線技術学会東京支部, 研究奨励賞(共同研究者), 2019.

3） 日本保健物理学会, 論文賞(共同研究者), 2019

4） 日本アイソトープ協会, Radioisotope 誌論文奨励賞(共同研究者), 2019.

5） 日本放射線影響学会第 62 回大会, 優秀演題発表賞(共同研究者), 2019.

委員歴

1） 国際協力機構技術専門委員

2） 日本医学物理士会会長

3） 診療放射線学教育学会会長・理事

4） 特定 NPO 日本エステティック機構　理事長

5） 日本保健物理学会監事

6） 医学物理士認定機構理事

7） 日本保健科学学会理事

8） 日本核医学専門技師認定機構委員

9） 第 55 回アイソトープ・放射線 研究発表会運営委員

10） 放射線防護連絡協議会企画委員など

放射線学科　　准教授　　井上　一雅

論文

1) Hosokawa S, Inoue K, Takahashi Y, Kano D, Nakagami Y, Nakazawa S, Suzaki K, Fukushi M:Validation of the scatter fraction obtained from the cylindrical phantom for calculating noise equivalent count in clinical PET examinations. Japanese Journal of Nuclear Medicine Technology, 40(2):135-141, 2020.

2) Inoue K, Fukushi M, Furukawa A, Sahoo SK, Veerasamy N, Kurokawa M, Kondo H, Shimizu H, Tsuruoka H, Mitsumoto T, Koyama K, Hosokawa S:Detection of anthropogenic gadolinium in river waters in Hokkaido, Japan. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 2020. (in press)

3) Inoue K, Tsuruoka H, Shimizu H, Arai M, Veerasamy N, Tsukada M, Ichimura K, Nakazawa S, Taguchi Y, Fukushi M: Changes of absorbed dose rate in air in metropolitan Tokyo relating to radiocesium released from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: Results of a five-year study. PLOS ONE, 14(10):e0224449, 2019.

4) Owaki Y, Nakahara T, Shimizu T, Smith AM, Luk WK, Inoue K, Fukushi M, Nakajima K: Effects of breathing motion on PET acquisitions: step and shoot versus continuous bed motion. Nuclear medicine communications, 40(8):873-874, 2019.

5) Sakama M, Fujimoto K, Inoue K, Fukushi M, Imajyo Y, Fukuhara T, Matsuura M, Yajima T, Endo M, Fujisawa M, Matsumoto-Kawaguchi E: Feasibility study on the fusion of phits simulations and the dlnn algorithm for a new quantitative method of in-situ multiple-channel depth distribution. Radiation Protection Dosimetry, 184:328-333, 2019.

6) Mitsumoto T, Minamimoto R, Sunaoka F, Kishimoto S, Inoue K, Fukushi M: The clinical utility of phase-based respiratory gated PET imaging based on visual feedback with a head-mounted display system. British Journal of Radiology, 92 (1098):20180233, 2019.

7) Inoue K, Arai M, Tsuruoka H, Saito K, Fujisawa M, Nakazawa S, Veerasamy N, Fukushi M: Impact on absorbed dose rate in air in kanto region by fukushima daiichi nuclear power plant accident. Radiation Protection Dosimetry, 184:500-503, 2019.

8) Veerasamy N, Sahoo SK, Inoue K, Fukushi M, Tsuruoka H, Arae H , Balakrishnan S: Natural radioactivity measurement and dose assessment of beach placer sands in the coastal region of Tamil nadu (India). Radiation Protection Dosimetry, 184: 409-412, 2019.

Misc

1) 飯盛貴斗, 井上一雅, 福士政広:北海道における希土類元素ガドリニウムの濃度調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (134):17-18, 2019.

2) 徳田明日香, 田中美香, 多胡哲郎, 石橋賢士, 我妻慧, 坂田宗之, 井上一雅, 福士政広, 豊原潤, 石井賢二:Off-target binding を有するアミロイド･タウ PET トレーサーのための特異集積量推定法. 核医学, 56:S143, 2019.

3) 大澤芽空, 井上一雅, 福士政広, 大橋周平:PET/CT における微小病変の至適画像再構成条件. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, I(134):23, 2019.

4) 谷藤勇斗, 福士政広, 井上一雅:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故後の空気吸収線量率の推移. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, I(134):19, 2019.

5) 笠原彰倖, 井上一雅, 福士政広:インド アーンドラ・プラデーシュ州における外部被ばくリスク評価. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (134):18-19, 2019.

6) 久保田丈, 井上一雅, 福士政広, 今岡達彦, 西村まゆみ, 臺野和広, 島田義也, 柿沼志津子:Brca1 変異導入ラットにおける放射線誘発乳がんの解析. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (134):18, 2019.

7) 花岡慶秋, 井上一雅, 福士政広:福岡市の主要河川における希土類元素ガドリニウムの濃度調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (134):18, 2019.

8) 久保田丈, 今岡達彦, 西村まゆみ, 臺野和広, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:Brca1 遺伝子改変ラットにおける放射線誘発乳がんの解析. 診療放射線学教育学, 7:27, 2019.

9) 市原舞衣, 井上一雅, 塚田瑞穂, 渡辺光, 嘉藤達樹, 鳥井みのり, 溝口愛美, 横地悠紀, 福士政広:千葉県東葛地区における環境放射線量の推移. 診療放射線学教育学, 7:25, 2019.

10) 加藤碧, 井上一雅, Veerasamy Nimelan, 塚田瑞穂, 市原舞衣, 渡辺光, 嘉藤達樹, 鳥井みのり, 溝口愛美, 横地悠紀, 福士政広:東京都葛飾区の環境放射能の変化. 診療放射線学教育学, 7:24, 2019.

11) 塚田瑞穂, 井上一雅, 宿岡大, 清水秀雄, Veerasamy Nimelan, 市原舞衣, 市村賢, 渡辺光, 嘉藤達樹, 鳥井みのり, 溝口愛美, 横地悠紀, 福士政広:東京都における環境放射線量の推移. 診療放射線学教育学, 7:23, 2019.

12) 市村賢, 井上一雅, Verrasamy Nimelan, 笠原彰倖, 福士政広:東京都内の都市河川水中に含まれるガドリニウム濃度の調査. 診療放射線学教育学, 7:22, 2019.

13) 成田真人, 谷幸太郎, 栗原治, 井上一雅, 福士政広:核医学施設における α 線スペクトルサーベーイメータの実用化に向けた放射線輸送計算の活用. 診療放射線学教育学, 7:17, 2019.

14) 真野力礼, 井上一雅, 福士政広, 村松禎久:アミロイド PET 検査の品質管理精度の向上に向けた擬人的 3D 脳ファントムの 3D モデルの開発. 診療放射線学教育学, 7:16, 2019.

15) 徳田明日香, 田中美香, 多胡哲郎, 石橋賢士, 我妻慧, 坂田宗之, 井上一雅, 福士政広, 豊原潤, 石井賢二:Off-target binding を有するアミロイド・タウ PET トレーサーのための特異集積量推定法. 核医学, 56:S143, 2019.

16) 花岡慶秋, 井上一雅, 福士政広:福岡市の主要河川における希土類元素ガドリニウムの濃度調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌 134:18, 2019

17) 笠原彰倖, 井上一雅, 福士政広:インド アーンドラ・プラデーシュ州における外部被ばくリスク評価. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, 134:18-19, 2019.

18) 谷藤勇斗, 福士政広, 井上一雅:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故後の空気吸収線量率の推移. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, 134:19-19, 2019/4/30.

19) 飯盛貴斗, 井上一雅, 福士政広:北海道における希土類元素ガドリニウムの濃度調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, 134:17-18, 2019.

20) 久保田丈, 井上一雅, 福士政広, 今岡達彦, 西村まゆみ, 臺野和広, 島田義也, 柿沼志津子:Brca1 変異導入ラットにおける放射線誘発乳がんの解析. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, 134:18, 2019/4/30.

21) 大澤芽空, 井上一雅, 福士政広, 大橋周平:PET/CT における微小病変の至適画像再構成条件. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, 134:23, 2019.

講演･口頭発表等

1) 森山ひとみ，臺野和広，今岡達彦，高畠賢，森岡孝満，石川敦子，井上一雅，福士政広，島田義也，柿沼志津子：放射線誘発ラット乳癌の全エクソームシークエンス解析．令和元年度東京大学がんプロフェッショナル養成プラン研究発表会，2020/2/25．

2) 成田真人，谷幸太郎，栗原治，井上一雅，福士政広：医療施設における α 線スペクトルメータの実用化に向けた放射線輸送計算の活用．日本保健物理学会第 52 回研究発表会，2019/12/4．

3) Verassamy N, Sahoo SK, Inoue K, Fukushi M：Natural gamma radiation measurement of placer sands from southern coast of Tamil Nadu, India．JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network，2019/12/4．

4) Narita M, Tani K, Kurihara O, Inoue K, Fukushi M：MCNP simulation of Ra-223 and At-211 alpha spectrum for radiation control in nuclear medicine．JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network，2019/12/4．

5) 塚田瑞穂，井上一雅，宿岡大，清水秀雄，Nimelan Veerasamy，市原舞衣，市村賢，渡辺光，嘉藤達樹，鳥井みのり，溝口愛美，横地悠紀，加藤碧，福士政広：福島第一原子力発電所事故に関連した都内の環境放射線量の推移．日本保健物理学会第 52 回研究発表会，2019/12/4．

6) 市原舞衣，井上一雅，塚田瑞穂，渡辺光，嘉藤達樹，鳥井みのり，加藤碧，溝口愛美，横地悠紀，福士政広：千葉県東葛地区における空間線量率の変化．日本保健物理学会第 52 回研究発表会，2019/12/4．

7) 阪間稔，藤本憲市，井上一雅，福士政広,今城裕介,福原隆宏,遠藤倫崇,川口絵里佳,濱邉大,神谷慶和,森本真壽：AI 技術活用による In-situ 多チャンネル放射能濃度深度分布スペクトロメトリーの放射能濃度弁別処理技術開発の進展．日本放射線安全管理学会第 18 回学術大会，2019/12/4．

8) Hosokawa S, Suginuma A, Terao S, Takahashi Y, Inoue K, Kano D, Nakagami Y, Fukushi M：Evaluation of SPECT image quality based on human vision．2nd Workshop on Radiation Research and its related issues 2019，2019/11/18．

9) 森山ひとみ，臺野和広，今岡達彦，高畠賢，森岡孝満，石川敦子，西村由希子，井上一雅，福士政広，島田義也，柿沼志津子：Subtype classification and whole-exome sequencing of γ-ray- or neutron-induced rat mammary carcinomas．日本放射線影響学会第 62 回大会，2019/11/14．

10) 徳田明日香，田中美香，多胡哲郎，石橋賢士，我妻慧，坂田宗之，井上一雅，福士政広，豊原潤，石井賢二：Off-target binding を有するアミロイド･タウ PET トレーサーのための特異集積量推定法．第 59 回日本核医学会学術総会，2019/11/1．

11) 森山ひとみ，臺野和広，今岡達彦，高畠賢，森岡孝満，石川敦子，西村由希子，井上一雅，福士政広，島田義也，柿沼志津子：中性子線誘発ラット乳がんの病理学的および遺伝子変異解析．日本宇宙生物科学会第 33 回大会，2019/9/21．

12) 久保田丈，今岡達彦，西村まゆみ，臺野和広，宮坂佳樹，真下知士，井上一雅，福士政広，島田義也，柿沼志津子：乳がんモデルラットにおいて Brca1 遺伝子変異が放射線誘発乳がんリスクに及ぼす影響．若手放射線生物学研究会専門研究会，2019/9/14．

13) 横溝真哉，西村まゆみ，森岡孝満，鶴岡千鶴，尚奕，西村由希子，井上一雅，福士政広，柿沼志津子，島田義也：環境エンリッチメントによる放射線誘発消化管腫瘍に対する抑制効果．若手放射線生物学研究会専門研究会，2019/9/14．

14) Verrasamy N, Sahoo SK, Inoue K, Fukushi M：Geochemical behaviour of Uranium and Thorium in soils and sands from a natural high background radiation area of Odisha coast, India．5th International Conference on Environmental Radioactivity，2019/9/9．

15) Tsuruoka H, Inoue K, Fukushi M：Development of Portable Radiation Depth Distribution Spectrometer．24th International Conference on Medical Physics，2019/9/7．

16） Fukushi M, Inoue K, Tsuruoka H, Narita H:Development of portable alpha-ray spectrum survey meter. 24th International Conference on Medical Physics, 2019/9/7.

17） Inoue K, Tsuruoka H, Fukushi M:Current status of absorbed dose rate in air in Kanto distict after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. 24th International Conference on Medical Physics, 2019/9/7.

18） 加藤碧, 井上一雅, Nimelan Veerasamy, 渡辺光, 嘉藤達樹, 鳥井みのり, 溝口愛美, 横地悠紀, 福士政広:東京都葛飾区の環境放射能の変化. 第13回日本診療放射線学教育学会総会･学術集会, 2019/8/24.

19） 真野力礼, 井上一雅, 村松禎久, 福士政広:アミロイド PET 検査の品質管理精度の向上に向けた擬人的 3D 脳ファントムのモデル開発. 第13回日本診療放射線学教育学会総会･学術集会, 2019/8/24.

20） 久保田丈, 今岡達彦, 西村まゆみ, 臺野和広, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:Brca1 遺伝子改変ラットにおける放射線誘発乳がんの解析. 第13回日本診療放射線学教育学会総会･学術集会, 2019/8/24.

21） 市村賢, 井上一雅, Nimelan Verrasamy, 笠原彰倖, 福士政広:東京都内の都市河川水中に含まれるガドリニウム濃度の調査. 第13回日本診療放射線学教育学会総会･学術集会, 2019/8/24.

22） Nimelan V, Inoue K, Fukushi M, Sahoo SK:Natural radioactivity measurement of monazite sands from Kanayakumari placer deposit of Tamil Nadu, India. 第13回日本診療放射線学教育学会総会･学術集会, 2019/8/24.

23） 成田真人, 谷幸太郎, 栗原治, 井上一雅, 福士政広:核医学施設における α 線スペクトルサーベイメータの実用化に向けた放射線輸送計算の活用. 第13回日本診療放射線学教育学会総会･学術集会, 2019/8/24.

24） 塚田瑞穂, 井上一雅, 宿岡大, 清水秀雄, Nimelan Veerasamy, 市村賢, 渡辺光, 嘉藤達樹, 鳥井みのり, 溝口愛美, 横地悠紀, 福士政広:東京都における環境放射線量の推移. 第 13 回日本診療放射線学教育学会総会･学術集会, 2019/8/24.

25） 市原舞衣, 井上一雅, 塚田瑞穂, 渡辺光, 嘉藤達樹, 鳥井みのり, 溝口愛美, 横地悠紀, 福士政広:千葉県東葛地区における環境放射線量分布. 第13回日本診療放射線学教育学会総会･学術集会, 2019/8/24.

26） Moriyama H, Daino K, Imaoka T, Takabatake M, Morioka T, Ishikawa A, Inoue K, Fukushi M, Shimada S, Kakinuma S:Whole-exome sequencing analysis to identify somatic mutations in radiation-induced rat mammary carcinomas. 16th International Congress of Radiation Research, 2019/8/14.

27） Yokomizo S, Nishimura M, Morioka T, Nishimura Y, Yanagihara H, Tsuruoka T, Inoue K, Fukushi M, Kakinuma S, Shimada Y: Inhibitory effect of environmental enrichment on radiation-induced intestinal tumor in ApcMin/+ mice. 16th International Congress of Radiation Research, 2019/8/14.

28） 笠原彰倖, 井上一雅, 福士政広:インド南東部 アーンドラ･プラデーシュ州における環境放射線能調査. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

29） 谷藤勇斗, 井上一雅, 福士政広:福島第一原子力発電所事故後の伊豆大島における空気吸収線量率の推移. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

30） 塚田瑞穂, 井上一雅, 福士政広:福島第一原子力発電所事故後の都内空間線量率の推移. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

31） 阿部佳奈, 井上一雅, 福士政広:伊豆大島における人工放射性核種の環境半減期. 2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

32） 横溝真哉, 西村まゆみ, 森岡孝満, 鶴岡千鶴, 尚奕, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也:環境エンリッチメントによる放射線初期応答への修飾効果. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

33) 成田真人, 谷幸太郎, 栗原治, 井上一雅, 福士政広:可搬型 α 線スペクトロメータの実用化に向けたシミュレーション. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

34) 森山ひとみ, 井上一雅, 福士政広:放射線被ばくにより発生したラット乳がんのサブタイプと遺伝子変異解析. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

35) 久保田丈, 今岡達彦, 西村まゆみ, 臺野和広, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:Brca1 遺伝子改変実験動物モデルにおける放射線誘発乳がんの解析. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

36) 市村賢, 井上一雅, 福士政広:MRI 造影剤に起因した都市河川水中に含まれるガドリニウム濃度の調査. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

37) 飯盛貴斗, 井上一雅, 福士政広:北海道内の河川水中のガドリニウム濃度分布調査. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

38) 花岡慶秋, 井上一雅, 福士政広:福岡市内の主要河川水中のガドリニウム濃度調査. 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 2019/6/29.

39) 大澤芽空, 井上一雅, 福士政広:PET/CT における微小病変の至適画像再構成条件. 日本放射線技術学会第 73 回東京支部春期学術大会, 2019/5/11.

40) 谷藤勇斗, 井上一雅, 福士政広:伊豆大島における福島第一原子力発電所事故後の空気吸収線量率の推移. 日本放射線技術学会第 73 回東京支部春期学術大会, 2019/5/11.

41) 阿部佳奈, 井上一雅, 福士政広:福島第一原子力発電所事故における伊豆大島の土壌中放射能濃度の推移. 日本放射線技術学会第 73 回東京支部春期学術大会, 2019/5/11.

42) 笠原彰倖, 井上一雅, 福士政広:インド アーンドラ・プラデーシュ州における外部被ばくリスク評価. 日本放射線技術学会第 73 回東京支部春期学術大会, 2019/5/11.

43) 久保田丈, 井上一雅, 福士政広, 今岡達彦, 西村まゆみ, 壷野和広, 島田義也, 柿沼志津子:Brca1 変異導入ラットにおける放射線誘発乳がんの解析. 日本放射線技術学会第 73 回東京支部春期学術大会, 2019/5/11.

44) 飯盛貴斗, 井上一雅, 福士政広:北海道における希土類元素ガドリニウムの濃度調査. 日本放射線技術学会第 73 回東京支部春期学術大会, 2019/5/11.

45) 花岡慶秋, 井上一雅, 福士政広:福岡市の主要河川における希土類元素ガドリニウムの濃度調査. 日本放射線技術学会第 73 回東京支部春期学術大会, 2019/5/11.

競争的資金等の研究課題

1) 福士政広:京都科学共同研究「放射線ファントム材料検査等について」, 研究分担者, 2019-2022.

2) 井上一雅:首都大学東京 2019 年度派遣留学生支援制度「膵臓がんにおける蛍光/核医学ガイド手術支援を可能とする多機能低分子プローブの開発」, 2019-2020.

3) 井上一雅:公益財団法人政策医療振興財団 研究助成金「α 線放出治療薬の適正管理に向けた医療機関用 α 線スペクトロメータの開発」, 研究代表者, 2019.

4) 井上一雅:首都大学東京傾斜的研究費「活性炭吸着能を駆使した MRI 検査用ガドリニウム造影剤に起因する環境汚染低減対策」, 代表研究者, 2019.

5) 井上一雅:文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))「先端医療検査の発展に潜む MRI ガドリニウム造影剤に起因した環境負荷低減技術の開発」, 代表研究者, 2019-2023.

6) 井上一雅:独立行政法人環境再生保全機構環境研究総合推進費「AI 技術の活用による除去汚染土壌モニタリングシステムの開発」,代表研究者,2019-2021.

7) 福士政広:文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))「ポータブル α 線スペクトルサーベイメータの開発」,分担研究者,2018-2022.

8) 井上一雅:首都大学東京スタートアップ調査制度(都大連携事業)「東京都水再生センター処理水に含まれるMRI検査用造影剤由来のガドリニウムの実態調査」,代表研究者,2018-2019.

9) 井上一雅:公益財団法人住友財団環境研究助成「人工知能ニューラルネットワークを駆使した放射性セシウムの除染作業の効率化」,代表研究者,2018-2021.

10) 井上一雅:公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団研究助成金「環境水として放出される高濃度ガドリニウムの起源探索と環境負荷低減法の開発」,代表研究者, 2018-2019.

受賞

1) 井上一雅:日本放射線影響学会第62回大会 優秀演題発表賞,Nov-2019.

2) 井上一雅:日本アイソトープ協会 Radioisotopes 誌論文奨励賞,Jul-2019.

3) 井上一雅:日本保健物理学会 論文賞,Jun-2019.

4) 井上一雅:日本放射線技術学会東京支部 新人研究奨励賞,May-2019.

特許

1) 特開 2019-113446, 2019/7/11 「放射線測定装置」. 井上一雅, 福士政広, 阪間稔, 藤本憲市.

社会貢献活動

1) 井上一雅:ハーバード大学客員教授,2019/5/1-

2) 井上一雅:原子力規格委員会放射線管理分科会委員,2015/7/1-

3) 井上一雅:首都大学東京同窓会評議委員,2016/4/1-

4) 井上一雅:診療放射線技師国家試験対策セミナー, 放射線計測学, 講師,2019/11/9

5) 井上一雅:第119回日本医学物理学会学術大会, プログラム委員.2019/5/1-2020/4/17

6) 井上一雅:応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会, 実行委員,2020/1/11

7) 井上一雅:応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会, 実行委員,2019/11/16

8) 井上一雅:診療放射線技師国家試験対策かつしかセミナー, 放射線計測学, 講師,2020/2/5

9) 井上一雅:第119回日本医学物理学会学術大会:第119回日本医学物理学会学術大会 CyPos 審査委員,2020/3/6-2020/6/1

10) 井上一雅:首都大学東京放射線業務従事者教育訓練. 講師,2019/4/5

11) 井上一雅:第118回日本医学物理学会学術大会. 実行委員,2018/12/1-2019/4/15

12) 井上一雅:日本医学物理士会:ミニマム講習会(物理工学工学系). 講師,2019/6/1

13) 井上一雅:第29回日本保健科学学会学術集会. 実行委員,2018/3/1-2019/10/5

放射線学科　　准教授　　眞正 浄光

論文

1) 眞正浄光:熱蛍光線量計. 金属, 89(11):971-975, 2019/11/1.

著書

1) 齋藤秀敏,椎山謙一,岩元新一郎,古徳純一,納冨昭弘,鬼塚昌彦,眞正浄光,千田浩一:放射線計測学, 2020/3/1.

Misc

1) 重光洋亮,福井里美,坂井志織,小林隆司,池田由美,新井清美,眞正浄光,飯塚哲子,三浦里織,西村ユミ:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加した学生の経験. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl):23, 2019/9/1.
2) 三浦里織,飯塚哲子,西村ユミ,福井里美,坂井志織,新井清美,小林隆司,池田由美,眞正浄光,重光洋亮:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の 4 職種(NPRO)連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加したファシリテーターの経験. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl):23, 2019/9/1.

講演・口頭発表等

1) Daiki Maruyama,Shin Yanagisawa,Yusuke Koba,Takayuk Andou,Kazuki Matsumoto,Hiroaki Ushiba,Kiyomitsu Shinsho:Study on the influence of storage condition on Postal Dosimetry using TLSD. The 75th Annual Meeting of the JSRT Japanese Society of Radiological Technology, 2019/4/1.
2) 王良健,柳澤伸,古場裕介,安藤隆之,眞正浄光:Al_2O_3:Cr セラミックスを用いた電子線に対する二次元線量分布測定. 次世代放射線シンポジウム 2019, 2019/8/1.
3) 下村理紗,古場裕介,張維珊,安藤隆之,眞正浄光:Al_2O_3:Cr セラミック板による炭素線深部量百分率測定の LET 依存性補正. 次世代放射線シンポジウム 2019, 2019/8/1.
4) 菅原理,下村理紗,柳澤伸,丸山大樹,古場裕介,張維珊,安藤隆之,眞正浄光:H 線に対する Al_2O_3:Cr TLD とラジオクロミックフィルムの軸外線量比と線量応答性の比較. 次世代放射線シンポジウム 2019, 2019/8/1.
5) 髙木瞳,柳澤伸,古場裕介,眞正浄光:積層 TLD の厚さによる吸収線量比の変化の調査. 次世代放射線シンポジウム 2019, 2019/8/1.
6) 田中誠也,王良健,柳澤伸,若林源一郎,島津美宙,田中浩基,安藤隆之,眞正浄光:Cd 中性子コンバータを用いた熱中性子測定に対する熱蛍光量とラジオクロミックフィルム濃度の比較. 次世代放射線シンポジウム 2019, 2019/8/1.
7) 丸山大樹,柳澤伸,古場裕介,安藤隆之,眞正浄光:熱蛍光スラブ線量計を用いた放射線治療装置の郵送出力線量測定法に関する研究. 第 14 回次世代先端光科学研究会, 2019/8/1.
8) 提箸瑚乃香,柳澤伸,工藤森海,古場裕介,眞正浄光:X 線に対する市販 MgF_2 の熱蛍光特性. 第 80 回応用物理学会秋季学術講演会, 2019/9/1.
9) 古塩夏芽,髙木瞳,丸山大樹,柳澤伸,岡田豪,眞正浄光:BeO セラミックスの X 線に対する熱蛍光特性. 第 80 回応用物理学会秋季学術講演会, 2019/9/1.

10） 菅原理,下村理紗,柳澤伸,丸山大樹,古場裕介,張維珊,安藤隆之,眞正浄光:H 線、He 線に対する Al_2O_3:Cr TLD とラジオクロミックフィルムの軸外線量比の比較．第 80 回応用物理学会秋季学術講演会，2019/9/1．

11） 田中誠也,王良健,柳澤伸,若林源一郎,島津美宙,田中浩基,安藤隆之,眞正浄光:Cr 添加 Al_2O_3 熱蛍光線量計を用いた熱中性子測定に対するCd中性子コンバータの有用性．第80回応用物理学会秋季学術講演会，2019/9/1．

12） Kiyomitsu Shinsho,Hirokazu Masai,Risa Shimomura,Shin Yanagisawa,Daiki Maruyama,Hitomi Takagi,Morimi Kudo,Yusuke Koba：Effect of Al_2O_3 on thermally stimulated luminescence of Cu-doped Li_2O-B_2O_3 glass．The 19th International Conference on Solid State Dosimetry，2019/9/1．

13） Hitomi Takagi,Shin Yanagisawa,Yusuke Koba,Kiyomitsu Shinsho：Basic Study of Effective Energy Measurements Method using Stacked Thermoluminescence Dosimeters．The 19th International Conference on Solid State Dosimetry，2019/10/1．

14） Risa Shimomura,Yusuke Koba,Weishan Chang,Masanori Koshimizu,Yutaka Fujimoto,Hiroki Kawamoto,Daiki Maruyama,Kazuki Matsumoto,Hiroaki Ushiba,Takayuki Andoh,Kiyomitsu Shinsho：The Thermoluminescence Efficiency and the Glow Curves of Cr-doped Al_2O_3 Ceramic TLD in Wide range Linear Energy Transfer．The 19th International Conference on Solid State Dosimetry，2019/10/1．

15） Shin Yanagisawa,Yusuke Koba,Shigekazu Fukuda,Kiyomitsu Shinsho：Bulk-density Controlled Thermoluminescence Dosimeters Based on Al_2O_3:Cr Ceramics Aimed at Developing an Anthropomorphic Phantom Dosimeter for Photon Radiation Therapy．The 19th International Conference on Solid State Dosimetry，2019/10/1．

16） Ryoken Oh,Shin Yanagisawa,Yusuke Koba,Takayuki Andoh,Kiyomitsu Shinsho：Thermoluminescence Properties of Cr-doped Alumina Ceramics for Electrons．The 19th Asia-Oceania congress of medical Physics，2019/10/1．

17） 丸山大樹,柳澤伸,古場裕介,安藤隆之,眞正浄光:熱蛍光スラブ線量計を用いた放射線治療装置の出力線量測定における不確かさの検討．日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会，2019/11/1．

18） 柳澤伸,丸山大樹,王良健,古場裕介,安藤隆之,眞正浄光:4, 6, 10MV X 線に対する Al_2O_3:Cr セラミックスを用いた 2 次元 TL 計測．第 15 回次世代先端光科学研究会，2019/11/1．

競争的資金等の研究課題

1） 「熱ルミネセンスメカニズムの解明および新規発光体の開発」,2001-．

2）「人体組織等価熱蛍光 2 次元線量計の新規材料の開発と特性調査」,2007-．

3）「人体組織等価熱蛍光 3 次元線量計の開発とシステムの構築」,2008-．

4） 眞正浄光:文部科学省　科学研究費補助金(基盤研究(C))「人体模型線量計による放射線診断･治療時の人体内 3 次元線量分布評価システムの開発」，principal_investigator,2016/4/1-2020/3/1．

受賞

1） 丸山大樹,柳澤伸,古場裕介,安藤隆之,眞正浄光:次世代先端光科学研究会　第 14 回次世代先端光科学研究会 若手奨励賞「熱蛍光スラブ線量計を用いた放射線治療装置の郵送出力線量測定法に関する研究」，2019/8/1．

特許

1） 眞正浄光,古場裕介:特願 2019-159850,2019/9/2「中性子測定用ユニット、中性子測定装置、および中性子測定方法」

委員歴

1)　応用物理学会　次世代放射線シンポジウム 2019 実行委員長(2018/10/1-)

2)　第 118 回 日本医学物理学会　プログラム委員(2018/10/1-)

3)　第 119 回 日本医学物理学会　実行委員(2019/4/1-)

4)　文部科学省 科学技術･学術政策研究所　専門調査員(2019/7/1-)

放射線学科　　准教授　　関根　紀夫

論文

1) Kunihiro Watanabe,Hirotaka Mutsuzaki,Takashi Fukaya,Toshiyuki Aoyama,Syuichi Nakajima,Norio Sekine,Koichi Mori, Development of a Knee Joint CT-FEM Model in Load Response of the Stance Phase During Walking Using Muscle Exertion, Motion Analysis, and Ground Reaction Force Data., Development of a Knee Joint CT-FEM Model in Load Response of the Stance Phase During Walking Using Muscle Exertion, Motion Analysis, and Ground Reaction Force Data., 56(2):-, 2020/1/29.

Misc

1) 関根紀夫,白川崇子,古川顕,岡野ジェイムス洋尚,畑純一,山田恵,酒井康二,松浦勉:NIRS データ収集範囲の違いによる高次脳活動時高濃度酸素吸入効果の比較. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):36-36, 2019/9/1.
2) 森浩一,中島修一,藤井義大,関根紀夫,小原弘道:放射光を用いた位相コントラスト画像法のためのアナライザー設計と暗視野条件における軟組織像描写. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):33-33, 2019/9/1.
3) 関根紀夫,明上山温:首都大学東京におけるタブレット端末入力による OSCE 評価. 診療放射線学教育学, 7(1):7-8, 2019/12/25.
4) 関根紀夫:学外型大学紹介イベントにおける高校生向け画像再構成教材の作成. 診療放射線学教育学, 7(1):20-20, 2019/12/25.

競争的資金等の研究課題

1) 渡辺賢:首都大学東京　教育改革推進事業「ICT などを活用した評価システムの構築による臨地・臨床実習の質保証」, ,2017/4/1-2020/3/1.
2) 白川崇子,畑純一,酒井晃二,関根紀夫,松浦勉,古川顕,山田恵,岡野ジェイムス洋尚:日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(C)「高次脳活動中の高濃度酸素吸入による脳血流変化:NIRS+fMRI 同時データ解析」,2018/4/1-2021/3/31.
3) 森浩一,関根紀夫,小原弘道,藤井義大:日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(C)「X線位相コントラスト画像による豚肝小葉の精密描写と末梢系循環機能の評価」,2018/4/1-2021/3/31.
4) 関根紀夫:高エネルギー加速器研究機構　放射光共同利用実験課題「肝臓灌流保存法の最適化を目指した位相コントラスト画像による肝小葉の精密描写」, principal_investigator,2018/4/1-2020/3/1.
5) 関根紀夫:首都大学東京　教育改革推進事業「視線計測データを活用した医療スキル教育の構築」, principal_investigator,2018/4/1-2020/3/1.
6) 大嶋伸雄:首都大学東京　傾斜的研究費(部局分)「アジア各国における専門職教育への IPE(多職種連携教育)導入のための基礎研究」, coinvestigator,2019/4/1-2020/3/1.

委員歴

1) 日本医学物理学会　広報委員会委員(2005-)
2) 日本診療放射線学教育学会　事務局長(2014/4/1-)

放射線学科　　准教授　　乳井　嘉之

講演･口頭発表等

1)　大塚郭貴,乳井嘉之:PHITS を用いたデジタルブレストトモシンセシスの数値シミュレーションに関する基礎的研究. 第 118 回 日本医学物理学会学術大会, 2019/9/13.

2)　大塚郭貴,乳井嘉之:PHITS を用いたデジタルブレストトモシンセシスの数値シミュレーションにおける誤差と投影データの関係. 日本保健科学学会, 2019/10/5.

3)　大塚郭貴,乳井嘉之,根岸徹:ディジタルブレストトモシンセシスを模擬したシミュレーションモデルの基礎的研究. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019/10/18.

委員歴

1)　日本医学物理学会　総務委員(2018/1/1-)

2)　日本医学物理学会　第 119 回日本医学物理学会学術大会プログラム委員(2019/6/1-2020/4/1)

放射線学科　　准教授　　沼野　智一

論文

1) 田中道隆,沼野智一,波部哲史,伊東大輝,前野利樹,植木貴道,五十嵐佳佑,水原和行:振動波形が MR elastography に与える影響. 日本放射線技術学会雑誌, 75(3):239-246, 2019.
2) Daiki Ito,Tomokazu Numano,Koichi Takamoto,Takamichi Ueki,Tetsushi Habe,Keisuke Igarashi,Kazuyuki Mizuhara,Hisao Nishijo, Simultaneous acquisition of magnetic resonance elastography of the supraspinatus and the trapezius muscles., Simultaneous acquisition of magnetic resonance elastography of the supraspinatus and the trapezius muscles., 57:95-102, 2019/4/1.
3) Tomokazu Numano,Tetsushi Habe,Daiki Ito,Takaaki Onishi,Koichi Takamoto,Kazuyuki Mizuhara,Hisao Nishijo,Keisuke Igarashi,Takamichi Ueki, A new technique for motion encoding gradient-less MR elastography of the psoas major muscle: A gradient-echo type multi-echo sequence., A new technique for motion encoding gradient-less MR elastography of the psoas major muscle: A gradient-echo type multi-echo sequence., 63:85-92, 2019/11/1.

Misc

1) 沼野智一,細田秀樹,金高弘恭:MRI における磁化率アーチファクトの定量評価. 生体医歯工学共同研究拠点成果報告書, 平成 30 年度:130-130, 2019/4/1.
2) 三澤雅樹,新田尚隆,清水森人,松本孔貴,沼野智一,大西健:金ナノ粒子放射線増感剤の B16 メラノーマ担がんマウスにおける体内動態と増感効果の検証. 日本 DDS 学会学術集会プログラム予稿集, 35 回:130-130, 2019/6/1.
3) 波部哲史,沼野智一,伊東大輝,前野利樹,水原和行,高本考一,西条寿夫:MR Elastography を用いた大腰筋弾性率と断面積の関係. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1053-1054, 2019/9/1.
4) 沼野智一,波部哲史,伊東大輝,大西孝明,高本考一,水原和行,西条寿夫,五十嵐佳佑,植木貴道,前野利樹:大腰筋の定量的触診を可能にする新しい MR エラストグラフィ技術. 日本保健科学学会誌, 22(Suppl.):26-26, 2019/9/1.
5) 前野利樹,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,水原和行,高本考一,西条寿夫:大腿部 MR Elastography に撮像体位が与える影響. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1054-1054, 2019/9/1.
6) 沼野智一,波部哲史,伊東大輝,前野利樹,高本考一,水原和行,西条寿夫:剛体振動を利用した大腰筋 MR Elastography 技術の開発. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1054-1054, 2019/9/1.
7) 山口璃己,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,坂田大喜,竹田賢吾,水原和行:MR Elastography における加振パット内部体積と振動強度の関係. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1055-1055, 2019/9/1.
8) 伊東大輝,沼野智一,波部哲史,前野利樹,Maharjan Surendra,高本考一,水原和行,西条寿夫:骨格筋 MR Elastography における Directional-filter の影響. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1054-1055, 2019/9/1.
9) 竹田賢吾,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,山口璃己,坂田大喜,水原和行:撮像時間を延長せずに振動位相分割数を増加させる方法. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1055-1056, 2019/9/1.
10) 坂田大喜,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,竹田賢吾,山口璃己,水原和行:MR Elastography における振動位相分割数と振動感度の影響. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1055-1055, 2019/9/1.
11) 堀江常満,村上克彦,沼野智一,森谷浩史:肺野結節自動検出 CT ソフトウェアの評価 デジタルファントムの有用性. 大原記念財団年報, 56:53-58, 2019/12/1.

12) 波部哲史,沼野智一,伊東大輝,前野利樹,Maharjan Surendra,水原和行,高本考一:MR Elastographyによる股関節屈曲時の大腰筋弾性率変化. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76回:250-250, 2020/3/1.

13) 伊東大輝,沼野智一,波部哲史,前野利樹,Maharjan Surendra,高本考一,水原和行:異なる振動位相画像の同時収集が可能な新たなMR Elastography技術の開発. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76回:250-250, 2020/3/1.

14) 油原俊之,沼野智一:画像合成によるSNR変化画像のノイズ特性. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76回:260-260, 2020/3/1.

15) 沼野智一,伊東大輝,水原和行,鷲尾利克,波部哲史,前野利樹:MR強度画像による新しいMR Elastography技術. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76回:251-251, 2020/3/1.

16) 五十嵐佳佑,沼野智一,高橋光幸:肝臓MR Elastographyにおいて呼吸による位置ズレを定量評価する指標. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76回:251-251, 2020/3/1.

17) 竹田賢吾,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,山口璃己,坂田大喜:撮像時間を延長せずに振動位相分割数を増加させる方法の特性. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76回:263-263, 2020/3/1.

18) 山口璃己,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,坂田大喜,竹田賢吾]:大腰筋用MRE加振パッド開発. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76回:263-263, 2020/3/1.

19) 坂田大喜,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,竹田賢吾,山口璃己:大腰筋MR Elastographyにおける振動位相分割数と振動感度の影響. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76回:262-263, 2020/3/1.

講演・口頭発表等

1) 沼野智一,伊東大輝,水原和行,鷲尾利克,五十嵐佳佑,植木貴道,波部哲史,前野利樹:MR位相画像を利用しない新しいMR Elastography. 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 2019/4/11.

2) 五十嵐佳佑,沼野智一,伊東大輝,植木貴道,波部哲史,前野利樹,高橋光幸:3Dプリンタを用いたMR Elastography精度評価用補助具の開発. 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 2019/4/11.

3) 伊東大輝,沼野智一,水原和行,鷲尾利克,三澤雅樹,新田尚隆:拡散及び弾性率情報の同時取得: Diffusion-MRE. 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 2019/4/11.

4) 前野利樹,沼野智一,伊東大輝,五十嵐佳佑,植木貴道,波部哲史,水原和行:伝播波の波長とZero-fill Interpolation Processingが MR Elastographyにもたらす影響. 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 2019/4/11.

5) 波部哲史,沼野智一,伊東大輝,五十嵐佳佑,植木貴道,前野利樹,水原和行,高本孝一:大腰筋MR elastography技術の再現性. 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 2019/4/11.

6) 植木貴道,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,五十嵐佳佑,前野利樹,水原和行,高本孝一:Multi slice MR Elastographyの梨状筋への応用. 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 2019/4/11.

7) Maharjan Surendra,Numano Tomokazu,Habe Tetsushi,Ito Daiki,Ueki Takamichi,Igarashi Keisuke,Maeno Toshiki:Bidirectional Filtering for Psoas Major Muscle Magnetic Resonance Elastography. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 27th Annual Meeting & Exhibition, 2019/5/13.

8) Numano Tomokazu,Ito Daiki,Mizuhara Kazuyuki,Washio Toshikatsu,Habe Tetsushi,Igarashi Keisuke,Ueki Takamichi,Maeno Toshiki,Misawa Masaki,Nitta Naotaka:Partial Vibration MR Elastography: Zero-MR phase image MRE. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 27th Annual Meeting & Exhibition, 2019/5/15.

9) Ito Daiki,Numano Tomokazu,Mizuhara Kazuyuki,Washio Toshikatsu,Misawa Masaki,Nitta Naotaka,Habe Tetsushi:A robust pulse sequence for simultaneous diffusion MRI and MR elastography (diffusion-MRE). International Society for Magnetic Resonance in

Medicine ISMRM 27th Annual Meeting & Exhibition, 2019/5/16.

10) 波部哲史,沼野智一,伊東大輝,前野利樹,Surendra Maharjan,水原和行,高本考一,西条寿夫:大腰筋 Magnetic Resonance Elastography の再現性. 第 27 回日本腰痛学会, 2019/9/13.

11) 沼野智一,波部哲史,伊東大輝,前野利樹,水原和行,高本考一,西条寿夫:大腰筋 Magnetic Resonance Elastography 技術の開発. 第 27 回日本腰痛学会, 2019/9/13.

12) 前野利樹,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,Surendra Maharjan,水原和行,高本考一,西条寿夫:伝播波の波長と撮像時間短縮が MR Elastography に与える影響. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019/9/21.

13) 波部哲史,沼野智一,伊東大輝,前野利樹,Surendra Maharjan,水原和行,高本考一,西条寿夫:MR elastography による大腰筋収縮に伴う弾性率変化の検出. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019/9/21.

14) 伊東大輝,沼野智一,波部哲史,前野利樹,Surendra Maharjan,水原和行,高本考一,西条寿夫:複数の振動位相画像の同時取得: Multi-phase single-shot MR elastography (MPSS-MRE). 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019/9/21.

15) 沼野智一,伊東大輝,水原和行,鷲尾利克,波部哲史,前野利樹:MR 強度画像を利用する新しい MR Elastography 技術. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 2019/9/21.

16) 沼野智一,波部哲史,伊東大輝,大西孝明,高本考一,水原和行,西条寿夫,五十嵐佳佑,植木貴道,前野利樹:大腰筋の定量的触診を可能にする新しい MR エラストグラフィ技術. 第 29 回日本保健科学学会学術集会, 2019/10/5.

17) 竹田賢吾,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,水原和行:撮像時間を延長せずに振動位相分割数を増加させる方法. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019/10/19.

18) 坂田大喜,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,水原和行:MR Elastography における振動位相分割数と振動感度の影響. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019/10/19.

19) 山口璃己,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,前野利樹,水原和行:MR Elastography における加振パット内部体積と振動強度の関係. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019/10/19.

20) 前野利樹,沼野智一,伊東大輝,波部哲史,Surendra Maharjan,水原和行,高本考一,西条寿夫:大腿部 MR Elastography に撮像体位が与える影響. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019/10/19.

21) 波部哲史,沼野智一,伊東大輝,前野利樹,Surendra Maharjan,水原和行,高本考一,西条寿夫:MR Elastography を用いた大腰筋弾性率と断面積の関係. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019/10/19.

22) 伊東大輝,沼野智一,波部哲史,前野利樹,Surendra Maharjan,水原和行,高本考一,西条寿夫:骨格筋 MR Elastography における Directional-filter の影響. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019/10/19.

23) 沼野智一,波部哲史,伊東大輝,前野利樹,高本考一,水原和行,西条寿夫:剛体振動を利用した大腰筋 MR Elastography 技術の開発. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2019/10/19.

競争的資金等の研究課題

1) 矢代航:国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 医療分野研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)「時間分解 X 線位相エラストグラフィ法の開発」, ,2017/7/1-2020/3/1.

2) 沼野智一:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「非特異的腰痛の画像診断を可能にする新しい MR エラストグラフィ技術の開発」, principal_investigator,2019/4/1-2022/3/1.

特許

1） 沼野智一,伊東大輝,三澤雅樹,鷲尾利克:特許 6548257,特開 2019-122554, 2019/7/25 特願 2018-004937, 2018/1/16 「「撮影装置」(MR エラストグラフィと拡散強調画像を同時に得る方法)」

委員歴

1） 日本磁気共鳴専門技術者認定機構(JMRTS) 理事(2015/4/1-)

放射線学科　　准教授　　根岸　徹

論文

1) Miyazono T,Miyake H,Nakamura H,Ochiai K,Saito H,Sagawa J,Asano H,Koyano Y,Abe S,Negishi T,Imai Y:[Report Based on Fiscal 2015 Diagnostic X-ray Equipment Questionnaire Survey].. Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai zasshi, 75(1):54-61, 2019.
2) Negishi T:[One Time, One Meeting].. Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai zasshi, 75(8), 2019.
3) Ogura A, Negishi T, Hayashi N, Watanabe H, Maeda F:[Varying the color of mammography display improves the detectability of microcalcifications.].. Radiology and Medical Diagnostic Imaging, Volume 2(4),1-4,2019.
4) Kobayashi T, Tsuchida T, Ogura I, Negishi T, Saito H :[A study of one-shot half-value layer measurement for diagnostic X-ray equipment daily quality control.].. The journal of Japan Academy of Health Sciences 22(3), 135-143,2019.
5) Tsuchida T , Negishi T ,Kai T .[A Digital Mammogram Auto Classification Method Based on Fibroglandular Breast Tissue Density Evaluation by Image Similarity.].. Radiology and Medical Diagnostic Imaging, Volume 3(1):1-5,2020.

Misc

1) 関本道治、根岸　徹、丸　裕亮、佐々木政彦、加藤　洋: 非鉛製放射線遮へい材を用いた減弱特性評価の幾何学的条件が及ぼす鉛等量の違い. 日本放射線技術学会第75回総会学術大会抄録集P310,2019/4/12.
2) 小田幸奈,根岸徹,加藤洋,小倉泉,丸裕亮,高田桂介,二階堂満,日高未菜:X 線エネルギーに対応した半導体測定器の作成. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (134):17-17, 2019/4/30.
3) 小倉泉,根岸徹,齋藤祐樹:パルス X 線に対応した簡易形線量計の検討. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (134):17-17, 2019/4/30.
4) 根岸　徹、原田康雄、鬼頭慎司、奥村泰彦、小倉　泉、加藤　洋: 歯科口内法用 X 線装置に対応した半導体 X 線測定器の開発. 日本歯科放射線学会第 60 回学術大会･第 16 回定例総会 歯科放射線第 59 巻増刊号 P43,2019/6/1.
5) 土田拓治、根岸　徹、森　一也: Exposure Index による自動露出制御不変性試験の検討, 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会デジタル抄録集 P66,2019/6/1.
6) 高田桂介、根岸　徹、日高未菜、二階堂満、小田幸奈、小倉　泉、加藤　洋: Digital Breast Tomosynthesis に対応した半導体測定器の角度依存性についての検討, 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会デジタル抄録集 P114,2019/6/1.
7) 二階堂満、根岸　徹、日高未菜、小田幸奈、高田桂介、小倉　泉、加藤　洋: Digital Breast Tomosynthesis に対応した半導体測定器のパルス応答特性の検討, 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会デジタル抄録集 P116,2019/6/1.
8) 日高未菜、根岸　徹、高田桂介、二階堂満、小田幸奈、小倉　泉、加藤　洋: マンモグラフィにおける半価層測定の絞りマスクの位置に関する検討, 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会デジタル抄録集 P118,2019/6/1.
9) 小田幸奈、根岸　徹、日高未菜、二階堂満、高田 桂介、小倉　泉、加藤　洋: X 線エネルギーに対応した半導体測定器の作成および検討, 2019 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会デジタル抄録集 P120,2019/6/1.

10) 土田拓治、根岸　徹、森　一也: 同施設内X線撮影装置の精度管理について, 第35回日本診療放射線技師学術大会デジタル抄録集 O-139,2019/9/1.

11) 小倉泉,根岸徹,齋藤祐樹:乳房 X 線撮影装置用簡易形半価層測定器の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1027, 2019/9/1.

12) 大塚郭貴,乳井嘉之,根岸徹:ディジタルブレストトモシンセシスを模擬したシミュレーションモデルの基礎的研究. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1019-1019, 2019/9/1.

13) 松山未奈,加藤洋,根岸徹,Hung Mao-Chin:放射線診療従事者の鉛暴露に関する研究. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):996-996, 2019/9/1.

14) 齋藤祐樹,小倉泉,根岸徹:機械学習を用いた診断用 X 線装置品質管理データの異常検出の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):994-994, 2019/9/1.

15) 二階堂満,根岸徹,加藤洋,小倉泉,土田拓治,高田桂介,小田幸奈,日高未菜:IoT デバイスを用いた半導体測定器の検討. JART: 日本診療放射線技師会誌, 66(9):1072-1072, 2019/9/1.

16) 根岸徹,小倉泉,加藤洋,齋藤祐樹,小田幸奈,高田桂介,二階堂満,日高未菜:歯科口内法用 X 線装置に対する精度管理の検討. JART: 日本診療放射線技師会誌, 66(9):1023-1023, 2019/9/1.

17) 根岸徹,小倉泉,加藤洋,齋藤祐樹,土田拓治,原田康雄:歯科口内法 X 線装置の精度管理システムの構築. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1051-1052, 2019/9/1.

18) 辻本崚二,関本道治,根本道子,澤田歩海,根岸徹,加藤洋:マンモグラフィにおけるフェイスガードの遮蔽能力の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1028-1028, 2019/9/1.

19) 小倉泉,根岸徹,齋藤祐樹:乳房撮影領域の簡易形半価層測定器における線質補正. 日本放射線技術学会雑誌, 75(9):1027-1027, 2019/9/1.

20) 根岸徹:【低被ばくへの旅 2019 最適化に向けての被ばく線量低減】2.4mGy の持つ意味. Rad Fan, 17(13):66-69, 2019/10/1.

21) 小倉　泉、根岸　徹、齋藤佑樹:DBT 撮影装置に対応した簡易形線量計の開発, 第29回日本乳癌検診学会学術総会プログラム抄録集 P125,2019/11/1.

22) 根岸　徹、小倉　泉、齋藤佑樹: Digital･Breast･Tomosynthesis と 2D マンモグラフィの平均乳腺線量に関する検討, 第 29 回日本乳癌検診学会学術総会プログラム抄録集 P126,2019/11/1.

23) 齋藤祐樹,森岡美英,長又新,佐藤浩,小倉泉,根岸徹:小児胸部撮影における体指標と画像感度指標の検討. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76 回:210-210, 2020/3/1.

競争的資金等の研究課題

1) 小倉泉,根岸徹:日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(C)「乳房用 X 線撮影装置の日常管理用測定器の開発と管理システムの構築」,2019/4/1-2022/3/31.

委員歴

1)　日本放射線技術学会副代表理事(2019-)

2)　日本放射線技術学会総務担当理事(2019-)

3)　日本放射線技術学会選挙管理委員会担当理事(2019-)

4)　日本放射線技術学会大会開催委員会副委員長(2012-)

5)　日本放射線技術学会標準･規格委員会運営委員(2017-)

6)　日本放射線技術学会学術交流委員会標準化小委員会　委員長(1997-)

7)　日本放射線技術学会東京支部担当理事(2015-)

8)　日本放射線技術学会代議員(2011-)

9)　日本ラジオロジー協会副理事長(2017-)

10)　日本乳癌検診精度管理中央機構理事(2019-)

11)　日本放射線学教育学会副会長(2011-)

12)　日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構監事(2019-)

放射線学科　　准教授　　明上山　温

講演･口頭発表等

1） Ryo Imai,Atsushi Myojoyama,Minami Nakao：The simulation on electron beam focusing output from linear accelerator．第 117 回日本医学物理学会学術大会，2019/4/14．

2） Atsushi Myojoyama,Hidetoshi Saitoh：Automation of linear accelerator usage record management．第 118 回日本医学物理学会学術大会，2019/9/13．

3） Yuki Mitsui,Atsushi Myojoyama：Development of vascular phantom for multi-modality．第 118 回日本放射線物理学会学術大会，2019/9/13．

4） Ryo Nishida,Atsushi Myojoyama,Ryo Imai,Minami Nakao：Research on convergence control of electron beam by actual measurement．第 118 回日本医学物理学会学術大会，2019/9/14．

5） Ryo Imai,Atsushi Myojoyama：The simulation on the motion of high energy electron beam in magnetic field．第 118 回日本医学物理学会学術大会，2019/9/14．

6） Minami Nakao,Atsushi Myojoyama,Ryo Imai,Ryo Nishida：The focusing control of electron beam to form arbitrary radiation fields．第 118 回日本医学物理学会学術大会，2019/9/14．

東京都立大学 健康福祉学部 研究費評価･配分委員会部会

部会長	渡 邉 賢	（学部長）
委 員	西 村 ユミ	（看護学科長）
委 員	山 田 拓実	（理学療法学科長）
委 員	石 井 良和	（作業療法学科長）
委 員	古 川 顕	（放射線学科長）